

令和 7 年度 年間指導計画

【掲載内容について】

本校では、「島尻スタンダード」を基に年間指導計画を作成しています。本ホームページでは、指導計画の一部を掲載しております。

沖縄県立島尻特別支援学校
真和志高等学校分教室

令和7年度 高等部(真和志分教室) 年間指導計画 目次

Ⅱ 課程

科目・学年	ページ
国語1年	真和志分－1
国語2年	真和志分－4
国語3年	真和志分－7
社会1年	真和志分－10
社会2年	真和志分－12
社会3年	真和志分－14
数学1年	真和志分－16
数学2年	真和志分－19
数学3年	真和志分－23
理科1年	真和志分－25
理科2年	真和志分－27
理科3年	真和志分－29
音楽1年	真和志分－31
音楽2年	真和志分－33
音楽3年	真和志分－35
美術1年	真和志分－37
美術2年	真和志分－39
美術3年	真和志分－41

科目・学年	ページ
保健体育1年	真和志分－43
保健体育2年	真和志分－45
保健体育3年	真和志分－47
職業1年	真和志分－49
職業2年	真和志分－51
職業3年	真和志分－53
家庭1～3年	真和志分－56
外国語1年	真和志分－57
外国語2年	真和志分－59
外国語3年	真和志分－61
情報2年	真和志分－63
情報3年	真和志分－64
道徳1～3年	真和志分－65
総合的な探究の時間1年	真和志分－67
総合的な探究の時間2年	真和志分－69
総合的な探究の時間3年	真和志分－71
特別活動1年	真和志分－73
特別活動2年	真和志分－75
特別活動3年	真和志分－77
時間割(参考資料)	

令和7年度 高等部 1年（Ⅱ課程） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	真和志分教室1学年		参考図書 『くらしに役立つ国語』 (東洋館出版社)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。(高1) (思判表力) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高1) (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高1)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		(知及技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解することができる。(高1 A (7)) (思判表力) 学習した漢字を読んだり書いたりするなど、表現の幅を広げ、活用することができる。(高1) (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高1)	(知・技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解しようとしている。 (思・判・表) 学習した漢字を読んだり書いたりするなど、表現の幅を広げ、活用しようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとしている。	B 書く C 読む 漢字の読み書き	漢字の読み書き 小学校低学年から小学校中学年までの漢字の読み書きに取り組む。
		(知及技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。(高1 イ(7)) (思判表力) 社会の中で関わる人の話などを話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。(高1 A ア) (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高1)	(知・技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解しようとしている。 (思・判・表) 社会の中で関わる人の話などを話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとしている。	C 読む 情報の聞き取り 新聞や本に親しもう	C 読む 聞き取り問題を活用し、必要な情報を聞き取る学習に取り組む。 新聞や本から興味のある情報を読み取る。
前期	5	(知及技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。(高1 ウ(ウ)) (思判表力) 社会の中で関わる人の話などを話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。(高1 A ア) (学・人) 相手に伝わるように話したり、相手の話をしっかりと聞いたりしようとする態度を養う。(高1)	(知・技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 (思・判・表) 社会の中で関わる人の話などを話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えている。 (主学) 他者に伝わるように話したり、相手の話をしっかりと聞いたりしようとしている。	A 聞く・話す 自己紹介をしよう 他己紹介をしよう	自己紹介・他己紹介をする。 ①自己紹介の素材集め ②自己紹介(発表) ③他己紹介の素材集め(共同学習のペアインタビュー) ④他己紹介(インタビューしたことを発表)
	2	(知及技) 幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。(高1 イ(7)) (思判表力) 社会の中で関わる人の話などを話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。(高1 A ア) (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高1)	(知・技) 幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つようとしている。 (思・判・表) 社会の中で関わる人の話などを話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとしている。	C 読む 図書館オリエンテーション 本を探そう	図書に親しむ ①利用方法や図書室に置いてある本について知る。 ②興味関心のある本を図書室で探す。 ③図書室のマナーを守り、読書をする。
	10	(知及技) 日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。(高1 A (h)) (思判表力) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(高1 B エ) (学・人) 常体と敬体を使い分けたり、丁寧な言葉遣いを意識しようとする態度を養う。(高1)	(知・技) 日常よく使われる敬語を理解し、使おうとしている。 (思・判・表) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えようとしている。 (主学) 常体と敬体を使い分けたり、丁寧な言葉遣いを意識しようとしている。	A聞く・話す B書く 表現力を高めよう① 校外学習を終えて	敬語の種類や日常よく使われる敬語の学習 ①敬語の種類について ②身近な敬語について ③会話の中で敬語を使うロールプレイング常体と敬体、丁寧な言葉遣いの学習 ④5W1H(いつ、どこで、だれと、なにを、なぜ、どのようにした)
	5	(知及技) 日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。(高1 A (h)) (思判表力) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(高1 B エ) (学・人) 常体と敬体を使い分けたり、丁寧な言葉遣いを意識しようとする態度を養う。(高1)	(知・技) 日常よく使われる敬語を理解し、使おうとしている。 (思・判・表) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えようとしている。 (主学) 常体と敬体を使い分けたり、丁寧な言葉遣いを意識しようとしている。	A 聞く・話す B 書く インタビューをしよう	テーマを決めてインタビューする ①テーマを決め、インタビュー内容を考える ②メモの取り方について ③インタビュー(実践) ④インタビューの内容をまとめる ⑤報告

	(知及技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話すことができる。(高1ア(イ)) (思判表力) 話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。(高1Aウ) (学・人) 電話による連絡方法やマナーを踏まえて、電話の練習をしようとする態度を養う。(高1)	(知・技) 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話そうとしている。 (思・判・表) 話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。 (主学) 電話による連絡方法やマナーを踏まえて、電話の練習をしようとしている。	A 聞く・話す 電話を利用しよう	電話による連絡方法や電話のマナーについての学習 ①電話による連絡方法やマナーについて知る ②ロールプレイングで電話の実践練習
	(知及技) 文章の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(高1ア(ホ)) (思判表力) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(高1オ) (学・人) 詩を読み味わい、感想を書いたり音読したりしようとする態度を養う。(高1)	(知・技) 文章の構成や内容の大体を意識しながら音読している。 (思・判・表) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 (主学) 詩を読み味わい、感想を書いたり音読したりしようとしている。	A 聞く・話す C 読む 詩「いのち」 平和学習	詩の読み取り・音読 ①詩の内容を読み取る ②読み取った内容を基に工夫して音読する。 ③平和のために貢献した人物について本や資料を読む。
	(知及技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。(高1ア(リ)) (思判表力) 書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。(高1Bイ) (学・人) 手紙の書き方を踏まえ、丁寧に暑中見舞い作成に取り組もうとする態度を養う。(高1)	(知・技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打っている。 (思・判・表) 書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 (主学) 手紙の書き方を踏まえ、丁寧に暑中見舞い作成に取り組もうとしている。	B 書く 手紙の書き方① (お礼の手紙・暑中見舞い)	校外学習等でお世話になった方へ感謝の気持ちを込めて手紙を書いたり、暑中見舞いを作成したりし、投函する。
	(知及技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。(高1ウ(リ)) (思判表力) 登場人物の行動や心情などについて、叙述を基に捉えることができる。(高1Cア) (学・人) 読書に親しみ、図書のもつ良さを感じようとする態度を養う。(高1)	(知・技) 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。 (思・判・表) 登場人物の行動や心情などについて、叙述を基に捉えている。 (主学) 読書に親しみ、図書のもつ良さを感じようとしている。	A 聞く・話す B 書く C 読む 本に親しむ (ブックレビューを書こう)	ブックレビューを書くための、次の学習活動を行う。 ①読み聞かせ ②読書 ③ブックレビューを書く。
	(知及技) 生活に身近なことば(しまくとうば)を知り、使うことができる。(高1ウ(リ)) (思判表力) しまくとうばの知識をもとに、どのように言葉が変化するか考えることができる。(高1AA) (学・人) 言葉を口に出すことで響きを感じるなど、しまくとうばに親しもうとする態度を養う。(高1)	(知・技) 生活に身近なことば(しまくとうば)を知り、使おうとしている。 (思・判・表) しまくとうばの知識をもとに、どのように言葉が変化するか考えている。 (主学) 言葉を口に出すことで響きを感じるなど、しまくとうばに親しもうとしている。	A 聞く・話す しまくとうばの学習 (昔話・しまくとうばカルタ)	沖縄の昔話やしまくとうばのカルタを活用し、生活に身近な方言について学習する。
後期	(知及技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。(高1ア(II)) (思判表力) 登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像することができる。(高1Cウ) (学・人) 詠まれた心情や情景を想像したり、感じたことを表現したりしようとする態度を養う。(高1)	(知・技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解しようとしている。 (思・判・表) 登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像している。 (主学) 詠まれた心情や情景を想像したり、感じたことを表現したりしようとしている。	A 聞く・話す B 書く 俳句や川柳を作ろう	俳句や川柳を鑑賞する。 俳句や川柳を創作する。
	(知及技) 接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。(高1ア(ホ)) (思判表力) 書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。(高1Bイ) (学・人) 手紙の書き方を踏まえ、丁寧に年賀状作成に取り組もうとする態度を養う。(高1)	(知・技) 接続する語句の役割、段落の役割について理解しようとしている。 (思・判・表) 書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 (主学) 手紙の書き方を踏まえ、丁寧に年賀状作成に取り組もうとしている。	B 書く 手紙の書き方② (お世話になった方へ感謝の手紙・年賀状)	共同学習や実習等でお世話になった方々への感謝の手紙を書く。 年賀状を作成する。
	(知及技) 生活に身近なことわざや慣用句などを知り、使うことができる。(高1ウ(リ)) (思判表力) 登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像することができる。(高1Cイ) (学・人) かるた遊びに積極的に参加しようとする態度を養う。(高1)	(知・技) 生活に身近なことわざや慣用句などを知り、使おうとしている。 (思・判・表) 登場人物の心情や情景について、場面と結び付けて具体的に想像している。 (主学) かるた遊びに積極的に参加しようとしている。	A 聞く・話す 日本の文化に親しもう	ことわざや慣用句について知る。 かるたや福笑い等、日本の正月遊びをする。
	(知及技) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。(高1イ(イ)) (思判表力) 毛筆の特性を意識し、バランスを考えながら書くことができる。(高1BA) (学・人) 毛筆の特性に慣れるよう繰り返し書くこととする態度を養う。(高1)	(知・技) 文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くこととしている。 (思・判・表) 毛筆の特性を意識し、バランスを考えながら書いている。 (主学) 毛筆の特性に慣れるよう繰り返し書くこととしている。	B 書く 書き初め(今年の一文字)	毛筆による創作に取り組む。

	12	(知・技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。(高1イ(7)) (思・判・表) 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。(高1イ) (学・人) さまざまな文章を読み、必要な情報を読み取ろうとする態度を養う。(高1)	(知・技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解しようとしている。 (思・判・表) 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 (主学) さまざまな文章を読み、必要な情報を読み取ろうとしている。	A 聞く・話す C 読む 文章の読み取り	様々な文章を読み、必要な情報を読み取る
	14	(知・技) 日常よく使われる敬語を理解し使うことができる。(高1ア(4)) (思・判・表) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(高1B工) (学・人) 常体と敬体を使い分けたり、丁寧な言葉遣いを意識したりしようとする態度を養う。(高1)	(知・技) 日常よく使われる敬語を理解し使おうとしている。 (思・判・表) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えようとしている。 (主学) 常体と敬体を使い分けたり、丁寧な言葉遣いを意識したりしようとしている。	A 聞く・話す B 書く C 読む 表現力を高めよう 後期の振り返り 作品集作り	国語の授業のスライドを見て、これまでの作品集を作る。 ①できたこと、次の学年へ向けての課題についてメモ書きする。 ②課題解決のための計画を立てる。 ③これまで取り組んできたプリントや作品を製本する。
留意点 引継ぎ等		年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和 7 年度 高等部 2 年（Ⅱ 課程） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	真和志分教室 2 学年		参考図書 『くらしに役立つ国語』 (東洋館出版社)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。(高2) (思判表力) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高1) (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高2)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		(知及技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くことができる。(高2) (思判表力) 学習した漢字を読んだり書いたりするなど、表現の幅を広げ、活用することができる。(高1) (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高2)	(知・技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くこととしている。 (思・判・表) 学習した漢字を読んだり書いたりするなど、表現の幅を広げ、活用しようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとしている。	B 書く C 読む 漢字の読み書き	漢字の読み書き 小学校中学年から小学校高学年までの漢字の読み書きに取り組む。
		(知及技) 原因と結果など、情報と情報との関係について理解することができる。(高2イ(7)) (思判表力) 社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。(高1Aア) (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高2)	(知・技) 原因と結果など、情報と情報との関係について理解しようとしている。 (思・判・表) 社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとしている。	C 読む 情報の聞き取り	情報の聞き取り 新聞や本から興味のある情報を読み取る。
前期	8	(知及技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。(高2(7)) (思判表力) 社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えることができる。(高1Aア) (学・人) 相手に伝わるように話したり、相手の話の中心を捉えて聞いたりしようとする態度を養う。(高2)	(知・技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 (思・判・表) 社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えている。 (主学) 相手に伝わるように話したり、相手の話の中心を捉えて聞いたりしようとしている。	A 聞く・話す 自己紹介をしよう 他己紹介をしよう B 書く 表記と言葉（誤りやすい表記）	自己紹介・他己紹介 ①自己紹介の素材集め ②自己紹介（発表） ③他己紹介の素材集め（共同学習のペアインタビュー） ④他己紹介（インタビューしたことを発表） ⑤仮名遣い、送り仮名、漢字の学習
	10	(知及技) 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。(高2(ハ)) (思判表力) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(高1Bイ) (学・人) 敬語の種類について知り、身近な敬語を理解して使おうとする態度を養う。(高2)	(知・技) 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れるようとしている。 (思・判・表) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。 (主学) 敬語の種類について知り、身近な敬語を理解して使おうとしている。	A 聞く・話す 表現力を高めよう①	敬語の種類や日常よく使われる敬語の学習 ①敬語の種類について ②身近な敬語について ③会話の中で敬語を使うロールプレイング
	8	(知及技) 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。(高2(ハ)) (思判表力) 話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。(高1Aウ) (学・人) 電話による連絡方法やマナーを理解して、電話の練習をしようとする態度を養う。(高2)	(知・技) 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れるようとしている。 (思・判・表) 話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。 (主学) 電話による連絡方法やマナーを理解して、電話の練習をしようとしている。	A 聞く・話す 電話を利用しよう	電話による連絡方法や電話のマナーについての学習 ①電話による連絡方法やマナーについて知る ②ロールプレイングで電話の実践練習

	10	(知及技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。(高1イ(7)) (思判表力) 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。(高1A材) (学・人) 調べたことを根拠に自分の考えを伝えようとする態度を養う。(高2)	(知・技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解しようとしている。 (思・判・表) 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。 (主学) 調べたことを根拠に自分の考えを伝えようとしている。	A 聞く・話す 話し合いをしよう (調べて発表しよう)	ディベート ①テーマを決める ②テーマについて調べ、意見をまとめる ③ディベート ④ふり返り
	3	(知及技) 話し言葉と書き言葉の違いがあることに気付くことができる。(高2ア(1)) (思判表力) 書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。(高1Bイ) (学・人) 手紙の書き方を理解し、送り相手に応じて、内容を工夫しようとする態度を養う。(高2)	(知・技) 話し言葉と書き言葉の違いがあることに気付いている。 (思・判・表) 書く内容の中心を決め、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 (主学) 手紙の書き方を理解し、送り相手に応じて、内容を工夫しようとしている。	B 書く 手紙を書こう①	暑中見舞いを書く
	4	(知及技) 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付くことができる。(高2イ(1)) (思判表力) 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けすることができる。(高1B材) (学・人) 日常的に読書に親しみ、図書のもつ良さを感じようとする態度を養う。(高2)	(知・技) 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付いている。 (思・判・表) 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。 (主学) 日常的に読書に親しみ、図書のもつ良さを感じようとしている。	B 書く C 読む 本に親しもう	物語を読んでブックレビューを紹介する
	6	(知及技) 生活に身近なことば(しまくとうば)を知り、使うことができる。(高1イ(7)) (思判表力) しまくとうばの知識をもとに、どのように言葉が変化するか考えることができる。(高1) (学・人) 言葉を口に出すことで響きを感じるなど、しまくとうばに親しもうとする態度を養う。(高2)	(知・技) 生活に身近なことば(しまくとうば)を知り、使おうとしている。 (思・判・表) しまくとうばの知識をもとに、どのように言葉が変化するか考えている。 (主学) 言葉を口に出すことで響きを感じるなど、しまくとうばに親しもうとしている。	A 聞く・話す C 読む しまくとうばの学習	しまくとうばの基礎知識やことばについての学習
	5	(知及技) 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。(高2ア(カ)) (思判表力) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。(高1Bイ) (学・人) 敬語の種類について知り、身近な敬語を理解して使おうとする態度を養う。(高2)	(知・技) 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れようとしている。 (思・判・表) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。 (主学) 敬語の種類について知り、身近な敬語を理解して使おうとしている。	A 聞く・話す 表現力を高めよう②	敬語の種類や日常よく使われる敬語の学習 ①敬語の種類について ②身近な敬語について ③会話の中で敬語を使うロールプレイング
	4	(知及技) 接続する語句の役割について理解することができる。(高1ア(オ)) (思判表力) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。(高1B(ア)) (学・人) 手紙の書き方を理解し、送り相手に応じて、内容を工夫しようとする態度を養う。(高1)	(知・技) 接続する語句の役割について理解している。 (思・判・表) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にしようとしている。 (主学) 手紙の書き方を理解し、送り相手に応じて、内容を工夫している。	B 書く 手紙を書こう②	後期就業体験のお礼状を書く ①お礼状の書き方の形式 ②下書き ③清書 ④封書の書き方
後期	8	(知及技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解することができる。(高1イ(7)) (思判表力) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。(高1Bイ) (学・人) すすんで情報を調べたりまとめたりして、構成を考えて書こうとする態度を養う。(高2)	(知・技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解しようとしている。 (思・判・表) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にしている。 (主学) すすんで情報を調べたりまとめたりして、構成を考えて書こうとしている。	B 書く 先生の紹介新聞を作ろう	wordを活用して、共同学習の教科担当の先生インタビューをした写真や情報を入力して新聞作成

	(知及技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くことができる。(高2⁽⁷⁾) (思判表力) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(高1⁸) (学・人) 手紙の書き方を理解し、送り相手に応じて、内容を工夫しようとする態度を養う。(高2)	(知・技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書いている。 (思・判・表) 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。 (主学) 手紙の書き方を理解し、送り相手に応じて、内容を工夫しようとしている。	B 書く 手紙を書こう③	年賀状を書く
	(知及技) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。(高2⁽⁷⁾) (思判表力) 毛筆の特性を理解し、全体のバランスを考えながら書くことができる。(高1) (学・人) 毛筆の特性が理解できるよう繰り返し書くこととする態度を養う。(高2)	(知・技) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。 (思・判・表) 毛筆の特性を理解し、全体のバランスを考えながら書いている。 (主学) 毛筆の特性が理解できるよう繰り返し書くこととしている。	B 書く 書き初め 「半切サイズに挑戦」	①書く言葉を決める ②書く時の姿勢や筆記用具の持ち方について知る。 ③運筆に気をつけ、字のバランスを整えながら、下書きをする。 ④お手本を見ながら清書をする。
	(知及技) 比較や分類の仕方、辞書や事典の使い方などを理解し使うことができる。(高1⁽⁴⁾) (思判表力) 辞書の用途を知り、どの辞書や辞典を用いて調べるか考え、適した辞書を用いて調べることができる。(高1) (学・人) 辞書の用途を理解し、様々な語句を自ら調べようとする態度を養う。(高2)	(知・技) 比較や分類の仕方、辞書や事典の使い方などを理解し使っている。 生活に身近なことわざや慣用句などを知り、使おうとしている。 (思・判・表) 辞書の用途を知り、どの辞書や辞典を用いて調べるか考え、適した辞書を用いて調べている。 (主学) 辞書の用途を理解し、様々な語句を自ら調べようとしている。	B 書く C 読む 辞書を活用しよう	国語辞典や漢字辞典を活用する
	(知及技) 情報と情報との関係付けの仕方を理解し使うことができる。(高2) (思判表力) 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(高1⁸) (学・人) さまざまな文章を読み、必要な情報を読み取ろうとする態度を養う。(高2)	(知・技) 情報と情報との関係付けの仕方を理解し使おうとしている。 (思・判・表) 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫しようとしている。 (主学) さまざまな文章を読み、必要な情報を読み取ろうとしている。	A 聞く・話す C 読む 文章の読み取り② 『蜘蛛の糸』	様々な文章を読み、必要な情報を読み取る
	(知及技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。(高1⁽¹⁾) (思判表力) 社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えることができる。(高1A⁷) (学・人) 会話で気をつけることや場に合った態度について考え、実践しようとする態度を養う。(高2)	(知・技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。 (思・判・表) 社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えている。 (主学) 会話で気をつけることや場に合った態度について考え、実践しようとしている。	A 聞く・話す 挨拶や会話をする力を高めよう	会話で気をつけることや場に合った態度についてロールプレイング
	(知及技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。(高1⁽¹⁾) (思判表力) 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。(高1⁽⁴⁾) (学・人) 言葉の関係性を理解し、自分の表現に生かそうとする態度を養う。(高2)	(知・技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしようとしている。 (思・判・表) 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 (主学) 言葉の関係性を理解し、自分の表現に生かそうとしている。	A 聞く・話す B 書く C 読む 表現力を高めよう 後期の振り返り 作品集作り	感想と事実、結果と原因など区別する ①できたこと、次の学年へ向けての課題についてメモ書きする。 ②課題解決のための計画を立てる。 ③これまで取り組んできたプリントや作品を製本する。
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和 7 年度 高等部 3 年（Ⅱ課程） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	真和志分教室 3 学年		参考図書 『くらしに役立つ国語』 (東洋館出版社)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (高2) (思判表力) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。(高2) (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高2)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		(知及技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くことができる。(高2ア(イ)) (思判表力) 学習した漢字を読んだり書いたりするなど、表現の幅を広げ、活用することができる。(高2) (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高2)	(知・技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くこととしている。 (思・判・表) 学習した漢字を読んだり書いたりするなど、表現の幅を広げ、活用しようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとしている。	B 書く C 読む 漢字の読み書き	漢字の読み書き 小学校中学年から小学校高学年までの漢字の読み書きに取り組む。
		(知及技) 情報と情報との関係付けの仕方を理解し使うことができる。(高2イ(イ)) (思判表力) 社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えることができる。(高2Aア) (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高2)	(知・技) 情報と情報との関係付けの仕方を理解し使うこととしている。 (思・判・表) 社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えようとしている。 (主学) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとしている。	C 読む 情報の聞き取り	情報の聞き取り 新聞や本から興味のある情報を読み取る。
前期	8	(知及技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。(高2ア(フ)) (思判表力) 話の内容が明確になるように、話の構成を考えることができる。(高2Aウ) (学・人) 相手に正確に伝わるように話したり、相手の話の中心を捉えて聞いたりしようとする態度を養う。(高2)	(知・技) 社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 (思・判・表) 話の内容が明確になるように、話の構成を考えている。 (主学) 相手に正確に伝わるように話したり、相手の話の中心を捉えて聞いたりしようとしている。	A 聞く・話す 自己紹介をしよう 他己紹介をしよう B 書く 表記と言葉（誤りやすい表記）	自己紹介・他己紹介 ①自己紹介の素材集め ②自己紹介（発表） ③他己紹介の素材集め（共同学習のペアインタビュー） ④他己紹介（インタビューしたことを発表） ⑤仮名遣い、送り仮名、漢字の学習
	6	(知及技) 文章を音読したり、朗読したりすることができる。(高2ア(ハ)) 親しみやすい文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(高2ウ(フ)) (思判表力) 文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめることができる。(高2Cオ) (学・人) 詩を読み味わい、感想を書いたり、リズムを感じながら音読したりしようとする態度を養う。(高2)	(知・技) 文章を音読したり、朗読したりしている。 親しみやすい文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 (思・判・表) 文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめている。 (主学) 詩を読み味わい、感想を書いたり、リズムを感じながら音読したりしようとしている。	A 聞く・話す C 読む 本に親しもう 詩「雨二モマケズ」	詩の読み取り・音読 ①詩の内容を読み取る ②読み取った内容を基に工夫して音読する
	8	(知及技) 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れることができる。(高2ア(カ)) (思判表力) 社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えることができる。(高2Aア) (学・人) 身近な敬語を理解して意識的に使い、使い慣れようとする態度を養う。(高2)	(知・技) 日常よく使われる敬語を理解し使い慣れようとしている。 (思・判・表) 社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えている。 (主学) 身近な敬語を理解して意識的に使い、使い慣れようとしている。	A 聞く・話す 表現力を高めよう①	敬語の種類や日常よく使われる敬語の学習 ①敬語の種類について ②身近な敬語について ③面接時の対応 ④面接のロールプレイング

8	(知及技) 原因と結果など、情報と情報との関係について理解することができる。(高2イ(7)) (思判表力) 目的や意図に応じて、話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合う内容を検討することができる。(高2Aイ) 互いの立場や意図を明確にしながら、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。(高2Aオ) (学・人) 質問を考え、聞き取った内容をまとめて、他者に伝えようとする態度を養う。(高2)	(知・技) 原因と結果など、情報と情報との関係について理解している。 (思・判・表) 目的や意図に応じて、話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合う内容を検討している。 互いの立場や意図を明確にしながら、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。 (主学) 質問を考え、聞き取った内容をまとめて、他者に伝えようとしている。	A 聞く・話す B 書く インタビューをしよう	テーマを決めてインタビューする ①テーマを決め、インタビュー内容を考える ②メモの取り方について ③インタビュー(実践) ④インタビューの内容をまとめる ⑤報告
12	(知及技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書くことができる。(高2ア(9)) (思判表力) 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成を考えることができる。(高2Bイ) (学・人) 手紙の書き方を理解し、送り相手に応じて、内容や書き方を工夫しようとする態度を養う。(高2)	(知・技) 文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて書いている。 (思・判・表) 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成を考えている。 (主学) 手紙の書き方を理解し、送り相手に応じて、内容や書き方を工夫しようとしている。	B 書く 手紙を書こう①	お礼状と暑中見舞い ①実習先へのお礼状作成 ②暑中見舞いを書く
9	(知及技) 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付くことができる。(高2ウ(9)①) (思判表力) 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。(高2Cア) 人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。(高2Cウ) (学・人) 日常的に読書に親しみ、図書のもつ良さを感ぜようとする態度を養う。(高2)	(知・技) 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付いている。 (思・判・表) 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。 人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 (主学) 日常的に読書に親しみ、図書のもつ良さを感ぜようとしている。	C 読む 本に親しもう 「白羽のつる」	物語を読んでブックレビューを紹介する
6	(知及技) 生活に身近なことば(しまくとうば)を知り、使うことができる。(高2ウ(7)) (思判表力) しまくとうばの知識をもとに、どのように言葉が変化するか考えることができる。(高2) (学・人) 言葉を口に出すことで響きを感じるなど、しまくとうばに親しもうとする態度を養う。(高2)	(知・技) 生活に身近なことば(しまくとうば)を知り、使おうとしている。 (思・判・表) しまくとうばの知識をもとに、どのように言葉が変化するか考えている。 (主学) 言葉を口に出すことで響きを感じるなど、しまくとうばに親しもうとしている。	A 聞く・話す しまくとうばの学習	しまくとうばの基礎知識やことばについての学習 組踊りや琉歌などの郷土の文芸
5	(知及技) 情報と情報との関係付けの仕方を理解し使うことができる。(高2イ(1)) (思判表力) 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。(高2Bウ) 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 (学・人) 調べた内容をもとに構成を考え、書き方を工夫してポスターを作成しようとする態度を養う。(高2)	(知・技) 情報と情報との関係付けの仕方を理解し使っている。 (思・判・表) 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫しようとしている。 (主学) 調べた内容をもとに構成を考え、書き方を工夫してポスターを作成しようとしている。	B 書く 魅力的なポスターを作ろう	テーマを決めてポスターを作成する ①テーマを決める ②構成を考える ③内容を調べ、まとめる ④発表 ⑤振り返り
7	(知及技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。(高2ア(1)) (思判表力) 話の内容が明確になるように、話の構成を考えることができる。(高2Aウ) (学・人) 身近な敬語を理解して、相手や場面に応じて使い分けようとする態度を養う。(高2)	(知・技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。 (思・判・表) 話の内容が明確になるように、話の構成を考えている。 (主学) 身近な敬語を理解して、相手や場面に応じて使い分けようとしている。	A 聞く・話す 表現力を高めよう②	日常よく使われる敬語の学習・場に応じた会話の仕方 ①身近な敬語について ②場に応じた話し方のロールプレイング
5	(知及技) 文と文との接続の関係、話や文章の構成や種類について理解することができる。(高2ア(4)) (思判表力) 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することができる。(高2Cイ) (学・人) さまざまな文章を読み、文章の全体を捉えて、必要な情報を読み取ろうとする態度を養う。(高2)	(知・技) 文と文との接続の関係、話や文章の構成や種類について理解している。 (思・判・表) 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。 (主学) さまざまな文章を読み、文章の全体を捉えて、必要な情報を読み取ろうとしている。	C 読む 文章の読み取り①	様々な文章を読み、必要な情報を読み取る

	(知及技) 話し言葉と書き言葉の違いがあることに気付くことができる。(高2ア(イ)) (思判表力) 目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(高2Bア) (学・人) 手紙の書き方を理解し、送り相手に応じて、内容や書き方を工夫しようとする態度を養う。(高2)	(知・技) 話し言葉と書き言葉の違いがあることに気付いている。 (思・判・表) 目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) 手紙の書き方を理解し、送り相手に応じて、内容や書き方を工夫しようとしている。	B 書く 手紙を書こう②	年賀状を書く
	(知及技) 生活の中で使われる慣用句、故事成語などの意味を知り、使うことができる。(高2ウ(イ)) (思判表力) 辞書の用途を知り、どの辞書や辞典を用いて調べるか考え、適した辞書を用いて調べることができる。(高2) (学・人) 辞書の用途を理解し、様々な語句を自ら調べようとする態度を養う。(高2)	(知・技) 生活の中で使われる慣用句、故事成語などの意味を知り、使おうとしている。 (思・判・表) 辞書の用途を知り、どの辞書や辞典を用いて調べるか考え、適した辞書を用いて調べている。 (主学) 辞書の用途を理解し、様々な語句を自ら調べようとしている。	B 書く 辞書を活用しよう	国語辞典や漢字辞典を活用する
	(知及技) 文と文との接続の関係、話や文章の構成や種類について理解することができる。(高2ア(オ)) (思判表力) 目的を意識して、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けることができる。(高2Cエ) (学・人) さまざまな文章を読み、文章の全体を捉えて、必要な情報を読み取ろうとする態度を養う。(高2)	(知・技) 文と文との接続の関係、話や文章の構成や種類について理解している。 (思・判・表) 目的を意識して、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けている。 (主学) さまざまな文章を読み、文章の全体を捉えて、必要な情報を読み取ろうとしている。	C 読む 文章の読み取り②	様々な文章を読み、必要な情報を読み取る
	(知及技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。(高2ア(イ)) (思判表力) 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。(高2Aエ) 文章全体の構成が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。(高2Bカ) (学・人) テーマ毎にこれまでの自分を振り返り、書き方を工夫しながら、自分のことについて書こうとする態度を養う。(高2)	(知・技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。 (思・判・表) 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。 文章全体の構成が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。 (主学) テーマ毎にこれまでの自分を振り返り、書き方を工夫しながら、自分のことについて書こうとしている。	A 聞く・話す B 書く わたしの物語を書こう	自分史の作成
	(知及技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。(高2ア(イ)) (思判表力) 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができる。(高2Bオ) (学・人) 相手に応じて、文章を整え、自分の気持ちが伝わるように手紙を書こうとする態度を養う。(高2)	(知・技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。 (思・判・表) 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。 (主学) 相手に応じて、文章を整え、自分の気持ちが伝わるように手紙を書こうとしている。	B 書く 感謝の手紙	お世話になった方々へ感謝の手紙を書く
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和7年度 高等部 1年（Ⅱ課程） 社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	真和志分教室1学年		参考図書 社会☆☆☆☆（文部科学省著作教科書） これだけは知っておきたいよね おきなわのこと （東洋企画）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 現代社会の仕組みや働きについて、様々な資料などを通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 （思判表力） 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、自分の生活と結びつけて考えたり、社会への関わり方選択・判断したりする力、考えたことを適切に表現する力を養う。 （学・人） 社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇り、社会人としての自覚、社会の人びとと共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	14	（知及技） 地域の人々と互いに協力することの大切さを理解し、自分の役割や責任を果たすための知識や技能を身につけることができる。 （思判表力） 社会生活の中で状況を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現することができる。 （学・人） 社会参加をするための意識を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとすることができる。	（知・技） 互いに協力することや話し合いで物事を解決する方法、国民の権利と義務について知識を理解している。 （思・判・表） 社会生活の中で状況を的確に判断し、自分の役割と責任について考え、表現している。 （主学） 社会参加することについて学んだこと生かし、実際の生活に役立てようとしている。	単元1「社会参加するとは」	・互いに協力することの大切さ ・もしも意見が対立したら ・権利と義務 ・選挙について
	14	（知及技） 社会生活を営む上で大切な法やきまりなどについての基本的な知識を身につけることができる。 （思判表力） 社会生活を営む上で大切な法やきまりについて、その意義と自分との関わりについて考え、表現することができる。 （学・人） 法やきまりを遵守する意識を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとすることができる。	（知・技） 社会慣習や生活に関係の深い憲法や法律、条例などのきまりについてその意義を理解している。 （思・判・表） 社会慣習や生活に関係の深い法やきまりについて考え、考えたことを表現している。 （主学） 法やきまりについて学び、自分の生活に生かそうとする意識を高めようとしている。	単元2「法ときまりについて」	・なぜ「きまりがあるの？」 ・法ときまりについて ・もしも法律がなかったら ・社会生活と法 ・私たちの生活と憲法
	14	（知及技） 自分の生活に関係の深いものや、地域にある公共施設及び公共物の役割や必要性について理解することができる。 （思判表力） 自分の生活に関係の深いものや、地域にある公共施設や公共物のについて、自分の考えを表現することができる。 （学・人） 公共施設や公共物について、学んだことを主体的に生活に生かそうとすることができる。	（知・技） 地域にある役場などの公共施設や公共物、公共交通機関について役割と必要性について理解している。 （思・判・表） 地域にある公共施設や公共物、公共交通機関の利用方法を調べ、適切な活用を考え、表現している。 （主学） 公共施設や公共物について学んだこと生かし、これらへの興味を深めようとしている。	単元3「私のまちの公共施設」	・役所（役場）について ・地域にある公共施設 ・公共交通機関について
後期	14	（知及技） 国や地方公共団体の政治の仕組みや働きについて理解することができる。 （思判表力） 国や地方公共団体の政治の取り組みについて調べ、国民生活における政治の働きについて考え、表現することができる。 （学・人） 国や地方公共団体の政治の仕組みについて、学んだことを主体的に生活に生かそうとすることができる。	（知・技） 三権分立や国民主権を中心に、国や地方公共団体の政治の仕組みについて理解している。 （思・判・表） 国や地方公共団体の政治の取り組みについて調べ、国民生活における政治の働きについて考え、表現している。 （主学） 国や地方公共団体の政治の仕組みについて、学んだことを主体的に生活に生かそうとし、関心を深めようとしている。	単元4「政治のしくみ」	・日本の政治のしくみ ・国会・内閣・裁判所のしくみ ・地方公共団体のしくみ

	14	(知及技) 生活に関係の深い様々な制度について、理解することができる。 (思判表力) 生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現することができる。 (学・人) 生活に関係の深い制度について、学んだことを主体的に生活に生かそうとすることができる。	(知・技) 租税、年金、社会保証、福祉などの制度について自分の生活に関連付けて理解している。 (思・判・表) 租税、年金、社会保障、福祉などの制度の活用方法について表現している。 (主学) 生活に関係の深い制度について、学んだことと自分の生活に関連付けて生活に役立てようとしている。	単元5「私たちの身の回りの制度」	・租税について ・年金制度について ・社会保障について ・福祉制度について
年間を通して		(知及技) 最近起こったニュースや話題をICT機器を使い、調べることができる。 (思判表力) 世界の様々な事象や時事問題について、自分の考えを表現することができる。 (学・人) 最近の話題やニュースなどに関心を持ち、世の中で起こった出来事に興味を持つことができる。	(知・技) ICTを活用して、時事ニュースに関することを調べている。 (思・判・表) 世界の様々な事象や時事問題について、文章や絵で表現している。 (主学) 時事問題等を通して、世の中の出来事に対する関心を深めようとしている。		・ICTを使った調べ学習 ・新聞を取り入れた学習（NIE学習） ・視聴覚教材の視聴
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。				

令和7年度 高等部 2年（Ⅱ課程） 社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	真和志分教室2学年		参考図書 社会☆☆☆☆（文部科学省著作教科書） これだけは知っておきたいよね おきなわのこと （東洋企画）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 地域や我が国の国土の地理的環境、地域や我が国の歴史や伝統と文化について、様々な資料などを通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 （思判表力） 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、自分の生活と結びつけて考えたり、社会への関わり方選択・判断したりする力、考えたことを適切に表現する力を養う。 （学・人） 社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会や我が国の地理や歴史に対する関心を持ち、大切にすることを養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	16	（知及技） 我が国の国土の自然環境と国民生活について学習し、自然災害や公害が国民生活に影響を及ぼすことを理解することができる。 （思判表力） 防災や環境の保全について、人びとの協力や努力に注目して、自分たちができることなどを考え、表現することができる。 （学・人） 自然を大切にすることを養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとすることができる。	（知・技） 自然災害の種類や、公害の種類・発生時期や経過について理解している。 （思・判・表） 防災や環境の保全について調べたことや考えたことを表現している。 （主学） 自然災害や公害について学んだこと生かし、防災や環境の保全について関心を深めようとしている。	単元1「国土と自然環境」	・日本で起こりうる自然災害 ・防災対策について ・公害と生活環境 ・環境を守るため私たちができること
	8	（知及技） 沖縄県についての自然や文化の概要を理解することができる。 （思判表力） 沖縄県の自然や文化について、自分の考えたことを表現することができる。 （学・人） 自分が住んでいる地域についての関心を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとすることができる。	（知・技） 沖縄県の気候や地形の成り立ち、地域の生活文化について理解している。 （思・判・表） 沖縄県の自然や文化について、自分が調べたことを文章や絵などで表現している。 （主学） 沖縄県について学んだこと生かし、自分たちの住んでいる郷土について関心を深めようとしている。	単元2「沖縄の自然環境と生活文化」	・沖縄県の位置 ・沖縄県の自然 ・沖縄県の生活 ・沖縄県の伝統と文化
	14	（知及技） 日本の気候や自然環境と、それに適応した生活文化の様子を理解することができる。 （思判表力） 日本の様々な地域の生活と地域の自然環境を関連づけて考え、表現することができる。 （学・人） 日本の自然環境や生活文化について、学んだことを主体的に生活に生かそうとすることができる。	（知・技） 日本の気候や自然環境、生活文化の様子について理解している。 （思・判・表） 日本の様々な地域の生活と地域の自然環境について関連付けて考え、自分の調べたことを文章や絵で表現している。 （主学） 日本の自然環境や生活文化について、学んだこと生かし、自分が住んでいるところ以外の地域の関心を深めようとしている。	単元3「日本の自然環境と生活文化」	・日本の気候 ・日本の自然環境 ・日本の自然環境と生活文化 ・世界の中の日本 ・日本の領域
後期	16	（知及技） 沖縄県の歴史的偉人や沖縄の世界遺産について理解することができる。 （思判表力） 沖縄県の歴史的偉人や沖縄の世界遺産について、自分が調べたことを表現することができる。 （学・人） 沖縄県の歴史的偉人や世界遺産について、学んだことを主体的に生活に生かそうとすることができる。	（知・技） 沖縄の歴史的偉人の業績や、世界遺産と関連した沖縄の歴史的な事象について理解している。 （思・判・表） 沖縄県の歴史的偉人や沖縄の世界遺産について調べ学習を行い、自分の調べたことを文章や絵で表現している。 （主学） 沖縄県の歴史的偉人や世界遺産について学んだこと生かし、沖縄県の歴史についての関心を深めようとしている。	単元2「沖縄の歴史」	・沖縄の歴史的偉人 ・沖縄の世界遺産

	16	(知及技) 日本の歴史的偉人や日本の世界遺産について理解することができる。 (思判表力) 日本の歴史的偉人や日本の世界遺産について、自分が調べたことを表現することができる。 (学・人) 日本の歴史的偉人や日本の世界遺産について、学んだことを主体的に生活に生かそうとすることができる。	(知・技) 日本の歴史的偉人の業績や、世界遺産と関連した日本の歴史的事象について理解している。 (思・判・表) 日本の歴史的偉人や日本の世界遺産について調べ学習を行い、自分の調べたことを文章や絵で表現している。 (主学) 日本の歴史的偉人や日本の世界遺産について学んだこと生かし、日本の歴史についての関心を深めようとしている。	単元5「日本の歴史」	・日本の歴史的偉人 ・日本の世界遺産
年間を通して		(知及技) 最近起こったニュースや話題をI C T機器を使い、調べることができる。 (思判表力) 世界の様々な事象や時事問題について、自分の考えを表現することができる。 (学・人) 最近の話題やニュースなどに関心を持ち、世の中で起こった出来事に興味をもつことができる。	(知・技) I C Tを活用して、時事ニュースに関することを調べている。 (思・判・表) 世界の様々な事象や時事問題について、文章や絵で表現している。 (主学) 時事問題等を通して、世の中の出来事に対する関心を深めようとしている。		・I C Tを使った調べ学習 ・新聞を取り入れた学習（N I E 学習） ・視聴覚教材の視聴
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。				

令和7年度 高等部 3年(Ⅱ課程) 社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	真和志分教室3学年		参考図書 社会☆☆☆☆(文部科学省著作教科書) これだけは知っておきたいよね おきなわのこと (東洋企画)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 現代社会の仕組みや働き、外国の様子について、様々な資料などを通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、自分の生活と結びつけて考えたり、社会への関わり方選択・判断したりする力、考えたことを適切に表現する力を養う。 (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、社会人としての自覚、世界国々の人びとと共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	16	(知及技) 日本の農業や水産業における食料生産について理解を深めることができる。 (思判表力) 日本の食料生産について、調べたことを表現することができる。 (学・人) 日本の食料生産についての関心を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとすることができる。	(知・技) 農業や水産業の自然条件、輸送方法や販売方法などのしくみについて基本的な知識を理解している。 (思・判・表) 食料がどのように生産されるのか、食料生産に関わる人びとの工夫や努力などを調べ、文章や絵で表現している。 (主学) 食料生産について学んだことを生かして、食料生産への関心を深めようとしている。	単元1「日本の食料生産」	- 日本の農業と水産業 - 食料と流通 - 食料自給率について
	8	(知及技) 日本の工業生産についての特色や、情報産業について理解することができる。 (思判表力) 工業生産や情報産業について自分が調べたことを表現することができる。 (学・人) 工業生産や情報産業について自分が学んだことを主体的に生活に生かそうとすることができる。	(知・技) 日本の主な工業製品の製造工程や技術、産業と情報の関わりなどについて理解している。 (思・判・表) 工業製品や情報産業を自分たちの生活と関連付けて考え、文章や絵で表現している。 (主学) 工業生産や情報産業について学んだことを生かして、関心を深めようとしている。	単元2「日本の工業」	- 日本の工業生産 - 産業と情報 - 私たちの生活と情報
後期	14	(知及技) 外国の文化や習慣と日本の文化と習慣の違いについて理解することができる。 (思判表力) 外国と日本の文化の違いについて考え、表現することができる。 (学・人) 外国と日本の文化の違いについてについて、学んだことを主体的に生活に生かそうとすることができる。	(知・技) 外国の文化や習慣と日本の文化と習慣の違いについて理解し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解している。 (思・判・表) 外国と日本の文化の違いを調べたり、互いの国の文化を理解し合うためにはどうすればいいのか考え、文章で表現している。 (主学) 外国と日本の文化の違いについて学び、互いに尊重し合う心情を養うとともに、関心を高めようとしている。	単元5「外国の生活と文化」	- 日本と外国の文化の違い - 世界の衣食住 - 異なる文化を理解するには
	16	(知及技) 国際連合のしくみや日本の関わりについて、理解することができる。 (思判表力) 日本が国際連合の一員としてどのような役割をすればよいか考え、表現することができる。 (学・人) 国際連合と日本の役割について、学んだことを主体的に生活に生かそうとすることができる。	(知・技) 国際連合のしくみや日本の関わり、日本が諸外国発展のためにどのような援助や協力をしているのか理解している。 (思・判・表) 日本が国際連合の一員としてどのような役割をすればよいかを調べ、考えたことを文章で表現している。 (主学) 国際連合や日本の諸外国への関わりについて学んだことを生かし、自分にできることが何か関心をもとうとしている。	単元3「世界における日本の役割」	- 国際連合のしくみ - 国際連合と日本 - 諸外国の発展と日本の役割

	16	(知及技) 現在世界の中で起っている紛争や戦争、自分の住んでいる地域で起こった戦争について、基本的なことを理解することができる。 (思判表力) 現在起っている紛争や戦争について、自分の考えを表現することができる。 (学・人) 世界の紛争や戦争について、学んだことを主体的に生活に生かそうとすることができる。	(知・技) 世界で起っている紛争や戦争、沖縄戦などについて概要を理解している。 (思・判・表) 世界の紛争や戦争、沖縄戦について学んだことを生かし、平和な世の中にするにはどのようにすればいいのか自分の考えを文章で表現している。 (主学) 世界の紛争や戦争について、学んだことを生かして、平和への関心を高めようとしている。	単元4「戦争と平和について」	・世界の紛争や戦争 ・沖縄戦について ・世界の平和と日本の役割
年間を通して		(知及技) 最近起こったニュースや話題をICT機器を使い、調べることができる。 (思判表力) 世界の様々な事象や時事問題について、自分の考えを表現することができる。 (学・人) 最近の話題やニュースなどに関心を持ち、世の中で起こった出来事に興味をもつことができる。	(知・技) ICTを活用して、時事ニュースに関することを調べている。 (思・判・表) 世界の様々な事象や時事問題について、文章や絵で表現している。 (主学) 時事問題等を通して、世の中の出来事に対する関心を深めようとしている。		・ICTを使った調べ学習 ・新聞を取り入れた学習（NIE学習） ・視聴覚教材の視聴
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。				

令和7年度 高等部 1年（Ⅱ課程） 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	真和志分教室1学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。 (学・人) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理してことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	7	(知及技) 万・億・兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深めることができる。10倍、100倍、1000倍、1/10の大きさの数を小数点の位置を移してつくることができる。 (思判表力) 数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えるとともに、それらを日常生活に生かすことができる。 (学・人) 数の表し方の仕組みに着目し、数の相対的な大きさを考察し、計算などに有効に生かすことができる。 (学・人) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 万・億・兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深めようとしている。10倍、100倍、1000倍、1/10の大きさの数を小数点の位置を移して作っている。 (思・判・表) 数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えるとともに、それらを日常生活に生かそうとしている。 (学・人) 数の表し方の仕組みに着目し、数の相対的な大きさを考察し、計算などに有効に生かしている。 (主学) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元「大きな数のしくみ」	- それぞれの単位の個数が10になると新しい単位に置き換わることを知る。 - それぞれの単位を異なる記号を用いて表す代わりに、これを位の位置の違いで示す。 9桁を超えるような大きな数については、4桁に区切るなどして万や億の単位の幾つ分かを考えることができるようにする。 - 新聞等の見出しを読んだり、その数値を理解したりする。
	7	(知及技) 大きな数の加法及び減法の筆算の仕方について理解し、加法及び減法の計算ができる。 (思判表力) 数量の係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりすることができる。 (学・人) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 大きな数の加法及び減法の筆算の仕方について理解し、加法及び減法の計算をしている。 (思・判・表) 数量の係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりしている。 (主学) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元「大きな数の加法、減法」	- 既習の計算方法（筆算）を用いて、計算に取り組む。 - 計算に関して成り立つ性質を活用して、計算を工夫したり計算を確かめたりする。
	7	(知及技) 概数が用いられる場面や四捨五入について知ることができる。 (思判表力) 目的に応じて四則計算の結果を見積ることができる。 (学・人) 日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を見るとともに、それを日常生活に生かすことができる。 (学・人) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 概数が用いられる場面や四捨五入について知っている。目的に応じて四則計算の結果を見積っている。 (思・判・表) 日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を見るとともに、それを日常生活に生かしている。 (主学) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元「概数」	- 日本の人口や施設の入場者数などの例を出し、その目的を明確にしながら用い方を理解できるようにする。 - 四捨五入を用いて、計算の結果の見積もりを暗算で解けるようにする。

	7	(知・技) 乗法に関して成り立つ性質について理解するとともに、筆算を用いて、2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の計算ができる。 (思判表力) 数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりすることができる。 (学・人) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 乗法に関して成り立つ性質について理解するとともに、筆算を用いて、2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の計算をしている。 (思・判・表) 数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりしている。 (主学)数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「3位数以上の乗法」	・2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の計算を繰り返し行う。 ・計算に関して成り立つ性質を活用して、計算を工夫する。
	7	(知・技) 筆算を用いて、除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算ができる。除法について、除法に関して成り立つ性質や(被除数)＝(除数)×(商)＋(余り)の関係を理解することができる。 (思判表力) 数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりすることができる。 (学・人) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 筆算を用いて、除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算をしている。除法について、除法に関して成り立つ性質や(被除数)＝(除数)×(商)＋(余り)の関係を理解している。 (思・判・表) 数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり、計算の確かめをしたりしている。 (主学)数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「除法」	・除法が用いられる場面を設定し、包含除と等分除の違いが分かるように取り組む。 ・繰り返し計算問題に取り組み、計算の意味や計算の仕方を考える。
	後期	(知・技) ある量の何倍かを表すのに小数を用いていることや小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めることができる。小数の加法及び減法の計算や乗数、除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算ができる。 (思判表力) 数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方考えるときともに、それを日常生活に生かすことができる。 (学・人) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) ある量の何倍かを表すのに小数を用いていることや小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めることができる。小数の加法及び減法の計算や乗数、除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算をしている。 (思・判・表) 数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方考えるときともに、それを日常生活に生かしている。 (主学)数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元1 「小数の仕組み」 単元2 「小数と整数の乗法・除法」	・身の回りにある小数で表された量に気づき、それらの量を合わせたり、差を求めたりする。 ・小数の大小比較や計算についても整数と同じ考え方でできることを理解し、取り組む。
	7	(知・技) 小数の乗法及び除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことや乗数や除数が小数である場合の小数の乗法及び除法の意味や余りの大きさについて理解し、小数の乗法及び除法の計算ができる。 (思判表力) 乗法及び除法の意味に着目し、乗数や除数が小数である場合まで数の範囲を広げて乗法及び除法の意味を捉え直すとともに、それらの計算の仕方考えたり、それらを日常生活に生かしたりすることができる。 (学・人) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 小数の乗法及び除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことや乗数や除数が小数である場合の小数の乗法及び除法の意味や余りの大きさについて理解し、小数の乗法及び除法の計算をしている。 (思・判・表) 乗法及び除法の意味に着目し、乗数や除数が小数である場合まで数の範囲を広げて乗法及び除法の意味を捉え直すとともに、それらの計算の仕方考えたり、それらを日常生活に生かしている。 (主学)数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元「小数の乗法・除法」	・整数同士の乗法と整数と小数の乗法を比べて、乗法を乗数が小数の場合もできるようにする。 ・小数の乗法、除法共にその都度、計算に取り組む。

7	(知・技) 平行四辺形、ひし形、台形について知り、図形の形や大きさが決まる要素や図形の合同について理解することができる。三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解することができる。 (思・判・表) 図形を構成する要素及びそれらの位置関係や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり筋道を立てて考え説明したりすることができる。 (学・人) 図形や数量について数学的の表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 平行四辺形、ひし形、台形について知り、図形の形や大きさが決まる要素や図形の合同について理解している。三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解している。 (思・判・表) 図形を構成する要素及びそれらの位置関係や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり筋道を立てて考え説明したりしている。 (主学) 図形や数量について数学的の表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「台形、平行四辺形、ひし形」	・直線の位置関係や辺の長さに着目することで、平行四辺形、ひし形、台形について知り、図形の置き方をいろいろと変えても、その図形の名称が判断できるようにする。
	(知・技) 立方体、直方体について知り、直方体に関連した、直線や平面の平行や垂直の関係について理解することができる。見取図、展開図について知ることができる。 (思・判・表) 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し、図形の性質を見いだすとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直すことができる。 (学・人) 図形や数量について数学的の表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 立方体、直方体について知り、直方体に関連した、直線や平面の平行や垂直の関係について理解している。見取図、展開図について知っている。 (思・判・表) 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し、図形の性質を見いだすとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直している。 (主学) 図形や数量について数学的の表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「直方体と立方体」	・構成する要素（頂点・辺・面）に着目し、辺と辺、辺と面、面と面の平行及び垂直の関係について考える。 ・立体図形を平面上にいかにかに表現するか、また逆に、平面上に表現された図からいかにかに立体図形を構成できるかを考え、表現する。 ・生活の中に直方体と立方体を見いだし、それどのような性質を活用しているかを考え、発表する。
	(知・技) ものの位置の表し方について理解することができる。 (思・判・表) 平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察することができる。 (学・人) 図形や数量について数学的の表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) ものの位置の表し方について理解している。 (思・判・表) 平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察している。 (主学) 図形や数量について数学的の表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「直方体と立方体」	・実際に学校や教室の中、地図など身近にあるものの位置を数学的に表現する活動を行う。
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和7年度 高等部 2年（Ⅱ課程） 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	真和志分教室2学年		参考図書 さんすう☆☆☆ (文部科学省著作教科書)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。 (学・人) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理してことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	5	(知及技) 整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されることや約数・倍数について理解することができる。 (思判表力) 乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かすことができる。 (学・人) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	(知・技) 整数は、観点を決めると偶数と奇数に類別されることや約数、倍数について理解している。 (思・判・表) 乗法及び除法に着目し、観点を決めて整数を類別する仕方を考えたり、数の構成について考察したりするとともに、日常生活に生かしている。 (主学) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「整数の性質」	・整数そのものを考察の対象とし、0以上の整数全体を2つに類別する仕方を考える。 ・乗法や除法に着目した観点で、整数が偶数や奇数の2種類に類別されることを理解する。
	4	(知及技) 等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いることについて理解し、分数が単位分数の幾つ分かで表すことができる。 (思判表力) 数のまとまりや数を構成する単位に着目し、分数でも数の大きさを比べたり、計算したりできるかどうかを考えるとともに、分数を日常生活に生かすことができる。 (学・人) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	(知・技) 等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いることについて理解し、分数が単位分数の幾つ分かで表している。 (思・判・表) 数のまとまりや数を構成する単位に着目し、分数でも数の大きさを比べたり、計算したりできるかどうかを考えるとともに、分数を日常生活に生かしている。 (主学) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「分数の仕組み」	・計量カップやテープの長さを分数を使って表す活動を行う。
	4	(知及技) 簡単な場合について、大きさの等しい分数があることや分数の加法及び減法の意味について理解し、同分母の分数の加法及び減法の計算ができる。 (思判表力) 数のまとまりや数を構成する単位に着目し、分数でも数の大きさを比べたり、計算したりできるかどうかを考えるとともに、分数を日常生活に生かすことができる。 (学・人) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	(知・技) 簡単な場合について、大きさの等しい分数があることや分数の加法及び減法の意味について理解し、同分母の分数の加法及び減法の計算をしている。 (思・判・表) 数のまとまりや数を構成する単位に着目し、分数でも数の大きさを比べたり、計算したりできるかどうかを考えるとともに、分数を日常生活に生かしている。 (主学) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「分数の仕組み」	・分数を使った時刻や時間の計算に取り組む。 ・分数の加法・減法について取り組む。

4	(知・技) 整数の除法の結果は、分数を用いると常に一つの数として表すことができることを理解し、整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすることができる。 (思・判・表) 数を構成する単位や分数の表現に着目し、数の相等及び大小関係について考察したり、除法の結果の表し方を振り返ったりすることで、分数の意味をまとめることができる。 (学・人) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	(知・技) 整数の除法の結果は、分数を用いると常に一つの数として表すことができることを理解し、整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりしている。 (思・判・表) 数を構成する単位や分数の表現に着目し、数の相等及び大小関係について考察したり、除法の結果の表し方を振り返ったりすることで、分数の意味をまとめている。 (主・学) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「分数と小数、整数」	・ 小数で表すことができない数を分数では一つの数として表すことができることを理解し、整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりする活動を行う。
4	(知・技) 一つの分数の分子及び分母に同じ数を乗除してできる分数は、元の分数と同じ大きさを表すことを理解し、分数の相等及び大小について知り、大小を比べることができる。 (思・判・表) 数を構成する単位や分数の表現に着目し、数の相等及び大小関係について考察したり、除法の結果の表し方を振り返ったりすることで、分数の意味をまとめることができる。 (学・人) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	(知・技) 一つの分数の分子及び分母に同じ数を乗除してできる分数は、元の分数と同じ大きさを表すことを理解し、分数の相等及び大小について知り、大小を比べている。 (思・判・表) 数を構成する単位や分数の表現に着目し、数の相等及び大小関係について考察したり、除法の結果の表し方を振り返ったりすることで、分数の意味をまとめている。 (主・学) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「分数と小数、整数」	・ 分母を揃えて、分数の大小を比べる活動を繰り返し行う。
4	(知・技) 異分母の分数の加法及び減法の計算ができる。 (思・判・表) 分数の意味や表現に着目し、計算の仕方を考えることができる。 (学・人) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	(知・技) 異分母の分数の加法及び減法の計算をしている。 (思・判・表) 分数の意味や表現に着目し、計算の仕方を考えている。 (主・学) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「分数の加法・減法」	・ 約数や倍数の概念を用いて、通分することによって単位分数の個数に着目して考える。 ・ 分母と分子を用いて表現された分数の意味や大きさに着目して、分母が異なる分数の大きさを比べる場合に用いた方法を振り返る。
5	(知・技) 四則の混合した式、()を用いた式や公式についての考え方を理解し、正しく計算することができる。 (思・判・表) 問題場面の数量の関係や二つの数量の対応や変わり方に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 (学・人) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 四則の混合した式、()を用いた式や公式についての考え方を理解し、正しく計算している。 (思・判・表) 問題場面の数量の関係や二つの数量の対応や変わり方に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりしている。 (主・学) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「式と計算」	・ 四則を混合した計算や()を用いた計算を繰り返し行う。
4	(知・技) 数量を□、△などを用いて表し、その関係を式に表したり、□、△などに数を当てはめて調べたりし、数量の関係を表す式についての理解を深めることができる。 (思・判・表) 問題場面の数量の関係や二つの数量の対応や変わり方に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 (学・人) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 数量を□、△などを用いて表し、その関係を式に表したり、□、△などに数を当てはめて調べたりし、数量の関係を表す式についての理解を深めている。 (思・判・表) 問題場面の数量の関係や二つの数量の対応や変わり方に着目し、数量の関係を簡潔に、また一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりしている。 (主・学) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「式と計算」	・ 正方形の一辺の長さとおりの長さの関係を○、△などを式で表す活動を行う。

後期	4	(知及技) 四則に関して成り立つ性質についての理解を深めることができる。 (思判表力) 数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を用いて計算の仕方を考えることができる。 (学・人) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 四則に関して成り立つ性質についての理解を深めている。 (思・判・表) 数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を用いて計算の仕方を考えている。 (主学) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「式と計算」	・交換法則、結合法則、分配法則を活用した計算問題を繰り返し行う。
	4	(知及技) 円と関連させて正多角形の基本的な性質を知り、円周率の意味について理解し、それを用いることができる。 (思判表力) 図形を構成する要素及びそれらの位置関係や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり筋道を立てて考え説明したりすることができる。 (学・人) 図形や数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 円と関連させて正多角形の基本的な性質を知り、円周率の意味について理解し、それを用いている。 (思・判・表) 図形を構成する要素及びそれらの位置関係や図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり筋道を立てて考え説明したりしている。 (主学) 図形や数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「正多角形と円」	・正多角形を円と組み合わせて作図する活動を行う。 ・円について直径の長さや円周の長さとの間の関係を調べる活動に取り組む。
	4	(知及技) 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解することができる。 (思判表力) 図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くことができる。 (学・人) 図形や数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解している。 (思・判・表) 図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導いている。 (主学) 図形や数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「四角形と三角形の面積」	・三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算を繰り返し行う。
	4	(知及技) 基本的な角柱や円柱について知ることができる。 (思判表力) 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し、図形の性質を見いだすとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直すことができる。 (学・人) 図形や数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 基本的な角柱や円柱について知っている。 (思・判・表) 図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し、図形の性質を見いだすとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直している。 (主学) 図形や数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「角柱と円柱」	・模型や具体物を観察する活動を行う。 ・図形を構成する要素である底面、側面に着目し、辺と辺、辺と面等の関係を理解する活動を行う。
	4	(知及技) 簡単な場合について、比例の関係があることを知ることができる。 (思判表力) 伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察することができる。 (学・人) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 簡単な場合について、比例の関係があることを知っている。 (思・判・表) 伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察している。 (主学) 数量について数学的表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「2つの量の変わり方」	・表を用いて一方が2倍、3倍、4倍になるときに伴って他方も2倍、3倍、4倍になる2つの数量の関係を見いだす。

	4	(知及技) 速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めることができる。 (思判表力) 異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり、表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かすことができる。 (学・人) 数量について数学的の表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めている。 (思・判・表) 異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり、表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かしている。 (主学) 数量について数学的の表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用している。	単元 「単位量あたりの大きさ」	・都道府県や市町村の人口の疎密をくらべて、単位量の意味や用い方を学ぶ。
	4	(知及技) ある二つの数量関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解し、割合などを求め、百分率を用いて表すことができる。 (思判表力) 日常の事象における数量の關係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の關係と別の二つの数量の關係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かすことができる。 (学・人) 数量について数学的の表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	(知・技) ある二つの数量関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解し、割合などを求め、百分率を用いて表している。 (思・判・表) 日常の事象における数量の關係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の關係と別の二つの数量の關係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かしている。 (主学) 数量について数学的の表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「数量関係の調べ方」	・割合を用いて数量の關係同士を比べる。 ・「定価の20%引き」、「降水確率20%」など日常で用いられている百分率をチラシやテレビから見つけ、割合が便利な表現であることを気付く。
	4	(知及技) 数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を理解し、それらのグラフで表したり、読んだりすることができる。データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知ることができる。 (思判表力) 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察することができる。 (学・人) データの活用について数学的の表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を理解し、それらのグラフで表したり、読んだりしている。データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知っている。 (思・判・表) 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察している。 (主学) データの活用について数学的の表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用している。	単元 「帯グラフと円グラフ」	・課題を見つて、因果関係や傾向をデータに基づいて判断する統計的な問題解決方法を知り、考察していく。
	4	(知及技) 平均の意味や求め方を理解することができる。 (思判表力) 概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かすことができる。 (学・人) データの活用について数学的の表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 平均の意味や求め方を理解している。 (思・判・表) 概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かしている。 (主学) データの活用について数学的の表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用している。	単元 「平均」	・歩測によって廊下の長さを調べる活動等を行い、平均の意味や求め方を理解する。
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。				

令和7年度 高等部 3年（Ⅱ課程） 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	真和志分教室3学年		

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技） 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 （思・判・表） 日常の事象を数学的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。 （学・人） 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理してことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	7	（知・技） 数量を表す言葉や口・△などの代わりに、$a \cdot x$などの文字を用いて式に表したり、文字に数を当てはめて調べたりすることができる。 （思・判・表） 問題場面の数量の關係に着目し、数量の關係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 （学・人） 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	（知・技） 数量を表す言葉や口・△などの代わりに、$a \cdot x$などの文字を用いて式に表したり、文字に数を当てはめて調べたりしている。 （思・判・表） 問題場面の数量の關係に着目し、数量の關係を簡潔かつ一般的に表現したり、式の意味を読み取ったりしている。 （主学） 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「文字を使った式」	・色々な数を文字に当てはめて式が成り立つことを確認し、文字を用いた式を積極的に活用する。
	7	（知・技） 分数の乗法及び除法について、整数の場合と同じ関係や法則が成り立つについて理解し、分数の乗法及び除法の計算ができる。 （思・判・表） 数の意味と表現・計算について成り立つ性質に着目し、計算の仕方を多面的に捉え考えることができる。 （学・人） 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	（知・技） 分数の乗法及び除法について、整数の場合と同じ関係や法則が成り立つについて理解し、分数の乗法及び除法の計算をしている。 （思・判・表） 数の意味と表現、計算について成り立つ性質に着目し、計算の仕方を多面的に捉え考えている。 （主学） 数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「分数の乗法、除法」	・これまで学習した加法、減法の計算の仕方を基に、乗法、除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことに気付かせ、それらの計算を繰り返す。
	7	（知・技） 縮図や拡大図、対称な図形について理解することができる。 （思・判・表） 図形を構成する要素及び図形間の關係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりするとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり、日常生活に生かしたりすることができる。 （学・人） 図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	（知・技） 縮図や拡大図、対称な図形について理解している。 （思・判・表） 図形を構成する要素及び図形間の關係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりするとともに、その性質を基に既習の図形を捉え直したり、日常生活に生かしている。 （主学） 図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「縮図や拡大図」	・縮図や拡大図を作図する活動を通して互いに縮図や拡大図の關係にある図形は、その対応している角の大きさはすべて等しく、対応している辺の長さの比はどこでも一定であることをできるようにする。
	7	（知・技） 身の回りにおける形について、その概形を捉え、およその面積などを求めることができる。 （思・判・表） 図形を構成する要素や性質に着目し、筋道を立てて面積などの求め方を考え、それを日常生活に生かすことができる。 （学・人） 図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	（知・技） 身の回りにおける形について、その概形を捉え、およその面積などを求めている。 （思・判・表） 図形を構成する要素や性質に着目し、筋道を立てて面積などの求め方を考え、それを日常生活に生かしている。 （主学） 図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用している。	単元 「概形やおよその面積」	・身の回りの具体的な形を、これまで学習した図形を構成する要素や性質に着目して概形として捉えることと、およその面積を求める。
	7	（知・技） 円の面積の計算による求め方について理解することができる。 （思・判・表） 図形を構成する要素などに着目し、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くことができる。 （学・人） 図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	（知・技） 円の面積の計算による求め方について理解している。 （思・判・表） 図形を構成する要素などに着目し、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導いている。 （主学） 図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気づき、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「円の面積」	・これまで学習してきた基本図形の面積の求め方を振り返ることで、計算によって求めることができないかを考え、面積の大きさに見通しをもつ。 ・公式を用いて、円の面積を繰り返し求める。

後期	7	(知・技) 比例の関係の意味や性質、比例の関係を用いた問題解決の方法を理解することができる。また反比例の関係について理解することができる。 (思・判・表) 伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの関係を表現して、変化や対応の特徴を見いだすとともに、それらを日常生活に生かすことができる。 (学・人) 数量について数学的の表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 比例の関係の意味や性質、比例の関係を用いた問題解決の方法を理解することができる。また反比例の関係について理解している。 (思・判・表) 伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの関係を表現して、変化や対応の特徴を見いだすとともに、それらを日常生活に生かしている。 (主・学) 数量について数学的の表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「比例と反比例」	・これまで学習してきたことを踏まえ、比例関係の意味や性質を理解し、比例関係を用いた問題解決の方法や反比例の関係について知る。 ・日常生活において、伴って変わる2つの数量の関係を見いだして、それらの関係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いて変化や対応の特徴を考察し、問題を解決する。
	7	(知・技) 比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりすることができる。 (思・判・表) 日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察し、それを日常生活に生かすことができる。 (学・人) 数量について数学的の表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	(知・技) 比の意味や表し方を理解し、数量の関係を比で表したり、等しい比をつくったりしている。 (思・判・表) 日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて数量の関係の比べ方を考察し、それを日常生活に生かしている。 (主・学) 数量について数学的の表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「比」	・液体を配合する活動を通して、比の相等に気付き、比を表すことができるようにする。 ・比を用いた計算を繰り返す行う。
	7	(知・技) 体積の単位や立方体及び直方体の体積の計算による求め方について理解することができる。また基本的な角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解することができる。 (思・判・表) 体積の単位や図形を構成する要素に着目し、基本図形の体積の求め方を考えるとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察し、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くことができる。 (学・人) 図形や数量について数学的の表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 体積の単位や立方体及び直方体の体積の計算による求め方について理解することができる。また基本的な角柱及び円柱の体積の計算による求め方について理解している。 (思・判・表) 体積の単位や図形を構成する要素に着目し、基本図形の体積の求め方を考えるとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察し、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導いている。 (主・学) 図形や数量について数学的の表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 1 「直方体と立方体の体積」 単元 2 「角柱と円柱の体積」	・単位の大きさを決めるとそのいくつ分として数値化して捉えることができるなど、立体の体積についての単位や測定の意味を理解し、体積をもとめる。 ・実際に1cmの大きさの立方体を積み重ねて、体積を求める直方体とおよそ同じ大きさにして、体積の大きさを実感したり観察したりする活動を通して、体積の大きさについての感覚を培う。
	7	(知・技) 代表値の意味や求め方、度数分布を表す表や柱状グラフの特徴及びそれらの用い方を理解することができる。また目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を理解することができる。 (思・判・表) 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察することができる。 (学・人) データの活用について数学的の表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 代表値の意味や求め方、度数分布を表す表や柱状グラフの特徴及びそれらの用い方を理解することができる。また目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を理解している。 (思・判・表) 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察している。 (主・学) データの活用について数学的の表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「資料の調べ方」	・データ全体を表す指標として平均値、中央値、最頻値などの代表値の意味を理解し、用いる。 ・一つの数値で表すことで、データの特徴を簡潔に表すことができることに気付き、資料の特徴や代表値を用いる目的を明らかにしながら、どのような代表値を用いるべきか判断する。
	7	(知・技) 起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を理解することができる。 (思・判・表) 事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察することができる。 (学・人) データの活用について数学的の表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養うことができる。	(知・技) 起こり得る場合を順序よく整理するための図や表などの用い方を理解している。 (思・判・表) 事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、落ちや重なりなく調べる方法を考察している。 (主・学) データの活用について数学的の表現・処理したことを振り返り、粘り強く考える態度、数学のよさに気付き、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	単元 「場合の数」	・観点を決めて図や表などに順序よく整理して表す。 ・起こりうる全ての場合を適切な観点から分類整理して順序よく整理して表す。
留意点 引継ぎ等		年間を通して、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和7年度 高等部1年（Ⅱ課程） 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	真和志分教室1学年		『理科☆☆☆☆』 (東京書籍株式会社)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高段階) (思判表力) 観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を養う。(高段階) (学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。(高段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	25	(知及技) 生命の連続性についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高1 Aア) (思判表力) 生命の連続性について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を養う。(高1 Aイ) (学・人) 生命の連続性について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。(高1 Aウ)	(知・技) 生命の連続性について理解し、観察、実験の初歩的な技能を身に付けている。 (思・判・表) 生命の連続性について、調べ、考え、表現している。 (主学) 生命の連続性について、進んで調べ、生活に生かそうとしている。	【生命】 ・自然の観察 ・植物を育てよう ・こん虫を育てよう	・生き物のすがた ・種をまこう ・どれくらい育ったかな ・葉が増えてきたら ・花がさいたら ・植物の育ち方 ・チョウの育ち方 ・トンボやバッタの育ち方 ・校外学習（近隣の自然に触れよう）
	5	(知及技) エネルギーの捉え方についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高2 Cア) (思判表力) エネルギーの捉え方について調べる中で、主にそれらの仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくりだす力を養う。(高2 Cイ) (学・人) エネルギーの捉え方について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。(高2 Cウ)	(知・技) エネルギーの捉え方について理解し、観察、実験の初歩的な技能を身に付けている。 (思・判・表) エネルギーの捉え方について調べ、考え、表現している。 (主学) エネルギーの捉え方について進んで調べ、生活に生かそうとしている。	【物質とエネルギー】 ・ゴムの力 ・風の力	・ゴムで動く車を作ろう ・風で動く車を作ろう ・校外学習（ダム役割）
	5	(知及技) 地球と天体の運動についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高2 Bア) (思判表力) 地球と天体の運動について調べる中で、主にそれらの変化や関係について、より妥当な考えをつくりだす力を養う。(高2 Bイ) (学・人) 地球と天体の運動について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。(高2 Bウ)	(知・技) 地球と天体の運動について理解し、観察、実験の初歩的な技能を身に付けている。 (思・判・表) 地球と天体の運動について調べ、考え、表現している。 (主学) 地球と天体の運動について進んで調べ、生活に生かそうとしている。	【地球と自然】 ・太陽と地面 ・太陽の光とかけ	・日なたと日かげ ・かけを探そう
後期	15	(知及技) 地球と天体の運動についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高2 Bア) (思判表力) 地球と天体の運動について調べる中で、主にそれらの変化や関係について、より妥当な考えをつくりだす力を養う。(高2 Bイ) (学・人) 地球と天体の運動について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。(高2 Bウ)	(知・技) 地球と天体の運動について理解し、観察、実験の初歩的な技能を身に付けている。 (思・判・表) 地球と天体の運動について調べ、考え、表現している。 (主学) 地球と天体の運動について進んで調べ、生活に生かそうとしている。	【地球と自然】 ・太陽の光	・日光の的当てをしよう ・日光の進み方 ・日光の温度 ・日光を集めるとどうなる ・校外学習（施設見学）

10	(知及技) エネルギーの捉え方や電気の性質についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高2Cア) (思判表力) エネルギーの捉え方や電気の性質について調べる中で、主にそれらの仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくりだす力を養う。(高2Cイ) (学・人) エネルギーの捉え方や電気の性質について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。(高2Cウ)	(知・技) エネルギーの捉え方や電気の性質について理解し、観察、実験の初歩的な技能を身に付けている。 (思・判・表) エネルギーの捉え方や電気の性質について調べ、考え、表現している。 (主学) エネルギーの捉え方や電気の性質について進んで調べ、生活に生かそうとしている。	【物質とエネルギー】 ・音の不思議 ・明かりをつけよう	・音が出る時の様子を見よう ・音は振動で伝わる？ ・明かりがつくつなぎ方 ・電気を通す物・通さない物
	(知及技) 粒子の保存性や電流の働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高1Cア) (思判表力) 粒子の保存性や電流の働きについて調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を養う。(高1Cイ) (学・人) 粒子の保存性や電流の働きについて進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。(高1Cウ)	(知・技) 粒子の保存性や電流の働きについて理解し、観察、実験の初歩的な技能を身に付けている。 (思・判・表) 粒子の保存性や電流の働きについて調べ、考え、表現している。 (主学) 粒子の保存性や電流の働きについて進んで調べ、生活に生かそうとしている。	【物質とエネルギー】 ・物の重さ ・磁石の性質 ・磁石の極 ・電気の利用	・形と重さ ・大きさと重さ ・磁石に引き付けられる物・引き付けられない物 ・方位磁針と磁石 ・N極とS極 ・校外学習（電気の利用）
年間を通して	(知及技) ICTを活用して、調べ学習ができる。 (思判表力) 野外観察を行い、自然の様子について気付いたことを文章や絵で表現することができる。 (学・人) 視聴覚教材やおもしろ科学実験を通して、自然や身の回りのものへの興味を深めることができる。	(知・技) ICTを活用して、理科に関することを調べようとすることができる。 (思・判・表) 野外観察で気付いたことを、文章や絵で表現しようとしている。 (主学) 視聴覚教材やおもしろ科学実験を通して、自然や身の回りのものへの興味を深めようとしている。		・ICTを使った調べ学習 ・野外観察（校外学習） ・視聴覚教材の視聴 ・科学実験 ・調理実習
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和7年度 高等部2年（Ⅱ課程） 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	真和志分教室2学年		『理科☆☆☆☆』 (東京書籍株式会社)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高段階) (思判表力) 観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を養う。(高段階) (学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。(高段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	25	(知及技) 生命の連続性についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高1 Aア) (思判表力) 生命の連続性について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を養う。(高1 Aイ) (学・人) 生命の連続性について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。(高1 Aウ)	(知・技) 生命の連続性について理解し、観察、実験の初歩的な技能を身に付けている。 (思・判・表) 生命の連続性について、調べ、考え、表現している。 (主学) 生命の連続性について、進んで調べ、生活に生かそうとしている。	【生命】 ・自然の観察 ・植物を育てよう ・こん虫を育てよう	・生き物のすがた ・種をまこう ・どれくらい育ったかな ・葉が増えてきたら ・花がさいたら ・植物の育ち方 ・チョウの育ち方 ・トンボやバッタの育ち方 ・校外学習（近隣の自然に触れよう）
	5	(知及技) エネルギーの捉え方についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高2 Cア) (思判表力) エネルギーの捉え方について調べる中で、主にそれらの仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくりだす力を養う。(高2 Cイ) (学・人) エネルギーの捉え方について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。(高2 Cウ)	(知・技) エネルギーの捉え方について理解し、観察、実験の初歩的な技能を身に付けている。 (思・判・表) エネルギーの捉え方について調べ、考え、表現している。 (主学) エネルギーの捉え方について進んで調べ、生活に生かそうとしている。	【物質とエネルギー】 ・ゴムの力 ・風の力	・ゴムで動く車を作ろう ・風で動く車を作ろう ・校外学習（ダム役割）
	5	(知及技) 地球と天体の運動についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高2 Bア) (思判表力) 地球と天体の運動について調べる中で、主にそれらの変化や関係について、より妥当な考えをつくりだす力を養う。(高2 Bイ) (学・人) 地球と天体の運動について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。(高2 Bウ)	(知・技) 地球と天体の運動について理解し、観察、実験の初歩的な技能を身に付けている。 (思・判・表) 地球と天体の運動について調べ、考え、表現している。 (主学) 地球と天体の運動について進んで調べ、生活に生かそうとしている。	【地球と自然】 ・太陽と地面 ・太陽の光とかげ	・日なたと日かげ ・かげを探そう
後期	15	(知及技) 地球と天体の運動についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高2 Bア) (思判表力) 地球と天体の運動について調べる中で、主にそれらの変化や関係について、より妥当な考えをつくりだす力を養う。(高2 Bイ) (学・人) 地球と天体の運動について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。(高2 Bウ)	(知・技) 地球と天体の運動について理解し、観察、実験の初歩的な技能を身に付けている。 (思・判・表) 地球と天体の運動について調べ、考え、表現している。 (主学) 地球と天体の運動について進んで調べ、生活に生かそうとしている。	【地球と自然】 ・太陽の光	・日光の的当てをしよう ・日光の進み方 ・日光の温度 ・日光を集めるとどうなる ・校外学習（施設見学）

10	(知及技) エネルギーの捉え方や電気の性質についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高2Cア) (思判表力) エネルギーの捉え方や電気の性質について調べる中で、主にそれらの仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくりだす力を養う。(高2Cイ) (学・人) エネルギーの捉え方や電気の性質について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。(高2Cウ)	(知・技) エネルギーの捉え方や電気の性質について理解し、観察、実験の初歩的な技能を身に付けている。 (思・判・表) エネルギーの捉え方や電気の性質について調べ、考え、表現している。 (主学) エネルギーの捉え方や電気の性質について進んで調べ、生活に生かそうとしている。	【物質とエネルギー】 ・音の不思議 ・明かりをつけよう	・音が出る時の様子を見よう ・音は振動で伝わる？ ・明かりがつくつなぎ方 ・電気を通す物・通さない物
	(知及技) 粒子の保存性や電流の働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高1Cア) (思判表力) 粒子の保存性や電流の働きについて調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を養う。(高1Cイ) (学・人) 粒子の保存性や電流の働きについて進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。(高1Cウ)	(知・技) 粒子の保存性や電流の働きについて理解し、観察、実験の初歩的な技能を身に付けている。 (思・判・表) 粒子の保存性や電流の働きについて調べ、考え、表現している。 (主学) 粒子の保存性や電流の働きについて進んで調べ、生活に生かそうとしている。	【物質とエネルギー】 ・物の重さ ・磁石の性質 ・磁石の極 ・電気の利用	・形と重さ ・大きさと重さ ・磁石に引き付けられる物・引き付けられない物 ・方位磁針と磁石 ・N極とS極 ・校外学習（電気の利用）
年間を通して	(知及技) ICTを活用して、調べ学習ができる。 (思判表力) 野外観察を行い、自然の様子について気付いたことを文章や絵で表現することができる。 (学・人) 視聴覚教材やおもしろ科学実験を通して、自然や身の回りのものへの興味を深めることができる。	(知・技) ICTを活用して、理科に関することを調べようとすることができる。 (思・判・表) 野外観察で気付いたことを、文章や絵で表現しようとしている。 (主学) 視聴覚教材やおもしろ科学実験を通して、自然や身の回りのものへの興味を深めようとしている。		・ICTを使った調べ学習 ・野外観察（校外学習） ・視聴覚教材の視聴 ・科学実験 ・調理実習
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和7年度 高等部3年（Ⅱ課程） 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	真和志分教室3学年		『理科☆☆☆☆』 (東京書籍株式会社)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高段階) (思判表力) 観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を養う。(高段階) (学・人) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。(高段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	25	(知及技) 生命の連続性についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高1 Aア) (思判表力) 生命の連続性について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を養う。(高1 Aイ) (学・人) 生命の連続性について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。(高1 Aウ)	(知・技) 生命の連続性について理解し、観察、実験の初歩的な技能を身に付けている。 (思・判・表) 生命の連続性について、調べ、考え、表現することができる。 (主学) 生命の連続性について、進んで調べ、生活に生かそうとしている。	【生命】 ・自然の観察 ・植物を育てよう ・こん虫を育てよう	・生き物のすがた ・種をまこう ・どれくらい育ったかな ・葉が増えてきたら ・花がさいたら ・植物の育ち方 ・チョウの育ち方 ・トンボやバッタの育ち方 ・校外学習（近隣の自然に触れよう）
	5	(知及技) エネルギーの捉え方についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高2 Cア) (思判表力) エネルギーの捉え方について調べる中で、主にそれらの仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくりだす力を養う。(高2 Cイ) (学・人) エネルギーの捉え方について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。(高2 Cウ)	(知・技) エネルギーの捉え方について理解し、観察、実験の初歩的な技能を身に付けている。 (思・判・表) エネルギーの捉え方について調べ、考え、表現している。 (主学) エネルギーの捉え方について進んで調べ、生活に生かそうとしている。	【物質とエネルギー】 ・ゴムの力 ・風の力	・ゴムで動く車を作ろう ・風で動く車を作ろう ・校外学習（ダム役割）
	5	(知及技) 地球と天体の運動についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高2 Bア) (思判表力) 地球と天体の運動について調べる中で、主にそれらの変化や関係について、より妥当な考えをつくりだす力を養う。(高2 Bイ) (学・人) 地球と天体の運動について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。(高2 Bウ)	(知・技) 地球と天体の運動について理解し、観察、実験の初歩的な技能を身に付けている。 (思・判・表) 地球と天体の運動について調べ、考え、表現している。 (主学) 地球と天体の運動について進んで調べ、生活に生かそうとしている。	【地球と自然】 ・太陽と地面 ・太陽の光とかけ	・日なたと日かげ ・かけを探そう
後期	15	(知及技) 地球と天体の運動についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高2 Bア) (思判表力) 地球と天体の運動について調べる中で、主にそれらの変化や関係について、より妥当な考えをつくりだす力を養う。(高2 Bイ) (学・人) 地球と天体の運動について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。(高2 Bウ)	(知・技) 地球と天体の運動について理解し、観察、実験の初歩的な技能を身に付けている。 (思・判・表) 地球と天体の運動について調べ、考え、表現している。 (主学) 地球と天体の運動について進んで調べ、生活に生かそうとしている。	【地球と自然】 ・太陽の光	・日光の当て方をしよう ・日光の進み方 ・日光の温度 ・日光を集めるとどうなる ・校外学習（施設見学）

	10	(知及技) エネルギーの捉え方や電気の性質についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高2Cア) (思判表力) エネルギーの捉え方や電気の性質について調べる中で、主にそれらの仕組みや性質、規則性及び働きについて、より妥当な考えをつくりだす力を養う。(高2Cイ) (学・人) エネルギーの捉え方や電気の性質について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。(高2Cウ)	(知・技) エネルギーの捉え方や電気の性質について理解し、観察、実験の初歩的な技能を身に付けている。 (思・判・表) エネルギーの捉え方や電気の性質について調べ、考え、表現している。 (主学) エネルギーの捉え方や電気の性質について進んで調べ、生活に生かそうとしている。	【物質とエネルギー】 ・音の不思議 ・明かりをつけよう	・音が出るときの様子を見よう ・音は振動で伝わる？ ・明かりがつくつなぎ方 ・電気を通す物・通さない物
	10	(知及技) 粒子の保存性や電流の働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。(高1Cア) (思判表力) 粒子の保存性や電流の働きについて調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を養う。(高1Cイ) (学・人) 粒子の保存性や電流の働きについて進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。(高1Cウ)	(知・技) 粒子の保存性や電流の働きについて理解し、観察、実験の初歩的な技能を身に付けている。 (思・判・表) 粒子の保存性や電流の働きについて調べ、考え、表現している。 (主学) 粒子の保存性や電流の働きについて進んで調べ、生活に生かそうとしている。	【物質とエネルギー】 ・物の重さ ・磁石の性質 ・磁石の極 ・電気の利用	・形と重さ ・大きさと重さ ・磁石に引き付けられる物・引き付けられない物 ・方位磁針と磁石 ・N極とS極 ・校外学習（電気の利用）
	年間を通して	(知及技) ICTを活用して、調べ学習ができる。 (思判表力) 野外観察を行い、自然の様子について気付いたことを文章や絵で表現することができる。 (学・人) 視聴覚教材やおもしろ科学実験を通して、自然や身の回りのものへの興味を深めることができる。	(知・技) ICTを活用して、理科に関することを調べようとすることができる。 (思・判・表) 野外観察で気付いたことを、文章や絵で表現しようとしている。 (主学) 視聴覚教材やおもしろ科学実験を通して、自然や身の回りのものへの興味を深めようとしている。		・ICTを使った調べ学習 ・野外観察（校外学習） ・視聴覚教材の視聴 ・科学実験 ・調理実習
留意点 引継ぎ等		年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

高等部 1 年（Ⅱ課程） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	真和志分教室 1 学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。(高1段階) (学・人) 主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	34	(知及技) 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌うことができる。(高1 Aア(ウ)㉔) (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。(高1 Aア(ア)) (学・人) 主体的・協同的に取り組み、創意工夫をして歌う楽しさを見いだしながら仲間と歌うことができる。(高1)	(知・技) 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌おうとしている。 (思・判・表) 歌唱表現について知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫しようとしている。 (主学) 主体的・協同的に取り組み、創意工夫をして歌う楽しさを見いだしながら仲間と歌おうとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【歌唱】 ・クラスの歌声を響かせよう ・イタリアの民謡や歌曲 ・四季の歌	・季節や行事の歌に合わせて振りや手話を交えて表現したり、声に出して歌ったりする。 ・イタリア歌曲に触れる。 ・歌詞の意味について知る。 ・曲の雰囲気と曲に込められた思いについて知る。
		(知及技) 曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現することができる。(高1 Aエ(ウ)㉔) (思判表力) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を工夫することができる。(高1 Aエ(ア)) (学・人) 主体的・協同的に取り組み、創意工夫をして身体表現する楽しさを見いだしながら仲間と表現することができる。(高1)	(知・技) 曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現しようとしている。 (思・判・表) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を工夫しようとしている。 (主学) 主体的・協同的に取り組み、創意工夫をして身体表現する楽しさを見いだしながら仲間と表現しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【身体表現】 ・身体表現の基礎 ・身体でリズム	・表現方法について確認する。 ・音楽に合わせて身体で表現する。 ・音符について学習する。 ・音楽に合わせてリズムを叩く。
		(知及技) 音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けることができる。(高1 Aイ(ウ)㉔) (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができる。(高1 Aイ(ア)) (学・人) 主体的・協同的に取り組み、創意工夫をして演奏する楽しさを見いだしながら仲間と演奏することができる。(高1)	(知・技) 音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫しようとしている。 (主学) 主体的・協同的に取り組み、創意工夫をして演奏する楽しさを見いだしながら仲間と演奏しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【器楽】 ・楽器に触れる	・楽器の名称や楽器の特徴について知る。 ・正しい姿勢と奏法を心がけて演奏する。 ・必要に応じて教師の支援を受けながら演奏する。 ・皆と一緒に合わせて演奏する。
		(知及技) いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴を理解することができる。(高1 Aウ(ア)㉔) (思判表力) 創作表現についての知識や技能を得たりしながら、創作表現を工夫することができる。(高1 Aウ(ア)) (学・人) 主体的・協同的に取り組み、工夫して創作する楽しさを見いだしながら仲間と活動することができる。(高1)	(知・技) いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴を理解しようとしている。 (思・判・表) 創作表現についての知識や技能を得たりしながら、創作表現を工夫しようとしている。 (主学) 主体的・協同的に取り組み、工夫して創作する楽しさを見いだしながら仲間と活動しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【創作】 ・音楽創作の基礎 ・リズム創作 ・簡単なメロディーの創作	・創作について知る。 ・リズムの種類を知り、リズムを作ったり組み合わせたりする。 ・言葉を生かした旋律作りをする。 ・反復、変化などの手法を知る。 ・必要に応じて教師の支援を受けながら創作する。 ・互いに作品の発表をする。

		(知・技) 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解することができる。 (高1 B(イ)) (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴くことができる。 (高1 B(ア)) (学・人) 主体的・協働的に取り組み、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができる。(高1)	(知・技) 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解しようとしている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴こうとしている。 (主学) 主体的・協働的に取り組み、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴こうとしている。 【評価資料】学習の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【鑑賞】 ・音楽の魅力を感じる ・様々なジャンルの音楽 ・音楽の背景と作曲家を知る	・クラシックやポップス、洋楽等、様々な楽曲を鑑賞する。
後期	36	(知・技) 互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌うことができる。 (高1 Aア(ウ)㊟) (思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。(高1 Aア(ア)) (学・人) 主体的・協働的に取り組み、創意工夫をして歌う楽しさを見いだしながら仲間と歌うことができる。(高1)	(知・技) 他者の歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌おうとしている。 (思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。(高1 段階A(ア)) (学・人) 主体的・協働的に取り組み、創意工夫をして歌う楽しさを見いだしながら仲間と歌おうとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【歌唱】 ・クラスの歌声を響かせよう ・四季の歌 ・ドイツ歌曲の魅力	・季節や行事の歌に合わせて身振りや手話を交えて表現したり、声に出して歌ったりする。 ・歌詞の意味について知る。 ・曲の雰囲気と曲に込められた思いについて学ぶ。
		(知・技) 友達と動きを組み合わせる表現をする技能を身に付けることができる。(高1 Aエ(ウ)㊟) (思・判・表) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を工夫することができる。(高1 Aエ(ア)) (学・人) 主体的・協働的に取り組み、創意工夫をして身体表現する楽しさを見いだしながら仲間と表現することができる。(高1)	(知・技) 友達と動きを組み合わせる表現をする技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を工夫しようとしている。 (主学) 主体的・協働的に取り組み、創意工夫をして身体表現する楽しさを見いだしながら仲間と表現しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【身体表現】 ・身体表現を深める ・身体で自己表現	・表現方法について確認する。 ・音楽に合わせて身体で表現する。 ・リズムに合わせて身体で表現する。
		(知・技) 音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けることができる。(高1 Aイ(ウ)㊟) (思・判・表) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができる。(高1 Aイ(ア)) (学・人) 主体的・協働的に取り組み、創意工夫をして演奏する楽しさを見いだしながら仲間と演奏することができる。(高1)	(知・技) 音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫しようとしている。 (主学) 主体的・協働的に取り組み、創意工夫をして演奏する楽しさを見いだしながら仲間と演奏しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【器楽】 ・楽器に触れる	・楽器の名称や楽器の特徴について知る。 ・正しい姿勢と奏法を心がけて演奏する。 ・必要に応じて教師の支援を受けながら演奏する。 ・皆と一緒に合わせて演奏する。
		(知・技) いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴を理解することができる。 (高1 Aウ(ア)㊟) (思・判・表) 創作表現についての知識や技能を得たりしながら、創作表現を工夫することができる。(高1 段階Aウ(ア)) (学・人) 主体的・協働的に取り組み、工夫して創作する楽しさを見いだしながら仲間と活動することができる。(高1 段階)	(知・技) いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴を理解しようとしている。 (思・判・表) 創作表現についての知識や技能を得たりしながら、創作表現を工夫しようとしている。 (主学) 主体的・協働的に取り組み、工夫して創作する楽しさを見いだしながら仲間と活動しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【創作】 ・リズム創作 ・簡単なメロディーの創作	・リズムの種類を知り、リズムを作ったり組み合わせたりする。 ・言葉を生かした旋律作りをする。 ・反復、変化などの手法を知る。 ・必要に応じて教師の支援を受けながら創作する。 ・互いに作品の発表をする。
		(知・技) 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解することができる。 (高1 B(イ)) (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴くことができる。 (高1 B(ア)) (学・人) 主体的・協働的に取り組み、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができる。(高1)	(知・技) 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解しようとしている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴こうとしている。 (主学) 主体的・協働的に取り組み、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴こうとしている。 【評価資料】学習の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【鑑賞】 ・音楽の魅力を感じる ・様々なジャンルの音楽 ・音楽の背景と作曲家を知る	・クラシックやポップス、洋楽等、様々な楽曲を鑑賞する。
留意点 引継ぎ等		年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

高等部 2年(Ⅱ課程) 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	真和志分教室2学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。(高2段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。(高2段階) (学・人) 主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(高2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	32	(知及技) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。(高2 Aア(ウ)㊦) (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。(高2 Aア(ア)) (学・人) 主体的・協同的に取り組み、創意工夫をして歌う楽しさを自分なりに評価しながら歌うことができる。(高2)	(知・技) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫しようとしている。 (主学) 主体的・協同的に取り組み、創意工夫をして歌う楽しさを自分なりに評価しながら歌おうとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【歌唱】 ・発声と呼吸法 ・四季の歌 ・様々な楽曲の歌唱	・季節や行事の歌に合わせて振りや手話を交えて表現したり、声に出して歌ったりする。 ・歌詞の意味について学習する。 ・曲の雰囲気と曲に込められた思いについて学ぶ。
		(知及技) 曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現することができる。(高2 A工(ウ)㊦) (思判表力) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができる。(高2 A工(ア)) (学・人) 主体的・協同的に取り組み、創意工夫をして身体表現する楽しさを自分なりに評価しながら表現することができる。(高2)	(知・技) 曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現しようとしている。 (思・判・表) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫しようとしている。 (主学) 主体的・協同的に取り組み、創意工夫をして身体表現する楽しさを自分なりに評価しながら表現しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【身体表現】 ・身体表現の基礎 ・身体でリズム	・表現方法について確認する。 ・音楽に合わせて身体で表現する。 ・複数の音符を用いたリズム打ちや音符の理解について学習する。 ・リズムに合わせて身体で表現をする。
		(知及技) 創意工夫を生かした表現をするために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。(高2 Aイ(ウ)㊦) (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができる。(高2 Aイ(ア)) (学・人) 主体的・協同的に取り組み、創意工夫をして演奏する楽しさを自分なりに評価しながら演奏することができる。(高2)	(知・技) 創意工夫を生かした表現をするために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫しようとしている。 (主学) 主体的・協同的に取り組み、創意工夫をして演奏する楽しさを自分なりに評価しながら演奏しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【器楽】 ・楽器に触れる	・楽器の各部位の名称や楽器の特徴について学ぶ。 ・正しい姿勢と奏法を心がけて演奏する。 ・工工四の読み方について学ぶ。 ・勘所の位置を目と指で確認しながら演奏する。 ・必要に応じて教師の支援を受けながら演奏する。
		(知及技) 音のつながり方の特徴を理解することができる。(高2 Aウ(イ)㊦) (思判表力) 創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を工夫することができる。(高2 Aウ(ア)) (学・人) 主体的・協同的に取り組み、工夫して創作する楽しさを自分なりに評価しながら活動することができる。(高2)	(知・技) 音のつながり方の特徴を理解しようとしている。 (思・判・表) 創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を工夫しようとしている。 (主学) 主体的・協同的に取り組み、工夫して創作する楽しさを自分なりに評価しながら活動しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【創作】 ・音楽創作の基礎 ・リズム創作	・創作について知る。 ・リズムの種類を知り、リズムを作ったり組み合わせたりする。 ・反復、変化などの手法を知る。 ・必要に応じて教師の支援を受けながら創作する。 ・互いに作品を発表する。
		(知及技) 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解することができる。(高2 Bア(イ)㊦) (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲の演奏のよさなどについて自分なりに考え、曲全体を味わって聴くことができる。(高2 Bア(ア)) (学・人) 主体的・協同的に取り組み、音楽のよさや美しさを自分なりに評価しながら音楽を味わって聴くことができる。(高2)	(知・技) 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解しようとしている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲の演奏のよさなどについて自分なりに考え、曲全体を味わって聴こうとしている。 (主学) 主体的・協同的に取り組み、音楽のよさや美しさを自分なりに評価しながら音楽を味わって聴こうとしている。 【評価資料】学習の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【鑑賞】 ・音楽の魅力を感じる ・様々なジャンルの音楽	・クラシックや宗教音楽、民族音楽など様々なジャンルの曲を鑑賞する。

後期	38	(知及技) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら、他者と合わせて歌うことができる。(高2 Aア(ウ)㊦) (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。(高2 Aア(ア)) (学・人) 主体的・協働的に取り組み、創意工夫をして歌う楽しさを自分なりに評価しながら歌うことができる。(高2)	創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら、他者と合わせて歌おうとしている。 (思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫しようとしている。 (主学) 主体的・協働的に取り組み、創意工夫をして歌う楽しさを自分なりに評価しながら歌うことができる。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【歌唱】 ・発声と呼吸法 ・四季の歌 ・様々な楽曲の歌唱	・季節や行事の歌に合わせて振りや手話を交えて表現したり、声に出して歌ったりする。 ・歌詞の意味について学習する。 ・曲の雰囲気と曲に込められた思いについて学ぶ。
		(知及技) 曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現することができる。(高2 Aエ(リ)㊦) (思判表力) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができる。(高2 Aエ(ア)) (学・人) 主体的・協働的に取り組み、創意工夫をして身体表現する楽しさを自分なりに評価しながら表現することができる。(高2)	(知・技) 曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現しようとしている。 (思・判・表) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫しようとしている。 (主学) 主体的・協働的に取り組み、創意工夫をして身体表現する楽しさを自分なりに評価しながら表現しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【身体表現】 ・身体表現を深める ・身体で自己表現	・表現方法について確認する。 ・音楽に合わせて身体で表現する。 ・複数の音符を用いたリズム打ちや音符の理解について学習する。 ・リズムに合わせて身体で表現をする。
		(知及技) 創意工夫を生かした表現をするために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。(高2 Aイ(ウ)㊦) (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができる。(高2 Aイ(ア)) (学・人) 主体的・協働的に取り組み、創意工夫をして演奏する楽しさを自分なりに評価しながら演奏することができる。(高2)	(知・技) 創意工夫を生かした表現をするために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫しようとしている。 (主学) 主体的・協働的に取り組み、創意工夫をして演奏する楽しさを自分なりに評価しながら演奏しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【器楽】 ・様々な楽曲に挑戦	・工工四を自分で読み進めながら練習に取り組む。 ・音の響きの美しさを追求し、表現力を高める。 ・ポジション移動時の弾き方を学ぶ。 ・必要に応じて教師の支援を受けながら演奏する。
		(知及技) 音のつながり方の特徴を理解することができる。(高2 Aウ(イ)㊦) (思判表力) 創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を工夫することができる。(高2 Aウ(ア)) (学・人) 主体的・協働的に取り組み、工夫して創作する楽しさを自分なりに評価しながら活動することができる。(高2)	(知・技) 音のつながり方の特徴を理解しようとしている。 (思・判・表) 創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を工夫しようとしている。 (主学) 主体的・協働的に取り組み、工夫して創作する楽しさを自分なりに評価しながら活動しようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【創作】 ・音楽創作の基礎 ・リズム創作	・創作について知る。 ・リズムの種類を知り、リズムを作ったり組み合わせたりする。 ・反復、変化などの手法を知る。 ・必要に応じて教師の支援を受けながら創作する。 ・互いに作品を発表する。
		(知及技) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などの関わりを理解することができる。(高2 Bア(イ)㊦) (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲の演奏のよさなどについて自分なりに考え、曲全体を味わって聴くことができる。(高2 Bア(ア)) (学・人) 主体的・協働的に取り組み、音楽のよさや美しさを自分なりに評価しながら音楽を味わって聴くことができる。(高2)	(知・技) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などの関わりを理解しようとしている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲の演奏のよさなどについて自分なりに考え、曲全体を味わって聴こうとしている。 (主学) 主体的・協働的に取り組み、音楽のよさや美しさを自分なりに評価しながら音楽を味わって聴こうとしている。 【評価資料】学習の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【鑑賞】 ・音楽の魅力を感じる ・様々なジャンルの音楽	・クラシックや宗教音楽、民族音楽など色々なジャンルの曲を鑑賞する。
留意点 引継ぎ等		年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和7年度 高等部 3年（Ⅱ課程） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	真和志分教室3学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。(高2段階) (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。(高2段階) (学・人) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。(高2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	36	(知及技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解することができる。(高2 Aア(イ)㊟) (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。(高2 Aア(ア)㊦) (学・人) 主体的・協働的に歌唱表現に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。(高2)	(知・技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しようとしている。 (思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫しようとしている。 (主学) 主体的・協働的に歌唱表現に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【歌唱】 ・発声と呼吸法 ・四季の歌 ・様々な楽曲の歌唱	・季節や行事の歌に合わせて身振りや手話を交えて表現したり、声に出して歌ったりする。 ・歌詞の意味について知る。 ・曲の雰囲気と曲に込められた思いについて学ぶ。
		(知及技) 曲想や音楽の構造と体の動きとの関わりについて理解することができる。(高2 Aエ(イ)㊟) (思判表力) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができる。(高2 Aエ(ア)㊦) (学・人) 主体的・協働的に身体表現に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。(高2)	(知・技) 曲想や音楽の構造と体の動きとの関わりについて理解しようとしている。 (思・判・表) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫しようとしている。 (主学) 主体的・協働的に身体表現に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【身体表現】 ・身体表現の基礎 ・身体でリズム	・表現方法について確認する。 ・音楽に合わせて身体で表現する。 ・複数の音符を用いたりリズム打ちを知る。 ・様々な音符について学ぶ。 ・様々なリズムに合わせて身体で表現する。
		(知及技) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解することができる。(高2 Aイ(イ)㊟) (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができる。(高2 Aイ(ア)㊦) (学・人) 主体的・協働的に器楽表現に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。(高2)	(知・技) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解しようとしている。 (思・判・表) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫しようとしている。 (主学) 主体的・協働的に器楽表現に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【器楽】 ・楽器に触れる ・様々な楽曲に挑戦	・楽器の名称や楽器の特徴について学ぶ。 ・正しい姿勢と奏法を心がけて演奏する。 ・必要に応じて教師の支援を受けながらグループで合わせて演奏する。 ・他のグループ演奏を鑑賞する。
		(知及技) 音のつながり方の特徴及び音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴についてお表したいイメージと関わらせて理解することができる。(高2 Aウ(イ)㊟) (思判表力) 創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫することができる。(高2 Aウ(ア)㊦) (学・人) 主体的・協働的に創作活動に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。(高2)	(知・技) 音のつながり方の特徴及び音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴についてお表したいイメージと関わらせて理解しようとしている。 (思・判・表) 創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫しようとしている。 (主学) 主体的・協働的に創作活動に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【創作】 ・創作の基礎 ・リズム創作 ・簡単なメロディーの創作	・創作について知る。 ・リズムの種類を知り、リズムを作ったり組み合わせたりする。 ・言葉を生かした旋律作りをする。 ・反復、変化などの手法を知る。 ・必要に応じて教師の支援を受けながら創作をする。 ・互いの作品を発表する。
		(知及技) 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解することができる。(高2 Bア(イ)㊟) (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどについて自分なりに考え、曲全体を味わって聴くことができる。(高2 Bア(ア)㊦) (学・人) 主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。(高2)	(知・技) 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解しようとしている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどについて自分なりに考え、曲全体を味わって聴こうとしている。 (主学) 主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【鑑賞】 ・音楽の魅力を感じる ・様々なジャンルの音楽	・クラシックやポップス、洋楽等、様々な楽曲を鑑賞する。

後期	34	【知・技】 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。(高2 Aア(ウ)㉔) 【思・判・表】 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。(高2 Aア(フ)㉔) 【学・人】 主体的・協働的に歌唱表現に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。(高2)	【知・技】 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けようとしている。 【思・判・表】 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫しようとしている。 【主・学】 主体的・協働的に歌唱表現に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていくとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【歌唱】 ・発声と呼吸法 ・四季の歌 ・様々な楽曲の歌唱	・季節や行事の歌に合わせて身振りや手話を交えて表現したり、声に出して歌ったりする。 ・歌詞の意味について知る。 ・曲の雰囲気と曲に込められた思いについて学ぶ。
		【知・技】 曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身に付けることができる。(高2 Aエ(ウ)㉔) 【思・判・表】 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫することができる。(高2 Aエ(フ)㉔) 【学・人】 主体的・協働的に身体表現に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。(高2)	【知・技】 曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能を身に付けようとしている。 【思・判・表】 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫しようとしている。 【主・学】 主体的・協働的に身体表現に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていくとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【身体表現】 ・身体表現を深める ・身体で自己表現	・表現方法について確認する。 ・音楽に合わせて身体で表現する。 ・複数の音符を用いたリズム打ちを知る。 ・様々な音符について学ぶ。 ・様々なリズムに合わせて身体で表現する。
		【知・技】 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けることができる。(高2 Aイ(ウ)㉔) 【思・判・表】 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫することができる。(高2 Aイ(フ)㉔) 【学・人】 主体的・協働的に器楽表現に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。(高2)	【知・技】 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けようとしている。 【思・判・表】 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫しようとしている。 【主・学】 主体的・協働的に器楽表現に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていくとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【器楽】 ・様々な楽曲に挑戦	・楽器の名称や楽器の特徴について学ぶ。 ・正しい姿勢と奏法を心がけて演奏する。 ・必要に応じて教師の支援を受けながらグループで合わせて演奏する。 ・他のグループ演奏を鑑賞する。
		【知・技】 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けることができる。(高2 Aウ(ウ)㉔) 【思・判・表】 創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫することができる。(高2 Aウ(フ)㉔) 【学・人】 主体的・協働的に創作活動に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。(高2)	【知・技】 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けようとしている。 【思・判・表】 創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫しようとしている。 【主・学】 主体的・協働的に創作活動に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていくとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【創作】 ・創作の基礎 ・リズム創作 ・簡単なメロディーの創作	・創作について知る。 ・リズムの種類を知り、リズムを作ったり組み合わせたりする。 ・言葉を生かした旋律作りをする。 ・反復、変化などの手法を知る。 ・必要に応じて教師の支援を受けながら創作をする。 ・互いの作品を発表する。
		【知・技】 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりについて理解することができる。(高2 Bア(イ)㉔) 【思・判・表】 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどについて自分なりに考え、曲全体を味わって聴くことができる。(高2 Bア(フ)㉔) 【学・人】 主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。(高2)	【知・技】 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わりについて理解しようとしている。 【思・判・表】 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどについて自分なりに考え、曲全体を味わって聴こうとしている。 【主・学】 主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていくとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシートで評価する。	【鑑賞】 ・音楽の魅力を感じる ・様々なジャンルの音楽	・クラシックやポップス、洋楽等、様々な楽曲を鑑賞する。
留意点 引継ぎ等		年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和7年度 高等部1年（Ⅱ課程） 美術科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	真和志分教室1学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。(高1段階) (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに 対する見方や感じ方を広げたりすることができる。(高1段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養うことが できる。(高1段階)			
学期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	2	(知及技) 形や色彩、材料や光などの働きを理解 することができる。(高1共通(7)) (思判表力) 造形的な特徴などから全体のイメージで 捉えることができる。(高2共通(1)) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の 喜びを味わいながら、学習活動に取り組 むことができる。(高1)	(知・技) 形や色彩、材料や光などの働きを理解し ようとしている。 (思・判・表) 造形的な特徴などから全体のイメージで 捉えることを理解しようとしている。 (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の 喜びを味わいながら、学習活動に取り組 むようとしている。 【評価規準】活動の様子で評価する。	【オリエンテーション】 ・自己紹介 ・授業の約束 ・年間の予定	・一年間の授業の流れについて確認する。 ・美術の分野について、絵画やデザイン、立 体、漫画、アニメーションなど様々な分野が あることを知る。 ・ワークシートにこれからの授業で取り組ん でみたい分野を書く。
	22	(知及技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に 付け、意図に応じて表現方法を工夫して 表すことができる。(高1 Aア(1)) (思判表力) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考 えたこと、伝えたり使ったりする目的や 条件などを基に主題を生み出し、構成を 創意工夫し、心豊かに表現する構想を練 ることができる。(高1 Aア(7)) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の 喜びを味わいながら、学習活動に取り組 むことができる。(高1)	(知・技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に 付け、意図に応じて表現方法を工夫して 表そうとしている。 (思・判・表) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考 えたこと、伝えたり使ったりする目的や 条件などを基に主題を生み出し、構成を 創意工夫し、心豊かに表現する構想を 練って取り組もうとしている。 (主学) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の 喜びを味わいながら、学習活動に取り組 むようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【描く活動】 ・描画 ・水彩描写 ・モダンテクニック	・身近な材料や用具を使い、季節や行事に親 しみ、かいたり、形をつくったりして表現す る。 ・絵の具を使って線や点を描き、水の量によ る濃淡の変化を楽しみながら、表現する。
	12	(知及技) 形や色彩、材料や光などの働きを理解す ることができる。(高1共通(7)) (思判表力) 美術作品などの造形的なよさや美しさ を感じ取り、作者の心情や表現の意図と工 夫などについて考えるなどして、見方や 感じ方を広げることができる。(高1 B ア(7)) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の 喜びを味わいながら、学習活動に取り組 むことができる。(高1)	(知・技) 形や色彩、材料や光などの働きを理解し ようとしている。 (思・判・表) 美術作品などの造形的なよさや美しさ を感じ取り、作者の心情や表現の意図と工 夫などについて考えるなどして、見方や 広げようとしている。 (主学) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の 喜びを味わいながら、学習活動に取り組 むようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【作品鑑賞】 校外学習 ・地域の芸術作品鑑賞 ・美術関連施設の見学	・沖縄にある美術館・博物館の展示作品を鑑 賞する。 ・作品を鑑賞することを通して、形や色の面 白さを感じたり、見方や感じ方を広げる。
後期	10	(知及技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に 付け、意図に応じて表現方法を工夫して 表すことができる。(高1 Aア(1)) (思判表力) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考 えたこと、伝えたり使ったりする目的や 条件などを基に主題を生み出し、構成を 創意工夫し、心豊かに表現する構想を練 ることができる。(高1 Aア(7)) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の 喜びを味わいながら、学習活動に取り組 むことができる。(高1)	(知・技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に 付け、意図に応じて表現方法を工夫して 表そうとしている。 (思・判・表) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考 えたこと、伝えたり使ったりする目的や 条件などを基に主題を生み出し、構成を 創意工夫し、心豊かに表現する構想を 練って取り組もうとしている。 (主学) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の 喜びを味わいながら、学習活動に取り組 むようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【造る活動】 立体制作 ・紙工作 ・粘土・塑像	・粘土や紙を用いて、イメージをふくらませ ながら色々な形をつくったり、色を塗ったり する。 ・色々な素材や用具を使って表現することを 楽しむ。 ・自分の表現したいことを思い付き、身近な 材料や用具を用いて表現する。 ・完成した作品を展示し鑑賞する。

	12	(知・技) 形や色彩、材料や光などの働きを理解することができる。(高1共通(7)) (思・判・表力) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。(高1 B A(7)) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら、学習活動に取り組むことができる。(高1)	(知・技) 形や色彩、材料や光などの働きを理解しようとしている。 (思・判・表) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や広げようとしている。 (主学) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら、学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【描く活動】 ・色々な版画	・色々な素材や用具をつかって表現することを楽しむ。 ・自分の表現したいことを思い付き、身近な材料や用具を用いて表現する。 ・自分の作品や他生徒の作品のよさや違いをワークシートにまとめる。
	12	(知・技) 形や色彩、材料や光などの働きを理解することができる。(高1共通(7)) (思・判・表力) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。(高1 B A(7)) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら、学習活動に取り組むことができる。(高1)	(知・技) 形や色彩、材料や光などの働きを理解しようとしている。 (思・判・表) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や広げようとしている。 (主学) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら、学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【作品鑑賞】 校外学習 ・美術関連施設の見学 ・真和志高校卒業作品展鑑賞	・自分の作品を発表したり、友だちの作品を鑑賞することを通して、自分や友だちの作品の良さを感じる。 ・好きな作品を探し、違いや面白さを発見することができる。 ・写真で作品鑑賞の学習を振り返る。
留意点 引継ぎ等		・年間を通じて真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、共に学ぶ経験を重ね社会性を養う。 ・生徒の実態に応じて、描く活動及び作る活動の題材を決める。 ・生徒の実態に応じて、年計の目標を再設定する。 ・生徒の目標は合理的配慮を考慮した上で個別の指導計画にて設定する。			

令和7年度 高等部2年（Ⅱ課程） 美術科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	真和志分教室2学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。(高1段階) (思判表力) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができる。(高1段階) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができる。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	2	(知及技) 形や色彩、材料や光などの働きを理解することができる。(高1段階 共通(7)) (思判表力) 造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることができる。 (高2段階 共通(1)) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら、学習活動に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) 形や色彩、材料や光などの働きを理解しようとしている。 (思・判・表) 造形的な特徴などから全体のイメージで捉えることを理解しようとしている。 (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら、学習活動に取り組もうとしている。 【評価規準】活動の様子で評価する。	【オリエンテーション】 ・自己紹介 ・年間の予定 ・授業の約束	・一年間の授業の流れについて確認する。 ・美術の分野について、絵画やデザイン、立体、漫画、アニメーションなど様々な分野があることを知る。 ・ワークシートにこれからの授業で取り組んでみたい分野を書く。
	10	(知及技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。(高1段階Aア(7)) (1) (思判表力) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。(高1段階Aア(7)) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら、学習活動に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表そうとしている。 (思・判・表) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練って取り組もうとしている。 (主学) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら、学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【造る活動】 ・コラージュ	・切った紙ややぶいた新聞紙でコラージュ作品を作る ・紙粘土を丸形、ひも状、好きな形で作りながら表現する ・自分の作品を紹介したり、友達作品を鑑賞することを通して、様々な表し方に気づく。
	20	(知及技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。(高1段階Aア(7)) (1) (思判表力) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。(高1段階Aア(7)) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら、学習活動に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表そうとしている。 (思・判・表) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練って取り組もうとしている。 (主学) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら、学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【描く活動】 絵画作品制作 ・アイディアスケッチ ・下描き ・材料の選定 ・用具の選定 ・彩色 スクラッチ 鑑賞ワーク	・描きたいものや好きなものについて調べる。 ・調べた画像や写真をもとにスケッチする。 ・スケッチに色計画する。 ・画材を選んで彩色する。 ・完成した作品を展示し鑑賞する。 ・自分の作品や他生徒の作品のよさや違いをワークシートにまとめる。
	12	(知及技) 形や色彩、材料や光などの働きを理解することができる。(高1段階 共通(7)) (思判表力) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げることができる。(高1段階Bア(7)) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら、学習活動に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) 形や色彩、材料や光などの働きを理解しようとしている。 (思・判・表) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や広げようとしている。 (主学) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら、学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【作品鑑賞】 ・地域の芸術作品鑑賞 ・美術関連施設の見学 ・真和志高校卒業作品展見学	・沖縄にある美術館・博物館について調べる。 ・興味のある分野の美術作品について調べる。 ・調べた作品と実際に見た作品の違いや雰囲気について考え文章等にまとめる。 ・好きな作品を探し、情報や印象をまとめて発表する。 ・作品鑑賞の学習を振り返る。

後期	14	(知及技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。(高1段階Aア(イ)) (思判表力) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。(高1段階Aア(ア)) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら、学習活動に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表そうとしている。 (思・判・表) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練って取り組もうとしている。 (主学) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら、学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【描く活動】 「版画制作」 ・版作り ・摺り ・鑑賞	・版画の特性や一版多色版画について学ぶ。 ・必要な材料や用具を準備する。 ・作品のテーマについて構想する。 ・調べた画像や写真をもとにスケッチや色計画する。 ・スケッチを版に転写する。 ・版を彫って刷る。 ・完成した作品を展示し鑑賞する。 ・自分の作品や他生徒の作品のよさや違いをワークシートにまとめる。
	12	(知及技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。(高1段階Aア(イ)) (思判表力) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。(高1段階Aア(ア)) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら、学習活動に取り組むことができる。(高1段階)	(知・技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表そうとしている。 (思・判・表) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練って取り組もうとしている。 (主学) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら、学習活動に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【描く活動】 ・描いてみよう 【造る活動】 ・工作をしよう	・季節の行事や沖縄の伝統的な玩具などを参考に作品を作る。 ・友人と協力して合同制作、卒業制作等を行う。 ・自分の作品を紹介したり、友達の作品を鑑賞することを通し、様々な表し方に気づく。
留意点 引継ぎ等		・年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。 ・生徒の実態に応じて描く活動及びつくる活動の題材を決める。 ・生徒の実態に応じて、年計の目標を再設定する。 ・各生徒の目標は、合理的配慮を考慮した上で個別の指導計画にて設定する。			

令和7年度 高等部3年（Ⅱ課程） 美術科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	真和志分教室3学年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すことができる。（高2段階） （思判表力） 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりすることができる。（高2段階） （学・人） 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養うことができる。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	2	（知及技） 形や色彩、材料や光などの働きを理解することができる。（高2段階 共通A(7)） （思判表力） 造形的な特徴などから全体のイメージを捉えることを理解することができる。（高2段階 共通A(1)） （学・人） 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら取り組むことができる。（高2段階）	（知・技） 形や色彩、材料や光などの働きを理解しようとしている。 （思・判・表） 造形的な特徴などから全体のイメージを捉えることを理解しようとしている。 （主学） 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら取り組んでいる。 【評価規準】活動の様子で評価する。	【オリエンテーション】 ・自己紹介 ・授業の約束 ・年間の予定	・一年間の授業の流れについて確認する。 ・美術の分野について、絵画やデザイン、立体、漫画、アニメーションなど様々な分野があることを知る。 ・ワークシートにこれからの授業で取り組んでみたい分野を書く。
	22	（知及技） 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表すことができる。（高2段階Aア(1)） （思判表力） 対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。（高2段階Aア(7)） （学・人） 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら取り組むことができる。（高2段階）	（知・技） 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表そうとしている。 （思・判・表） 対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ろうとしている。 （主学） 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【描く活動】	・身近な材料や用具を使い、季節や行事に親しみ、かいたり、形をつくったりして表現する。 ・絵の具を使って線や点を描き、水の量による濃淡の変化を楽しみながら、表現する。
	12	（知及技） 形や色彩、材料や光などの働きを理解することができる。（高2段階 共通A(7)） （思判表力） 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めることができる。（高2段階Bア(7)） （学・人） 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら取り組むことができる。（高2段階）	（知・技） 形や色彩、材料や光などの働きを理解しようとしている。 （思・判・表） 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めようとしている。 （主学） 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【作品鑑賞】 校外学習 ・地域の芸術作品鑑賞 ・美術関連施設の見学	・沖縄にある美術館・博物館の展示作品を見る。 ・作品を鑑賞することを通して、形や色の面白さを感じたり、見方や感じ方を広げる。
後期	10	（知及技） 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表すことができる。（高2段階Aア(1)） （思判表力） 対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ることができる。（高2段階Aア(7)） （学・人） 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら取り組むことができる。（高2段階）	（知・技） 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を追求し、自分らしさを発揮して表そうとしている。 （思・判・表） 対象や事象を深く見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ろうとしている。 （主学） 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【造る活動】 立体制作 ・紙工作 ・粘土	・粘土や紙を用いて、イメージをふくらませながら色々な形をつくったり、色をぬったりする。 ・色々な素材や用具をつかって表現することを楽しむ。 ・自分の表現したいことを思い付き、身近な材料や用具を用いて表現する。 ・完成した作品を展示し鑑賞する。

12	(知・技) 形や色彩、材料や光などの働きを理解することができる。(高2段階 共通A(ア)) (思・判・表) 造形的な特徴などから全体のイメージを捉えることを理解することができる。(高2段階 共通A(イ)) (学・人) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら取り組むことができる。(高2段階)	(知・技) 形や色彩、材料や光などの働きを理解しようとしている。 (思・判・表) 造形的な特徴などから全体のイメージを捉えることを理解しようとしている。 (主・学) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら取り組んでいる。 【評価規準】活動の様子で評価する。	【描く活動】 色々な版画 ・凸版画制作 ・鑑賞	・色々な素材や用具をつかって表現することを楽しむ。 ・自分の表現したいことを思い付き、身近な材料や用具を用いて表現する。 ・自分の作品や他生徒の作品のよさや違いをワークシートにまとめる。
	(知・技) 形や色彩、材料や光などの働きを理解することができる。(高2段階 共通A(ア)) (思・判・表) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めることができる。(高2段階Bア(ア)) (学・人) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら取り組むことができる。(高2段階)	(知・技) 形や色彩、材料や光などの働きを理解しようとしている。 (思・判・表) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めようとしている。 (主・学) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わいながら取り組んでいる。 【評価資料】活動の様子で評価する。	【作品鑑賞】 校外学習 ・美術関連施設の見学 ・真和志高校卒業作品展鑑賞	・自分の作品を発表したり、友だちの作品を鑑賞することを通して、自分や友だちの作品の良さを感じる。 ・好きな作品を探し、違いや面白さを発見することができる。 ・写真で作品鑑賞の学習を振り返る。
留意点 引継ぎ等		・年間を通じて真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、共に学ぶ経験を重ね社会性を養う。 ・生徒の実態に応じて、描く活動及び作る活動の題材を決める。 ・生徒の実態に応じて、年計の目標を再設定する。 ・生徒の目標は合理的配慮を考慮した上で個別の指導計画にて設定する。		

令和7年度 高等部1年（Ⅱ課程） 保健体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4／140	真和志分教室1学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達に必要な健康・安全について意識することができるようにする。(高2段階) (思判表力) 各種の運動や健康・安全についての課題を発見し、解決することができるようにする。(高2段階) (学・人) 各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し取り組む態度を養う。(高2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	24	(知及技) 基本の動きを通して、水泳の楽しさや喜びを深く味わうことができる。 (思判表力) 水泳についての自他の課題を発見することができる。 (学・人) ルールやマナーを守り、場や用具の安全を確保しながら、水泳に取り組むことができる。	(知・技) 浮力を感じながら身体力を抜いて、伏し浮きやけ伸びの基本動作に取り組むことができる。 (思・判・表) 基本動作における、自分の課題、仲間の課題を発見する力を身に付けることができる。 (主学) ルールやマナーを理解して水泳に取り組むことができる。	【水泳】	・水慣れ、浮く、呼吸法 ・泳法（クロール、平泳ぎ） ・ゲーム（水球）
	70	(知及技) 基本的な動作を通して、球技の楽しさや喜びを深く味わうことができる。 (思判表力) 球技についての自他の課題を発見することができる。 (学・人) ルールやマナーを守り、場や用具の安全に気を付けて球技に取り組むことができる。	(知・技) ボールを取る、投げる、キックするなど基本動作を身に付けて運動を楽しむことができる。 (思・判・表) 自分の課題や仲間の課題を発見することができる。 (主学) 用具の準備や、場の安全に気を付けながら運動に取り組むことができる。	【球技】	・ゴール型（サッカー、バスケットボール） ・ネット型（バレーボール、バドミントン、卓球、テニス） ・ベースボール型（ソフトボール） ・校外学習（ボウリング、ゴルフ等） ※ 後期も同様に取り組む
	8	(知及技) 心身の発育・発達について知ることができる。 (思判表力) 心身の発育・発達について考え、まとめることができる。 (学・人) 心身の発育・発達について十分理解することができる。	(知・技) 心身の発育・発達について意欲的に学習することができる。 (思・判・表) 心身の発育・発達について考え、まとめることができる。 (主学) 心身の発育・発達と生活の仕方について十分理解することができる。	【保健】	・現代社会と健康 ・安全な社会生活 ・校外学習
後期	5	(知及技) 持久走の爽快感や達成感など味わうことができる。 (思判表力) 持久走についての自他の課題を発見することができる。 (学・人) ルールやマナーを守り、場や用具の安全に気を付けて陸上競技に取り組むことができる。	(知・技) 一定の時間、立ち止まることなく、ゆっくりと走り続けることができる。 (思・判・表) 自分の記録を更新するため、自分の動きを振り返ろうとしたり、仲間の動きを観察したりすることができる。 (主学) 長距離走の練習の行い方を理解し、安全に気を付けて運動に取り組むことができる。	【陸上競技】	・長距離走（男子3000m、女子2000m） ・特体連体育大会に向けて（短距離走等）
	5	(知及技) 器械運動の楽しさや喜びを味わいながら、特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、演技をすることができる。 (思判表力) 器械体操についての自他の課題を仲間と思考し、判断したことを目的に応じて伝えることができる。 (学・人) 自己の役割を果たし仲間と協力したり、安全を確保したりしながら自主的に器械体操に取り組むことができる。	(知・技) 各器械による運動の違いを理解し、楽しみながら基本的な技能を身に付け、演技することができる。 (思・判・表) 自分の得意な種目、苦手な種目を理解して、仲間と話し合いながらお互いの動きについて話し合い高め合おうことができる。 (主学) 各器械種目の動きを理解して、仲間の協力を得ながら安全に取り組むことができる。	【器械運動】	・マット運動（回転系：接点技群、ほん転技群、巧技系：平均立ち技群）

	10	(知及技) ダンスの楽しさや喜びを味わいながら、行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現を通して交流や発表ができる。 (思判表力) ダンスについての自他の課題を仲間と思考し、判断したことを目的に応じて伝えることができる。 (学・人) ダンスを通して、一人一人の表現や役割を知り、見通しをもって自主的にダンスをすることができる。	(知・技) 曲によるリズムの違いが分かり、基本的な身体の動かし方や簡単な振りを覚え、ダンスを表現することができる。 (思・判・表) 自分の得意なリズムや振りを考えたり、選択したりしながら、仲間と一緒に基本的なダンスの振りを表現することができる。 (主学) 自分の得意なリズムや振りを考えたり、選択したりしながら、仲間と一緒に運動に親しむことができる。	【ダンス】	・創作ダンス ・伝統的な踊り（エイサー等）
	8	(知及技) 心身の発育・発達について知ることができる。 (思判表力) 心身の発育・発達について考え、まとめることができる。 (学・人) 心身の発育・発達について十分理解することができる。	(知・技) 心身の発育・発達について意欲的に学習することができる。 (思・判・表) 心身の発育・発達について考え、まとめることができる。 (主学) 心身の発育・発達と生活の仕方について十分理解することができる。	【保健】	・心身の発達と心の健康 ・校外学習（ビーチクリーン、クリーンセンター等）
	10	(知及技) 運動やスポーツの多様性に関する基礎的な知識を身に付けることができる。 (思判表力) 運動やスポーツの多様性について課題を発見し解決のために仲間と思考し判断した事を目的に応じて伝えることができる。 (学・人) 運動やスポーツの多様性について自主的に学習に取り組むことができる。	(知・技) 運動やスポーツの多様性について十分理解できる。 (思・判・表) 運動やスポーツの多様性について考えをまとめることができる。 (主学) 運動やスポーツの多様性について進んで学習することができる。	【体育理論】	・運動やスポーツの多様性 ・運動やスポーツの安全な行い方
年間を通して		(知及技) 体を動かす楽しさや心地よさを味わいながら運動に取り組むことができる。 (思判表力) 自己の身体の動きだけでなく、仲間の動きも注視し課題を発見することができる。 (学・人) 場や用具の安全に気をつけて運動に取り組むことができる。	(知・技) 集合・整列、方向転換など教師の指示通りに身体を動かそうとしている。ストレッチやラジオ体操などリズムに合わせて運動に取り組むことができる。 (思・判・表) 自分のできる動きと、周りの仲間の動きを見て、違いを確認しながら運動に取り組むことができる。 (主学) 身の回りの安全を確認しながら運動に取り組むことができる。	【体づくり運動】	・体ほぐしの運動（準備体操、整理体操） ・体の動きを高める運動（真和志Fit.：腕立て伏せ、腹筋、バーピージャンプ、ボックスジャンプ） ・集団行動（集合・整列、方向転換等） ・新体力テスト（握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走または20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ）※4・5月に行う
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。				

令和7年度 高等部2年（Ⅱ課程） 保健体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	真和志分教室2学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全について理解を深めることができるようにする。(高2段階) (思判表力) 各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考したり判断することができるようにする。(高2段階) (学・人) 各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力し、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に取り組む態度を養う。(高2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	10	(知及技) 水泳の楽しさや喜びを味わいながら、基本的な技能の理解を深めることができる。 (思判表力) 水泳についての自他の課題を解決するために、他者と話し合うことができる。 (学・人) ルールやマナーを守り、仲間と協力して安全を確保しながら、水泳に取り組むことができる。	(知・技) 水泳の基本動作を理解し、水の中で身体や呼吸をコントロールしながら運動に取り組むことができる。 (思・判・表) 自他の課題を比較し、解決に向けてどのようなすればよいかを話し合うことができる。 (主学) ルールやマナーを理解し、自他の安全に気をつけながら水泳に取り組むことができる。	【水泳】	・水慣れ、浮く、呼吸法 ・泳法（クロール、平泳ぎ） ・ゲーム（水球）
	30	(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わいながら、特性に応じた技能の理解を深めることができる。 (思判表力) 球技についての自他の課題を解決するために、他者と話し合うことができる。 (学・人) ルールやマナーを守り、仲間と協力して、安全を確保しながら球技に取り組むことができる。	(知・技) 各種目の基本動作を身に付け、よりよく動くための技能を高めながら、楽しんで運動に取り組むことができる。 (思・判・表) チームが勝つために、自他の課題を発見し、改善するために話し合うことができる。 (主学) 安全に運動に取り組み、ルールやマナーを仲間にも伝え協力も得ながら運動に取り組むことができる。	【球技】	・ゴール型（サッカー、バスケットボール） ・ネット型（バレーボール、バドミントン、卓球、テニス） ・ベースボール型（ソフトボール） ・校外学習（ボウリング、ゴルフ等） ※ 後期も同様に扱う
	4	(知及技) 健康と環境、傷害の防止について知ることができる。 (思判表力) 健康と環境、傷害の防止についてまとめることができる。 (学・人) 健康と環境、傷害の防止について十分理解することができる。	(知・技) 健康と環境、傷害の防止について意欲的に学習することができる。 (思・判・表) 健康と環境、傷害の防止について考え、まとめることができる。 (主学) 健康と環境、傷害の防止するために、気を付けなければいけないことを十分理解することができる。	【保健】	・健康と環境 ・傷害の防止 ・校外学習
後期	5	(知及技) 持久走の爽快感や達成感を味わいながら、基本的な技能の理解を深めることができる。 (思判表力) 陸上競技についての自他の課題を解決するために、他者と話し合うことができる。 (学・人) ルールやマナーを守り、仲間と協力して、安全を確保しながら陸上競技に取り組むことができる。	(知・技) 走り続けるためには、自己のペースを守ることが大切であると理解して運動に取り組むことができる。 (思・判・表) 自分の記録と仲間の記録を比較し、動きの違いを話し合いながら記録更新を目指すことができる。 (主学) 用具や場の準備、片付けを安全に気をつけながら仲間と協力して取り組むことができる。	【陸上競技】	・長距離走（男子3000m、女子2000m） ・特体連体育大会に向けて（短距離走等）
	5	(知及技) 器械運動の楽しさや喜びを味わいながら、特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、演技をすることができる。 (思判表力) 器械体操についての自他の課題を仲間と思考し、判断したことを目的に応じて伝えることができる。 (学・人) 自己の役割を果たし仲間と協力したり、安全を確保したりしながら自主的に器械体操に取り組むことができる。	(知・技) 各器械による運動の違いを理解し、楽しみながら基本的な技能を身に付け、演技することができる。 (思・判・表) 自分の得意な種目、苦手な種目を理解して、仲間と話し合いながらお互いの動きについて話し合い高め合おうことができる。 (主学) 各器械種目の動きを理解して、仲間の協力を得ながら安全に取り組むことができる。	【器械運動】	・マット運動（回転系：接点技群、ほん転技群、巧技系：平均立ち技群）

	10	(知及技) ダンスの楽しさや喜びを味わいながら、 行い方の理解を深めるとともに、目的に 応じた技能を身に付け、表現を通じた交 流や発表ができる。 (思判表力) ダンスについての自他の課題を仲間と思 考し、判断したことを目的に応じて伝え ることができる。 (学・人) ダンスを通して、一人一人の表現や役割 を知り、見通しをもって自主的にダンス をすることができる。	(知・技) 曲によるリズムの違いが分かり、基本的 な身体の動かし方や簡単な振りを覚え、 ダンスの表現することができる。 (思・判・表) 自分の得意なリズムや振りを考えたり、 選択したりしながら、仲間と一緒に基本 的なダンスの振りを表現することができ る。 (主学) ダンスの全体的な表現を理解して、自分 の役割の時に積極的に表現することがで きる。	【ダンス】	・創作ダンス ・伝統的な踊り（エイサー等）
	4	(知及技) 健康と環境、傷害の防止について知るこ とができる。 (思判表力) 健康と環境、傷害の防止についてまとめ ることができる。 (学・人) 健康と環境、傷害の防止について十分理 解することができる。	(知・技) 健康と環境、傷害の防止について意欲的 に学習することができる。 (思・判・表) 健康と環境、傷害の防止について考え、 まとめることができる。 (主学) 健康と環境、傷害の防止するために、気 を付けなければいけないことを十分理解 することができる。	【保健】	・生涯を通じる健康 ・健康を支える環境づくり ・校外学習（ビーチクリーン、クリーンセン ター等）
	2	(知及技) 運動やスポーツの効果と学び方、安全な 行い方に関する基礎的な知識を身に付け ることができる。 (思判表力) 運動やスポーツの効果と学び方、安全な 行い方に関する課題を発見し、解決のた めに仲間と思考し判断したことを目的に 応じ伝えることができる。 (学・人) 運動やスポーツの効果と学び方、安全な 行い方に関する様々な学習に自主的に取 り組むことができる。	(知・技) 運動やスポーツの効果と学び方、安全に ついて十分理解できる。 (思・判・表) 運動やスポーツの効果と学び方、安全に ついての考え方をまとめることができ る。 (主学) 運動やスポーツの効果と学び方、安全に ついて進んで学習することができる。	【体育理論】	・運動やスポーツの多様性 ・運動やスポーツの安全な行い方
年間 を通 して		(知及技) 身体を動かすことの楽しさや心地よさを 味わいながら、行い方や方法の理解を深 めることができる。 (思判表力) 自他の課題を解決するために、他者と話 し合うことができる。 (学・人) 仲間と協力して、場や用具の安全を確保 しながら運動に取り組むことができる。	(知・技) ボディイメージが確立され、自己の身体 をコントロールしながら各種運動に取り 組むことができる。 (思・判・表) 自分と仲間の動きの違いを確認し、お互 いに話し合いながら運動に取り組むこと ができる。 (主学) 身の回りだけでなく、仲間や環境の安全 を確認しながら運動に取り組むことがで きる。	【体づくり運動】	・体ほぐしの運動（準備体操、整理体操） ・体の動きを高める運動（真和志Fit.：腕立 て伏せ、腹筋、バーピージャンプ、ボックス ジャンプ） ・集団行動（集合・整列、方向転換等） ・新体力テスト（握力、上体起こし、長座体 前屈、反復横とび、持久走または20mシャトル ラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投 げ）※4・5月に行う
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。				

令和7年度 高等部3年（Ⅱ課程） 保健体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	真和志分教室3学年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けるようにする。（高2段階） （思判表力） 各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。（高2段階） （学・人） 各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	10	（知及技） 水泳の楽しさや喜びを味わいながら、泳法の技能の理解を深め、目的に応じた泳法を身につけることができる。 （思判表力） 水泳についての自他の課題を仲間と思考し、判断したことを目的に応じて伝えることができる。 （学・人） 自己の役割を果たし仲間と協力したり、安全を確保したりしながら自主的に水泳に取り組むことができる。	（知・技） 呼吸をコントロールしながら、クロールや平泳ぎで水の中を進むことができる。 （思・判・表） 自分の得意泳法を仲間に教え、また苦手な泳法は仲間から教えてもらうなどお互いに高め合うことができる。 （主学） 安全を確保するため、仲間の協力を得ながら積極的に自分の役割を果たすことができる。	【水泳】	・水慣れ、浮く、呼吸法 ・泳法（クロール、平泳ぎ） ・ゲーム（水球）
	25	（知及技） 球技の楽しさや喜びを深く味わいながら、特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。 （思判表力） 球技についての自他の課題を仲間と思考し、判断したことを目的に応じて伝えることができる。 （学・人） 自己の役割を果たし仲間と協力したり、安全を確保したりしながら自主的に球技に取り組むことができる。	（知・技） 各種目の技能を目的に応じて使い分けながら運動に取り組むことができる。 （思・判・表） チームが勝つために、自他の課題をお互いに話し合い、改善に向けて取り組むことができる。 （主学） 安全を確保するため、仲間の協力を得ながら積極的に自分の役割を果たすことができる。	【球技】	・ゴール型（サッカー、バスケットボール） ・ネット型（バレーボール、バドミントン、卓球、テニス） ・ベースボール型（ソフトボール） ・校外学習（ボウリング、ゴルフ等） ※ 後期も同様に扱う
	5	（知及技） 健康な生活と病気の予防について知ることができる。 （思判表力） 健康な生活と病気の予防についてまとめることができる。 （学・人） 健康な生活と病気の予防について十分理解することができる。	（知・技） 健康な生活と病気の予防について意欲的に学習することができる。 （思・判・表） 健康な生活と病気の予防について考え、まとめることができる。 （主学） 健康な生活や病気を予防するために、気を付けなければいけないことを十分理解することができる。	【保健】	・心身の機能の発達と心の健康 ・校外学習
	5	（知及技） 持久走の爽快感や達成感を味わいながら、基本的な技能の理解を深め、目的に応じた技能を身に付けることができる。 （思判表力） 陸上競技についての自他の課題を仲間と思考し、判断したことを目的に応じて伝えることができる。 （学・人） 自己の役割を果たし仲間と協力したり、安全を確保したりしながら自主的に陸上競技に取り組むことができる。	（知・技） 記録更新や競走に勝つために、体の使い方や呼吸の仕方を工夫して走ることができる。 （思・判・表） 自他の記録を比較し、動きの違いが記録に影響していることを理解して、記録更新に向けお互い高め合うことができる。 （主学） 用具や場の準備を自分の役割、仲間の協力をお互いに話し合いながら安全に気を付けて取り組むことができる。	【陸上競技】	・長距離走（男子3000m、女子2000m） ・特体連体育大会に向けて（短距離走等）

後期	5	(知及技) 器械運動の楽しさや喜びを味わいながら、特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、演技をすることができる。 (思判表力) 器械体操についての自他の課題を仲間と思考し、判断したことを目的に応じて伝えることができる。 (学・人) 自己の役割を果たし仲間と協力したり、安全を確保したりしながら自主的に器械体操に取り組むことができる。	(知・技) 各器械による運動の違いを理解し、楽しみながら基本的な技能を身に付け、演技することができる。 (思・判・表) 自分の得意な種目、苦手な種目を理解して、仲間と話し合いながらお互いの動きについて話し合い高め合うことができる。 (主学) 各器械種目の動きを理解して、仲間の協力を得ながら安全に取り組むことができる。	【器械運動】	・マット運動（回転系：接点技群、ほん転技群、巧技系：平均立ち技群）
	10	(知及技) ダンスの楽しさや喜びを味わいながら、行い方の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、表現を通じた交流や発表ができる。 (思判表力) ダンスについての自他の課題を仲間と思考し、判断したことを目的に応じて伝えることができる。 (学・人) ダンスを通して、一人一人の表現や役割を知り、見通しをもって自主的にダンスをすることができる。	(知・技) 曲によるリズムの違いが分かり、基本的な身体の動かし方や簡単な振りを覚え、ダンスを表現することができる。 (思・判・表) 自分の得意なリズムや振りを考えたり、選択したりしながら、仲間と一緒に基本的なダンスの振りを表現することができる。 (主学) ダンスの全体的な表現を理解して、自分の役割の時に積極的に表現することができる。	【ダンス】	・創作ダンス ・伝統的な踊り（エイサー等）
	5	(知及技) 健康な生活と病気の予防について知ることができる。 (思判表力) 健康な生活と病気の予防についてまとめることができる。 (学・人) 健康な生活と病気の予防について十分理解することができる。	(知・技) 健康な生活と病気の予防について意欲的に学習することができる。 (思・判・表) 健康な生活と病気の予防について考え、まとめることができる。 (主学) 健康な生活や病気を予防するために、気を付けなければいけないことを十分理解することができる。	【保健】	・心身の機能の発達と心の健康 ・校外学習（ビーチクリーン、クリーンセンター等）
	5	(知及技) 文化としてのスポーツの意義に関する基礎的な知識を身に付けることができる。 (思判表力) 文化としてのスポーツの意義に関する課題を発見し、解決のために仲間と思考し判断したことを目的に応じて伝えることができる。 (学・人) 文化としてのスポーツの意義に関する様々な学習に自主的取り組みことができる。	(知・技) 文化としてのスポーツの意義について十分理解できる。 (思・判・表) 文化としてのスポーツの意義についての考え方をまとめることができる。 (主学) 文化としてのスポーツの意義について進んで学習することができる。	【体育理論】	・運動やスポーツの多様性 ・運動やスポーツの安全な行い方
年間を通して		(知及技) 仲間と自主的に関わり、運動を持続する能力を高めながら、様々な運動を組み合わせることができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保しながら自主的に運動に取り組むことができる。	(知・技) 各種運動から、継続できる運動を自分や仲間と一緒に選択し、組み合わせながら運動に取り組むことができる。 (思・判・表) 自分と仲間の動きの違いを確認し、よりよく動く方法を教師やその他の仲間に伝えながら、運動に取り組むことができる。 (主学) 安全を確保するため、仲間の協力を得ながら積極的に自分の役割を果たすことができる。	【体づくり運動】	・体ほぐしの運動（準備体操、整理体操） ・体の動きを高める運動（真和志Fit.：腕立て伏せ、腹筋、バーピージャンプ、ボックスジャンプ） ・集団行動（集合・整列、方向転換等） ・新体力テスト（握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走または20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ）※4・5月に行う
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。				

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
4/140		真和志分教室 1 学年			『ひとりだちするための進路学習』 （日本教育出版）
目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技） 職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けている。（高等部 1 段階） （思判表力） 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を身に付けている。（高等部 1 段階） （学・人） よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を身に付けている。（高等部 1 段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	8	（知及技） 職業生活に必要な実践的な知識及び技能を身に付けることができる。また職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解することができる。（高 1 AⅠ(7)㉔㉕） （思判表力） 作業や実習の役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。また職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。（高 1 AⅠ(ⅰ)㉗㉘） （学・人） 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養うことができる。（高 1）	（知・技） 職業生活に必要な実践的な知識及び技能を身に付けようとしている。また職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解しようとしている。 （思・判・表） 作業や実習の役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現しようとしている。また職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えようとしている。 （主学） 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を身に付けようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシート等で評価する。	【職業座学】 ・オリエンテーション ・自分について ・働く上で必要な力について ・マナーについて	・職業のオリエンテーションを通して、授業で学ぶ内容を知る。 ・自分の長所、短所、得手、不得手などについて考える。 ・いろいろな仕事があることについて知る。 ・将来の職業生活について知る。 ・職業につく上で必要な力について知る。（あいさつ、返事、言葉遣い、姿勢、態度、身だしなみ、体力等） ・マナーの必要性について知る。（ちゅうまナー） ・職業生活に必要なビジネスマナーから自分の課題を見いだすとともに、学校生活での目標を考える。 ・学習を振り返り、今後の目標を立てることができる。
	52	（知及技） 勤労の意義を理解することができる。材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解するとともに、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。また、作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。（高 1 AⅡ(7)ⅰ(7)㉙㉚） （思判表力） 意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。また、作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。（高 1 AⅡ(ⅰ)ⅰ(ⅰ)㉛） （学・人） 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高 1）	（知・技） 勤労の意義を理解しようとしている。材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解するとともに、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱おうとしている。また作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業しようとしている。 （思・判・表） 意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現しようとしている。また、作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現しようとしている。 （主学） 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシート等で評価する。	【職業作業】 ・農園芸 ・清掃・環境整備 ・リサイクル活動 ・ものづくり ・事務補助作業	【農園芸】 ・季節の野菜と草花の栽培管理 ・農園作業で使用する道具の扱い方 ・環境整備活動 ・販売学習や接客の基本 【清掃・環境活動】 ・清掃で用いる道具の安全な扱い方 ・洗車、校内清掃（床、階段、窓、トイレ等） ・道具の整理整頓、管理 【リサイクル活動】 ・再生利用が可能な素材の回収・分別 ・回収・分別したものをリサイクル業者へ運搬 ・SDGs についての学習 【ものづくり】 ・製作で使う道具の扱い方 ・製作の方法と手順 ・道具の整理整頓、管理 【事務補助作業】 ・簡易な事務補助作業の流れ ・安全な道具用具の使用の仕方 ・報告連絡相談などのコミュニケーション
	8	（知及技） 職業など卒業後の進路に必要となることについて理解することができる。（高 1 CⅡ） （思判表力） 産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現することができる。（高 1 CⅡ） （学・人） 産業現場等における実習を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養うことができる。（高 1）	（知・技） 職業など卒業後の進路に必要となることについて理解しようとしている。 （思・判・表） 産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現しようとしている。 （主学） 産業現場等における実習を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を身に付けようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシート等で評価する。	【前期就業体験実習】 ・事前学習 ・事後学習	「前期就業体験実習事前事後学習」 ・前期就業体験実習に向けて知る。 ・ちゅうまナーについて学ぶ。 ・実習日誌の確認・記入について学習する。（日誌の書き方や仕事内容について） ・実習を振り返り、頑張ったことや難しかったこと等を記入する。 ・報告会に向けて発表準備と発表練習をする。 ・地域清掃体験先へお礼状を書く。 ・実習を振り返り自己の職業生活について考える。 ・将来の進路先について考える。 ＊キャリアパスポートを意識した取り組みとする ＊1年生は前期後期ともに校内実習

	2	(知及技) 情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱うことができる。(高1 B A) (思判表力) 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができる。(高1 B I) (学・人) 職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器を扱うことに関わる学習を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。(高1)	(知・技) 情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱うことができる。 (思・判・表) 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表しようとしている。 (主学) 職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器を扱うことに関わる学習を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を身に付けようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシート等で評価する。	【情報機器の活用】 *情報機器の基礎操作に関しては教科「情報」にて取り扱う。職業においては職業作業での活用とする。	各種ソフトウェアの機能紹介 ・文書作成ソフトウェア、表計算ソフトウェア、プレゼンテーションソフトウェア、画像処理ソフトウェア、動画編集ソフトウェア ・販売ポスターの制作 ・前期実習の決意表明スライド、実習振り返りスライド作成 ・職業作業写真撮影と写真加工 ・電話の使い方を学ぶ① ・要件の受け方を知る
後期	8	(知及技) 職業生活に必要な実践的な知識及び技能を身に付けることができる。また職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解することができる。(高1 A I (7)㉔) (思判表力) 作業や実習の役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。また職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。(高1 A I (1)㉔㉕) (学・人) 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養うことができる。(高1)	(知・技) 職業生活に必要な実践的な知識及び技能を身に付けようとしている。また職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解しようとしている。 (思・判・表) 作業や実習の役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現しようとしている。 (主学) 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を身に付けようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシート等で評価する。	【職業座学】 ・後期の目標 ・色々な職業・進路先について ・余暇の過ごし方について ・校外学習	・前期を振り返り後期の目標を立てる。 ・いろいろな仕事、進路先について考える ・興味を持った進路先について考え、iPad等の情報機器を活用して調べ学習を行う。 ・地域にどのような仕事、余暇活動の場があるか見たり体験したりする。 ・調べたことや体験したことをまとめ、職業生活に必要な力、余暇の過ごし方について考える。 ・職業1年間のまとめと振り返りをする。 *キャリアパスポートを意識した取り組みとする
	52	(知及技) 勤労の意義を理解することができる。材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解するとともに、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。また、作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。(高1 A A (7)イ(7)㉔㉕) (思判表力) 意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。また、作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。(高1 A A (1)イ(1)㉔) (学・人) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1)	(知・技) 勤労の意義を理解しようとしている。材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解するとともに、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うようとしている。また作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業しようとしている。 (思・判・表) 意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現しようとしている。また、作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現しようとしている。 (主学) 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシート等で評価する。	【職業作業】 ・農園芸 ・清掃・環境整備 ・リサイクル活動 ・ものづくり ・事務補助作業	【農園芸】 ・季節の野菜と草花の栽培管理 ・農園作業で使用する道具の扱い方 ・環境整備活動 ・販売学習や接客の基本 【清掃・環境活動】 ・清掃で用いる道具の安全な扱い方 ・洗車、校内清掃(床、階段、窓、トイレ等) ・道具の整理整頓、管理 【リサイクル活動】 ・再生利用が可能な素材の回収・分別 ・回収・分別したものをリサイクル業者へ運搬 ・SDGsについての学習 【ものづくり】 ・製作で使う道具の扱い方 ・製作の方法と手順 ・道具の整理整頓、管理 【事務補助作業】 ・簡易な事務補助作業の流れ ・安全な道具用具の使用の仕方 ・報告連絡相談などのコミュニケーション
	8	(知及技) 職業など卒業後の進路に必要となることについて理解することができる。(高1 C A) (思判表力) 産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現することができる。(高1 C I) (学・人) 産業現場等における実習を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養うことができる。(高1)	(知・技) 職業など卒業後の進路に必要となることについて理解しようとしている。 (思・判・表) 産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現しようとしている。 (主学) 産業現場等における実習を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を身に付けようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシート等で評価する。	【後期就業体験実習】 ・事前学習 ・事後学習	「後期就業体験実習事前事後学習」 ・後期就業体験実習について学ぶ。 ・ちゅらマナーについて学ぶ。 ・実習日誌の確認・記入について学習する。(日誌の書き方や仕事内容について) ・実習を振り返り、頑張ったことや難しかったこと等を記入する。 ・報告会に向けて発表準備や発表練習をする。 ・地域清掃体験先へお礼状を書く。 ・実習を振り返り自己の職業生活について考える。 ・将来の進路先について考える。 *キャリアパスポートを意識した取り組みとする *1年生は前期後期ともに校内実習
	2	(知及技) 情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱うことができる。(高1 B A) (思判表力) 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができる。(高1 B I) (学・人) 職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器を扱うことに関わる学習を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。(高1)	(知・技) 情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱うようとしている。 (思・判・表) 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表しようとしている。 (主学) 職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器を扱うことに関わる学習を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を身に付けようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシート等で評価する。	【情報機器の活用】 *情報機器の基礎操作に関しては教科「情報」にて取り扱う。職業においては職業作業での活用とする。	各種ソフトウェアの機能紹介 ・文書作成ソフトウェア、表計算ソフトウェア、プレゼンテーションソフトウェア、画像処理ソフトウェア、動画編集ソフトウェア ・販売ポスターの制作 ・前期実習の決意表明スライド、実習振り返りスライド作成 ・職業作業写真撮影と写真加工 ・電話の使い方を学ぶ① ・要件の受け方を知る
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 高等部2年（Ⅱ課程） 職業科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
5/175		真和志分教室 2 学年			『ひとりだちするための進路学習』 （日本教育出版）
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技） 職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けている。（高等部 1 段階） （思判表力） 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価し、表現する力を身に付けている。 （高等部 1 段階） （学・人） よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を身に付けている。（高等部 1 段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	17	（知及技） 職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けることができる。また職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解することができる。（高 1 A イ (ア)㉔㉕） （思判表力） 作業や実習の役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。また職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。（高 1 A イ (イ)㉗㉘） （学・人） 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養うことができる。（高 1）	（知・技） 職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けようとしている。また職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解しようとしている。 （思・判・表） 作業や実習の役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現しようとしている。また職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えようとしている。 （主学） 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を身に付けようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシート等で評価する。	【職業座学】 ・オリエンテーション ・自分のこと ・働くこと ・働くために ・進路を考える	・職業のオリエンテーションを通して、授業で学ぶ内容を知る。 ・自分の長所、短所、得手、不得手などについて考える。 ・自分の家族について知る。 ・いろいろな仕事があることについて知る。 ・将来の職業生活について知る。 ・働くことについて考える。 ・マナーの必要性について知る。（ちゅうらマナー） ・職業生活に必要なビジネスマナーから自分の課題を見いだすとともに、学校生活での目標を考える。 ・今後の目標を立てる。
	60	（知及技） 勤労の意義を理解することができる。材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解するとともに、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。また、作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業することができる。（高 1 A ア (ア)イ (ア)㉙㉚㉛） （思判表力） 意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。また、作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。（高 1 A ア (イ)イ (イ)㉞） （学・人） 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。（高 1）	（知・技） 勤労の意義を理解しようとしている。材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解するとともに、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱おうとしている。また作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業しようとしている。 （思・判・表） 意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現しようとしている。また、作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現しようとしている。 （主学） 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシート等で評価する。	【職業作業】 ・農園芸 ・清掃・環境整備 ・リサイクル活動 ・ものづくり ・事務補助作業	【農園芸】 ・季節の野菜と草花の栽培管理 ・農園作業で使用する道具の扱い方 ・環境整備活動 ・販売学習や接客の基本 【清掃・環境活動】 ・清掃で用いる道具の安全な扱い方 ・洗車、校内清掃(床、階段、窓、トイレ等) ・道具の整理整頓、管理 【リサイクル活動】 ・再生利用が可能な素材の回収・分別 ・回収・分別したものをリサイクル業者へ運搬 ・SDGs についての学習 【ものづくり】 ・製作で使う道具の扱い方 ・製作の方法と手順 ・道具の整理整頓、管理 【事務補助作業】 ・簡易な事務補助作業の流れ ・安全な道具用具の使用の仕方 ・報告連絡相談などのコミュニケーション
	8	（知及技） 職業など卒業後の進路に必要なことについて理解することができる。（高 1 C ア） （思判表力） 産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現することができる。（高 1 C イ） （学・人） 産業現場等における実習を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養うことができる。（高 1）	（知・技） 職業など卒業後の進路に必要なことについて理解しようとしている。 （思・判・表） 産業現場等における実習での自己の成長について考えたことを表現しようとしている。 （主学） 産業現場等における実習を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を身に付けようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシート等で評価する。	【前期就業体験実習】 ・事前学習 ・事後学習	「前期就業体験実習事前事後学習」 ・前期就業体験実習について知る。 ・ちゅうらマナーについて学ぶ。 ・実習日誌の確認・記入について学習する。 （日誌の書き方や仕事内容について） ・実習を振り返り、頑張ったことや難しかったこと等を記入する。 ・報告会に向けて発表準備と発表練習をする。 ・地域清掃体験先へお礼状を書く。 ・実習を振り返り自己の職業生活について考える。 ・将来の進路先について考える。 * キャリアパスポートを意識した取り組みとする * 2 年生は前期就業体験は、校内実習

後期	18	【知及技】 職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けることができる。また職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解することができる。(高1 Aイ(7)㉔㉕) 【思判表力】 作業や実習の役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。また職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えることができる。(高1 Aイ(1)㉗㉘) 【学・人】 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養うことができる。(高1)	【知・技】 職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けようとしている。また職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法を理解しようとしている。 【思・判・表】 作業や実習の役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現しようとしている。また職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方について考えようとしている。 【主学】 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を身に付けようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシート等で評価する。	【職業座学】 ・後期の目標 ・働くこと ・働くために ・進路を考える ・社会人になる ・校外学習	・前期を振り返り後期の目標を立てる。 ・いろいろな仕事、進路先について考える。 ・興味を持った進路先について考え、iPad等の情報機器を活用して調べ学習を行う。 ・地域にどのような仕事、余暇活動の場があるか見たり体験したりする。 ・調べたことや体験したことをまとめ、職業生活に必要な力、余暇の過ごし方について考える。 ・人とのつき合い方や距離感について学ぶ。 ・職業につく上で必要な力について知る。 ・生産と流通について知る。 ・職業1年間のまとめと振り返りをする。 *キャリアパスポートを意識した取り組みとする。
	60	【知及技】 勤労の意義を理解することができる。材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解するとともに、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うことができる。また、作業の確実性や持続性、巧緻性を高め、状況に応じて作業することができる。(高1 Aア(7)イ(7)㉙㉚㉛) 【思判表力】 意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。また、作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現することができる。(高1 Aア(1)イ(1)㉞) 【学・人】 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。(高1)	【知・技】 勤労の意義を理解しようとしている。材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解するとともに、使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うようとしている。また作業の確実性や持続性、巧緻性を高め、状況に応じて作業しようとしている。 【思・判・表】 意欲や見通しをもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現しようとしている。また、作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現しようとしている。 【主学】 作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシート等で評価する。	【職業作業】 ・農園芸 ・清掃・環境整備 ・リサイクル活動 ・ものづくり ・事務補助作業	【農園芸】 ・季節の野菜と草花の栽培管理 ・農園作業で使用する道具の扱い方 ・環境整備活動 ・販売学習や接客の基本 【清掃・環境活動】 ・清掃で用いる道具の安全な扱い方 ・校内清掃(床、階段、窓、トイレ等) ・道具の整理整頓、管理 【リサイクル活動】 ・再生利用が可能な素材の回収・分別 ・回収・分別したものをリサイクル業者へ運搬 ・SDGsについての学習 【ものづくり】 ・製作で使う道具の扱い方 ・製作の方法と手順 ・道具の整理整頓、管理 【事務補助作業】 ・簡易な事務補助作業の流れ ・安全な道具用具の使用の仕方 ・報告連絡相談などのコミュニケーション
	8	【知及技】 実際の学習活動を通して、職業や進路に関わることにについて調べて、理解することができる。(中2 Cア) 【思判表力】 実際の学習活動を通して、職業や職業生活、進路に関わることに自己の成長などについて考えて、発表することができる。(中2 Cイ) 【学・人】 実際の学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養うことができる。(中2)	【知・技】 実際の学習活動を通して、職業や進路に関わることにについて調べて、理解しようとしている。 【思・判・表】 実際の学習活動を通して、職業や職業生活、進路に関わることに自己の成長などについて考えて、発表しようとしている。 【主学】 実際の学習活動を通して、将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を身に付けている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシート等で評価する。	【後期就業体験実習】 ・事前学習 ・事後学習	「後期就業体験実習事前事後学習」 ・後期就業体験実習について学ぶ。 ・ちゅうまナーについて学ぶ。 ・実習日誌の確認・記入について学習する。 ・(日誌の書き方や仕事内容について) ・実習を振り返り、頑張ったことや難しかったこと等を記入する。 ・報告会に向けて発表準備と発表練習をする。 ・実習先へお礼状を書く。 ・実習を振り返り自己の職業生活について考える。 ・将来の進路先について考える。 *キャリアパスポートを意識した取り組みとする *2年生は、後期就業体験は校外実習
	2	【知及技】 情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱うことができる。(高1 Bア) 【思判表力】 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表することができる。(高1 Bイ) 【学・人】 職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器を扱うことに関わる学習を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。(高1)	【知・技】 情報セキュリティ及び情報モラルについて知るとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピュータ等の情報機器について、その特性や機能を知り、操作の仕方が分かり、扱うようとしている。 【思・判・表】 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピュータ等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことを発表しようとしている。 【主学】 職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器を扱うことに関わる学習を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を身に付けようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシート等で評価する。	【情報機器の活用】 *情報機器の基礎操作に関しては教科「情報」にて取り扱う。職業においては職業作業での活用とする。	各種ソフトウェアの機能紹介 ・文書作成ソフトウェア、表計算ソフトウェア、プレゼンテーションソフトウェア、画像処理ソフトウェア、動画編集ソフトウェア ・販売ポスターの制作 ・前期実習の決意表明スライド、実習振り返りスライド作成 ・職業作業写真撮影と写真加工 ・電話の使い方を学ぼう① ・要件の受け方を知る
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 高等部3年（Ⅱ課程） 職業科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒	担当者	教科書／副教材	
5/175		真和志分教室 3 学年		『ひとりだちするための進路学習』 （日本教育出版）	
目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技） 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けることができる。（高等部 2 段階） （思判表力） 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養うことができる。（高等部 2 段階） （学・人） よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養うことができる。（高等部 2 段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	17	（知及技） 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、職業生活に必要な実践的な知識及び技能を身に付けることができる。また職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法について理解することができる。（高 2 A イ(ア)㊦㊧） （思判表力） 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、作業や実習において自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現することができる。また、職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えることができる。（高 2 A イ(イ)㊦㊧） （学・人） 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養うことができる。（高 2）	（知・技） 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、職業生活に必要な実践的な知識及び技能を身に付けようとしている。また職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法について理解しようとしている。 （思・判・表） 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現しようとしている。また、職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えようとしている。 （主学） 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を身に付けている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシート等で評価する。	【職業座学】 ・オリエンテーション ・自分のこと ・働くこと ・働くために ・進路を考える	・職業のオリエンテーションを通して、授業で学んでいく内容を理解する。 ・自分の長所、短所、得手、不得手などについて考える。 ・自分の家族について知る。 ・いろいろな仕事があることについて知る。 ・将来の職業生活について理解する。 ・働くことについて考える。 ・マナーの必要性について理解する。（ちゅうらマナー） ・職業生活に必要なビジネスマナーから自分の課題を見いだすとともに、学校生活での目標を考える。 ・今後の目標を立てる。
	60	（知及技） 勤労の意義について理解を深めることができる。使用する道具や機械等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱うことができる。また、作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業し、習熟することができる。また、材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解を深めることができる。（高 2 A ア(ア)イ(ア)㊦㊧㊨） （思判表力） 目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。また、作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現することができる。（高 2 A ア(イ)イ(イ)㊦） （学・人） 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養うことができる。（高 2）	（知・技） 勤労の意義について理解を深めている。使用する道具や機械等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱うとし、作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業し、習熟している。また、材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる技術について理解を深めている。 （思・判・表） 目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現しようとしている。また、作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現しようとしている。 （主学） 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を身に付けている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシート等で評価する。	【職業作業】 ・農園芸 ・清掃・環境整備 ・リサイクル活動 ・ものづくり ・事務補助作業	【農園芸】 ・季節の野菜と草花の栽培管理 ・農園作業で使用する道具の扱い方 ・環境整備活動 ・販売学習や接客の基本 【清掃・環境活動】 ・清掃で用いる道具の安全な扱い方 ・校内清掃(床、階段、窓、トイレ等) ・道具の整理整頓、管理 【リサイクル活動】 ・再生利用が可能な素材の回収・分別 ・回収・分別したものをリサイクル業者へ運搬 ・SDGs についての学習 【ものづくり】 ・製作で使う道具の扱い方 ・製作の方法と手順 ・道具の整理整頓、管理 【事務補助作業】 ・簡易な事務補助作業の流れ ・安全な道具用具の使用の仕方 ・報告連絡相談などのコミュニケーション
	8	（知及技） 職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深めることができる。（高 2 C ア） （思判表力） 産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現することができる。（高 2 C イ） （学・人） 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養うことができる。（高 2）	（知・技） 職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深めようとしている。 （思・判・表） 産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現しようとしている。 （主学） 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を身に付けてようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシート等で評価する。	【前期就業体験実習】 ・事前学習 ・事後学習	「前期曾長体験実習事前事後学習」 ・前期就業体験実習について知る。 ・ちゅうらマナーについて学ぶ。 ・実習日誌の確認・記入について学習する。（日誌の書き方や仕事内容について） ・実習を振り返り、頑張ったことや難しかったこと等を記入する。 ・報告会に向けての発表準備と発表練習 ・実習先へお礼状を書く。 ・実習を振り返り自己の職業生活について考える。 ・将来の進路先について考える。 ＊キャリアパスポートを意識した取り組みとする ＊3 年は前期後期ともに校外実習

	2	〔知・技〕 情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピューター等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作することができる。(高2 B A) (思判表力) 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピューター等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことについて適切に表現することができる。(高2 B I) (学・人) 職業生活で使われるコンピューター等の情報機器を扱うことに関わる学習を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養うことができる。(高2)	〔知・技〕 情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピューター等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作しようとしている。 〔思・判・表〕 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピューター等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことについて適切に表現しようとしている。 〔主学〕 職業生活で使われるコンピューター等の情報機器を扱うことに関わる学習を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を身に付けようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシート等で評価する。	〔情報機器の活用〕 ＊情報機器の基礎操作に関しては教科「情報」にて取り扱う。職業においては職業作業での活用とする。	・各種ソフトウェアを組み合わせて使おう ・文書作成ソフトウェア、表計算ソフトウェア、プレゼンテーションソフトウェア、画像処理ソフトウェア ・動画編集ソフトウェア ・作業班紹介の動画・プレゼン作成 ・前期実習振り返り写真スライド・動画作成
後期	18	〔知・技〕 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けることができる。また職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法について理解することができる。(高2 A I (ア)㉔㉕) (思判表力) 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、作業や実習において自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現することができる。また、職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えることができる。(高2 A I (イ)㉔㉕) (学・人) 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養うことができる。(高2)	〔知・技〕 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けようとしている。また職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法について理解しようとしている。 〔思・判・表〕 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現しようとしている。また、職業生活に必要な健康管理や余暇の過ごし方の工夫について考えようとしている。 〔主学〕 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を身に付けている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシート等で評価する。	〔職業座学〕 ・後期の目標 ・働くこと ・働くために ・進路を考える ・社会人になる ・校外学習	・前期を振り返り後期の目標を立てる。 ・いろいろな仕事、進路先について考える。 ・興味を持った進路先について調べ、iPad等の情報機器を活用して調べ学習を行う。 ・地域にどのような仕事、余暇活動の場があるか見たり体験したりする。 ・調べたことや体験したことをまとめ、職業生活に必要な力、余暇の過ごし方について考える。 ・人とのつき合い方や距離感について学ぶ。 ・職業につく上で必要な力について知る。 ・生産と流通について知る。 ・職業1年間のまとめと振り返りをする。 ＊キャリアパスポートを意識した取り組みとする。
	60	〔知・技〕 勤労の意義について理解を深めることができる。使用する道具や機械等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱うことができる。また、作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業し、習熟することができる。また、材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関する技術について理解を深めることができる。(高2 A A (ア)イ(イ)㉔㉕) (思判表力) 目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現することができる。また、作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現することができる。(高2 A A (イ)イ(イ)㉔) (学・人) 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養うことができる。(高2)	〔知・技〕 勤労の意義について理解を深めている。使用する道具や機械等の特性や扱い方の理解を深め、作業課題に応じて効果的に扱うこととし、作業の確実性や持続性、巧緻性等を高め、状況に応じて作業し、習熟している。また、材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関する技術について理解を深めている。 〔思・判・表〕 目標をもって取り組み、その成果や自分と他者との役割及び他者との協力について考え、表現しようとしている。また、作業や実習において、自ら適切な役割を見いだすとともに、自分の成長や課題について考え、表現しようとしている。 〔主学〕 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を身に付けている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシート等で評価する。	〔職業作業〕 ・農園芸 ・清掃・環境整備 ・リサイクル活動 ・ものづくり ・事務補助作業	〔農園芸〕 ・季節の野菜と草花の栽培管理 ・農園作業で使用する道具の扱い方 ・環境整備活動 ・販売学習や接客の基本 【清掃・環境活動】 ・清掃で用いる道具の安全な扱い方 ・校内清掃(床、階段、窓、トイレ等) ・道具の整理整頓、管理 【リサイクル活動】 ・再生利用が可能な素材の回収・分別 ・回収・分別したものをリサイクル業者へ運搬 ・SDGs についての学習 【ものづくり】 ・製作で使う道具の扱い方 ・製作の方法と手順 ・道具の整理整頓、管理 【事務補助作業】 ・簡易な事務補助作業の流れ ・安全な道具用具の使用の仕方 ・報告連絡相談などのコミュニケーション
	8	〔知・技〕 職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深めることができる。(高2 C A) (思判表力) 産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現することができる。(高2 C I)) (学・人) 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養うことができる。(高2)	〔知・技〕 職業など卒業後の進路に必要となることについて理解を深めようとしている。 〔思・判・表〕 産業現場等における実習で課題の解決について考えたことを表現しようとしている。 〔主学〕 職業に関わる事柄について他者との協働により考えを深めたり、体験したりする学習活動を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を身に付けている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシート等で評価する。	〔後期就業体験実習〕 ・事前学習 ・事後学習	「後期就業体験実習事前事後学習」 ・後期就業体験実習について学ぶ。 ・ちゅうらマナーについて学ぶ。 ・実習日誌の確認・記入について学習する。(日誌の書き方や仕事内容について) ・実習を振り返り、頑張ったことや難しかったこと等を記入する。 ・報告会に向けて発表準備と発表練習をする。 ・実習先へお礼状を書く。 ・実習を振り返り自己の職業生活について考える。 ・将来の進路先について考える。 ＊キャリアパスポートを意識した取り組みとする ＊3年生は前期後期ともに校外実習

	2	(知・技) 情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピューター等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作することができる。(高2 Bア) (思・判・表力) 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピューター等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことについて適切に表現することができる。(高2 Bイ) (学・人) 職業生活で使われるコンピューター等の情報機器を扱うことに関わる学習を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養うことができる。(高2)	(知・技) 情報セキュリティ及び情報モラルについて理解するとともに、表現、記録、計算、通信等に係るコンピューター等の情報機器について、その特性や機能を理解し、目的に応じて適切に操作しようとしている。 (思・判・表) 情報セキュリティ及び情報モラルを踏まえ、コンピューター等の情報機器を扱い、収集した情報をまとめ、考えたことについて適切に表現しようとしている。 (主・学) 職業生活で使われるコンピューター等の情報機器を扱うことに関わる学習を通して、よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を身に付けようとしている。 【評価資料】活動の様子と感想発表、振り返りシート等で評価する。	【情報機器の活用】 *情報機器の基礎操作に関しては教科「情報」にて取り扱う。職業においては職業作業での活用とする。	・各種ソフトウェアを組み合わせて使おう ・文書作成ソフトウェア、表計算ソフトウェア、プレゼンテーションソフトウェア、画像処理ソフトウェア、動画編集ソフトウェア ・作業班紹介の動画・プレゼン作成 ・前期実習振り返り写真スライド・動画作成
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 高等部1～3年（Ⅱ課程） 家庭科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
1/35		真和志分教室 1 学年 2 学年 3 学年			『職業・家庭 たのしい家庭科 わたしのくらしに生かす』 (開隆堂出版)
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(高1段階) (思判表力) 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。(高1段階) (学・人) 家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	17	(知及技) ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家庭生活が家族の協力によって営まれていることや、家庭生活において地域の人々との協力が大切であることに気付くことができる。 ・健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解し、実践することができる。 (思判表力) ・家族と地域の人々とのより良い関わり方について考え、表現することができる。 ・健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、表現することができる。 (学・人) ・家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えることができる。	(知・技) ・自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家庭生活が家族の協力によって営まれていることや、家庭生活において地域の人々との協力が大切であることに気付いている。 ・健康管理や余暇の有効な過ごし方について理解し、実践しようとしている。 (思・判・表) ・家族と地域の人々とのより良い関わり方について考え、表現している。 ・健康管理や余暇の有効な過ごし方について考え、表現している。 (主学) ・家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとしている。	A 家族・家庭生活 ア 自分の成長と家族 イ 家庭生活での役割と地域との関わり ウ 家庭生活における健康管理と余暇 I段階 A－ア・イ・ウ	①これまでの家庭生活 ・あなたの家庭生活 ・あなたの家庭での役割 ②これからの家庭生活 ・自分自身について考える ・自立した生活をめざして ③家族と家庭生活 ・家族や家庭の役割 ・家庭生活って何ですか ④ともに支え合う ・暮らしやすい地域作り ・地域で行われている活動
		(知及技) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解することができる。 (思判表力) 衣服の選択について考え、工夫することができる。 (学・人) よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択に関わる学習活動を通して、生活を工夫し考えることができる。	(知・技) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 (思・判・表) 衣服の選択について考え、工夫している。 (主学) よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択に関わる学習活動を通して、生活を工夫し考えようとしている。	B 衣食住の生活 ウ 衣服の選択 I段階 B－ウ	①季節や場面に合わせた服装 ・季節の変化に応じた服装 ・TPOに合わせた服装 ②衣服の選び方 ・衣服の組み合わせ ③衣服の素材 ・繊維の種類と特徴 ・混紡の効果 ・既製服のサイズ ・衣類の表示について ・クールビズとウォームビズ
後期	18	(知及技) 生活の中で食事が果たす役割について理解することができる。 (思判表力) 健康によい食習慣について考え、工夫することができる。 (学・人) 食事が果たす役割の学習を通し、健康によい食習慣の実現に向けて生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養うことができる。	(知・技) 生活の中で食事が果たす役割について理解している。 (思・判・表) 健康によい食習慣について考え、工夫しようとしている。 (主学) 食事が果たす役割についての学習を通し、健康によい食習慣の実現に向けて生活を工夫し考え、実践しようとしている。	B 衣食住の生活 ア 食事の役割 I段階	①食生活 ・生活の中で食事が果たす役割 ・栄養のバランス ・楽しく食べるための工夫 ②日常食の調理 ・身近な食材を使った簡単な調理 ・安全、衛生への留意
		(知及技) 購入方法や支払い方法の特徴が分かる。 (思判表力) 計画的な金銭管理の必要性に気付くことができる。 (学・人) 物資・サービスの情報を活用し、購入について考えることができる。	知及技) 購入方法や支払い方法の特徴が分かっている。 (思判表力) 計画的な金銭管理の必要性に気付いている。 (学・人) 物資・サービスの情報を活用し、購入について考えようとしている。	C 消費生活・環境 ア 消費生活 I段階 C－ア	・購入方法、支払い方法の特徴 ・計画的な金銭管理の必要性 ・物資、サービスの選択に必要な情報の収集・整理
留意点 引継ぎ等		・ 買い物学習（校外学習）、調理実習等を各単元の中で行う。 ※感染症の状況によって、調理実習の実施方法を視聴形式に変更する。			

令和7年度 高等部1年（Ⅱ課程） 外国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	真和志分教室1学年		『絵で学ぶ小学生の英語レッスンABCから英会話まで』

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技） 簡単な語句や基本的な表現が表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。（高1段階） （思・判・表） 身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、外国語を真似ながら読んだり、外国語の文字をなぞって書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合う力を身に付けることができる。（高1段階） （学・人） 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。（高等部）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	4	（知・技） 挨拶や自己紹介についての簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。また、日本と外国との生活・習慣などの違いを知ることができる。（高1ア（ア）㊟） （思・判・表） 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分のことを紹介する活動ができる。（高1ウ（ウ）㊟） （学・人） 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。（高1）	（知・技） 英単語を聞き、ジェスチャーをみて、何を表しているのか理解している。 （思・判・表） 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分のことを紹介しようとしている。 （主・学） 簡単な英語表現を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 1 挨拶・自己紹介（誕生日、住んでいる所）・ジェスチャー、色、形）	・英語の挨拶表現や自分に関する事（誕生日、住んでいる場所など）を簡単な語句を使って自己紹介する。 ・校内外での交流活動を通して名前、学校名、住んでいる場所などを作成し、挨拶、自分について紹介する。 ・日本と外国のジェスチャーの違いや類似点について模倣して発表する。
	4	（知・技） 数字に関する簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。（高1ア（ア）㊟） （思・判・表） 自分の持ち物など簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分のことを紹介する活動ができる。（高1ウ（ウ）㊟） （学・人） 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。（高1）	（知・技） 0～60までの数字を聞いたり見て読んだりして、何を表しているのか理解している。 （思・判・表） 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分のことを紹介しようとしている。 （主・学） 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 2 数の数え方	・0～60、2桁の数字の数え方の特徴を知り、数を数える。いくつあるか尋ねる表現を知り「How many～？」の質問を受けて、自分の持ち物の数などを数えて答える。 例）How many books do you have?～ I have 5 books.
	4	（知・技） 家族に関する簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。（高1ア（ア）㊟） （思・判・表） 自分の持ち物などについての簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分のことを紹介する活動ができる。（高1ウ（ウ）㊟） （学・人） 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。（高1）	（知・技） 家族に関する簡単な英単語を聞いたり、読んだりして、何を表しているのか理解している。 （思・判・表） 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の家族のことを紹介しようとしている。 （主・学） 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 3 家族	・家族のメンバーの言い方を知り、自分の家族について紹介する。 例）I have one brother and two sisters.
	5	（知・技） 学校の教室や施設に関する簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。（高1ア（ア）㊟） （思・判・表） 簡単な語句や基本的な表現を用いて、学校の教室や施設について紹介する活動ができる。（高1ウ（ウ）㊟） （学・人） 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。（高1）	（知・技） 学校の教室や施設に関する簡単な英単語を聞いたり見て読んだりして、何を表しているのか理解している。 （思・判・表） 「This is ～。」などの簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の家族のことを紹介しようとしている。 （主・学） 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 4 学校案内	・学校の教室の名前や施設の名称や「ここが～です。」という場所を紹介する表現を使って相手に伝える。 例）This is our music room.

後期	4	(知及技) 時間の表す簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高1ア(ア)㊟) (思判表力) 時刻など身近で簡単な英語表現について、表示などを参考しながら具体的な情報を聞き取ることができる。(高1ウ①イ(ア)㊟) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(高1)	(知・技) 時間の伝え方に関する簡単な英単語を聞いたり見て読んだりして、何を表しているのか理解している。 (思・判・表) 「What time is is now?-It's ten-thirty.」などの時間を伝え方に関する簡単な語句や基本的な表現を聞きとろうとしている。 (主学) 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 5 今何時？	・時間の言い方やたずね方の英語表現の特徴を知り、時間を伝える。 例) What time is is now?-It's ten thirty. ・0～30、2桁の数字の数え方の特徴を知り、数を数える。
	4	(知及技) 食べ物や衣類、生活用品に関する簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高1ア(ア)㊟) (思判表力) ものの名称についての簡単な語句や買い物で使う基本的な表現を用いて、自分のほしいものを伝えることができる。また、値段を表す表示を参考にしながら具体的な情報を聞き取ることができる。(高1ウ(ウ)㊟、イ(ア)㊟) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(高1)	(知・技) 食べ物や衣類、生活用品に関する簡単な英単語を聞いたり見て読んだりして、何を表しているのか理解している。 (思・判・表) ものの名称や買い物についての簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分のほしいものを伝えようとしている。 (主学) 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 6 買い物へ行こう (衣服・食べ物)	・食べ物や衣類、生活用品に関する語句を知り、校内外での買い物の体験を通して欲しいものを伝えたり値段を聞いたりする。 例) I'd like a chinese noodle. How much is it? ・いろいろな形容詞 (big, small, beautiful, nice, heavy, etc.)を使って、食べものや服、生活用品について説明する。 例) This bag is big.
	4	(知及技) 時節のカードで用いる語句や基本的な表現について、日本語との違いに気付くことができる。(高1ア(ア)㊟) (思判表力) グリーティングカードで季節の挨拶を伝えるために、基本的な英文レターの書き方に沿って書き写すことができる。(高1ウ①エ)㊟) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(高1)	(知・技) グリーティングカードで用いる語句や表現について、日本語との違いを理解している。 (思・判・表) グリーティングカードの基本的な英文レターの書き方に沿って書き写すことができる。 (主学) 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 7 ハッピーホリデイ	・外国の季節の行事を通して、自国・自分の地域の文化との類似点や違いを知り、外国の文化・風習に対する理解を深める。 ・グリーティングカードに使われる表現を用いて基本的な英文レターの書き方に沿ってカードを書く。
	3	(知及技) 新年の挨拶や新年に関する簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。また、日本と外国との生活・習慣などの違いを知ることができる。(高1ア(ア)㊟) (思判表力) 動物や顔のパーツの名称など簡単な語句や基本的な表現を用いて、相手に伝えること活動ができる。(高1ウ(ウ)㊟) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(高1)	(知・技) 新年に関する簡単な英単語を聞いたり見て読んだりして、何を表しているのか理解している。日本と外国との生活・習慣などの違いを理解することができる。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、相手に伝えようとしている。 (主学) 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 8 新年を祝おう	・新年や冬に関する語句について書く。(新年の挨拶、外国の新年、干支) ・顔のパーツ、上下左右の言い方を知る。 animals
	3	(知及技) 動作を表す語句や可能な表現「I can ～./I can't ～.」が表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高1ア(ア)㊟) (思判表力) 自分ができることやできないことを伝えるために簡単な語句や基本的な表現を用いて、相手に伝えること活動ができる。(高1ウ(ウ)㊟) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(高1)	(知・技) 動作を表す語句や可能な表現「I can ～./I can't ～.」が表す内容が何を表しているのか理解している。 (思・判・表) 自分ができることやできないことを伝える語句や表現を用いて、自分のことを相手に伝えようとしている。 (主学) 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 9 できることを伝えよう	・動作を表す語句や「I can～.」「I can't ～.」の英語表現を用いて、自分のできることやできないことを伝える。 例) I can swim./Can you eat <i>natto</i> ?-No, I can't.
留意点 引継ぎ等		年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和7年度 高等部2年（Ⅱ課程） 外国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	真和志分教室2学年		『絵で学ぶ小学生の英語レッスンABCから英会話まで』

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標					
		（知・技） 音声や文字、語彙などについて日本語との違いに気付くとともに、実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けることができる。（高1段階） （思・判・表） 身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、外国語を真似ながら読んだり、外国語の文字をなぞって書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合う力を身に付けることができる。（高1段階） （学・人） 英語の背景にある文化について理解し、他者に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。（高等部）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	4	（知・技） 挨拶や自己紹介の表現について理解し、相手と伝え合うことができる。また体験的な活動を通して、日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知ることができる。（高1(1)ア(7)、イ） （思・判・表） 相手とよく知り合うために、名前や好きな物など基本的な表現を用いて自己紹介ができる。（高1ウ①(7)(イ)(ウ)(I)(4)） （学・人） 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。（高等部）	（知・技） 挨拶や自己紹介について、英語の音声を聞いて理解し、伝え合う技能を身に付けている。 （思・判・表） 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。 （主・学） 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 1 挨拶・自己紹介 （誕生日、住んでいる所）・ジェスチャー、色、形	・英語の挨拶表現や自分に関すること（誕生日、住んでいる場所など）を簡単な語句を使って自己紹介する。 ・校内外での交流活動を通して名前、学校名、住んでいる場所などを作成し、挨拶、自分について紹介する。 ・日本と外国のジェスチャーの違いや類似点について模倣して発表する。
	4	（知・技） 数について、英語の音声を聞いて理解し、伝え合ったり、話したりすることができる。（高1ア(7)） （思・判・表） 数の数え方やいくつあるかを尋ねる表現に慣れ親しみ、さまざまなものの数を伝え合うことができる。（高1ウ①(7)(イ)(ウ)(I)(4)） （学・人） クラスの友達に配慮しながら、簡単な英語表現を用いて伝え合うことができる。（高等部）	（知・技） 数について、英語の音声を聞き、伝え合う技能を身に付けている。 （思・判・表） 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとしている。 （主・学） クラスの友達に配慮しながら、簡単な英語表現を用いて伝え合おうとしている。	Lesson 2 数の数え方 twelve months	・0～60、2桁の数字の数え方の特徴を知り、数を数える。いくつあるかを尋ねる表現を知り「How many～？」の質問を受けて、自分の持ち物の数などを数えて答える。 例) How many books do you have?～ I have 5 books.
	4	（知・技） 家族に関する、英語の音声を聞いて理解し、伝え合ったり、話したりすることができる。（高1ア(7)） （思・判・表） 家族メンバーの名称に関する簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の家族について伝え合うことができる。（高1ウ①(7)(イ)(ウ)(I)(4)） （学・人） クラスの友達に配慮しながら、簡単な英語表現を用いて伝え合うことができる。（高等部）	（知・技） 家族について、英語の音声を聞き、伝え合ったり、話したりする技能を身に付けている。 （思・判・表） 簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったりしている。 （主・学） クラスの友達に配慮しながら、簡単な英語表現を用いて伝え合おうとしている。	Lesson 3 家族	・家族のメンバーの言い方を知り、自分の家族について紹介する。 （例）I have one brother and two sisters.
	5	（知・技） 学校の教室の名前や施設の名称について、英語の音声を聞いて理解し、伝え合ったり、話したりすることができる。（高1ア(7)） （思・判・表） 学校の教室や施設の名称や案内するため基本的な表現を用いて、校内を案内することができる。（高1ウ①(7)(イ)(ウ)(I)(4)） （学・人） 他者に配慮しながら、簡単な英語表現を用いて伝え合い、道案内をすることができる。（高等部）	（知・技） 学校の教室の名前や施設の名称について、英語の音声を聞き、伝え合ったり、話したりする技能を身に付けている。 （思・判・表） 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えようとしている。 （主・学） 他者に配慮しながら、簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 4 学校案内	・学校の教室の名前や施設の名称や「ここが～です。」という場所を紹介する表現を使って相手に伝える。 例) This is our music room.

後期	4	(知及技) 時間の言い方・尋ね方の英語表現について、英語の音声を聞いて理解し、伝え合ったり、話したりすることができる。(高1 7(7)) (思判表力) 時間を伝える表現に慣れ親しみ、表示を参考にしながら大まかな時間を伝え合うことができる。(高1 ウ①) (7)(イ)(ウ)(I)(オ) (学・人) 他者に配慮しながら、簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(高等部)	(知・技) 時間の伝え方について、英語の音声を聞き、伝え合ったり、話したりする技能を身に付けている。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとしている。 (主学) 他者に配慮しながら、簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 5 今何時？	・時間の言い方やたずね方の英語表現の特徴を知り、時間を伝える。 例) What time is it now?—It's ten thirty. ・0～60、2桁の数字の数え方の特徴を知り、数を数える。
	4	(知及技) 衣類や食べものについて、英語の音声を聞いて理解し、伝え合うことができる。(高1 7(7)) (思判表力) 買い物や注文の仕方について学習した語句や表現を選択したり付け加えたりして伝え合うことができる。(高1 ウ①) (7)(イ)(ウ)(I)(オ) (学・人) 他者に配慮しながら、簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(高等部)	(知・技) 衣類や食べものについて、英語の音声を聞き、伝え合ったり、話したりする技能を身に付けている。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて聞いたり、伝え合ったり、話したりしている。 (主学) 他者に配慮しながら、簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 6 買い物へ行こう (衣服・食べ物)	・食べ物や衣類、生活用品に関する語句を知り、校内外での買い物の体験を通して欲しいものを伝えたり値段を聞いたりする。 例) I'd like a chinese noodle. How much is it? ・いろいろな形容詞 (big, small, beautiful, nice, heavy, etc.)を使って、食べものや服、生活用品について説明する。 例) This bag is big.
	4	(知及技) 体験的な活動を通して、日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知ることができる。(高1 7(7)) (思判表力) 行事ごとのカードや各国の行事の過ごし方を見たり、聞いたりしながら、その概要をおおまかに捉えることができる。(高1 ウ①(7)(イ)(ウ)(I)(オ)) (学・人) 誰とでもコミュニケーションを図り、積極的にオリジナルカードの交換を行うことができる。(高等部)	(知・技) グリーティングカードで用いる語句や表現について、日本語との違いを理解している。 (思・判・表) 自分のことを伝え、相手のことを知るために、各国の行事、グリーティングカードに使われる関連語句を用いて、聞いたり、伝え合ったりしている。 (主学) 誰とでもコミュニケーションを図り、積極的にオリジナルカードの交換を行うおうとしている。	Lesson 7 ハッピーホリデー	・外国の季節の行事を通して、自国・自分の地域の文化との類似点や違いを知り、外国の文化・風習に対する理解を深める。 ・グリーティングカードに使われる表現を用いて基本的な英文レターの書き方に沿ってカードを書く。
	3	(知及技) 新年の挨拶や新年に関する簡単な語句や基本的な表現に慣れ親しむことができる。また、体験的な活動を通して、日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知ることができる。(高1 7(7)) (思判表力) 動物や顔のパーツの名称など簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝え合うことができる。(高1 ウ①) (7)(イ)(ウ)(I)(オ) (学・人) 他者に配慮しながら、簡単な英語表現を用いて主体的に話すことができる。(高等部)	(知・技) 新年に関する簡単な語句や基本的な表現を理解して、聞いたり、話したりする技能を身に付けている。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合おうとしている。 (主学) 他者に配慮しながら、簡単な英語表現を用いて主体的に話そうとしている。	Lesson 8 新年を祝おう	・新年や冬に関する語句について書く。(新年の挨拶、外国の新年、干支) ・顔のパーツ、上下左右の言い方を知る。 animals
	3	(知及技) できることやできないことの表現を理解し、自分や友達のことについて、相手と伝え合うことができる。(高1 7(7)) (思判表力) できることやできないことについて基本的な語彙や表現を用いて発表することができる。(高1 ウ①(7)(イ)(ウ)(I)(オ)) (学・人) 友達のできることやできないことについて、聞き手に配慮しながら発表したり、相手の話を聞いたりすることができる。(高等部)	(知・技) 動作を表す語句や可能的表現「I can ～./I can't ～.」が表す内容を理解し、伝え合ったり、話したりする技能を身に付けている。 (思・判・表) 自分ができることやできないことを伝える語句や表現を用いて、相手に伝えようとしている。 (主学) 友達のできることやできないことについて、聞き手に配慮しながら発表したり、相手の話を聞いたりしようとしている。	Lesson 9 できることを伝えよう	・動作を表す語句や「I can～.」「I can't～.」の英語表現を用いて、自分のできることやできないことを伝える。 例) I can swim./Can you eat <i>natto</i> ?—No, I can't.
留意点 引継ぎ等		年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和7年度 高等部 3年（Ⅱ課程） 外国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	真和志分教室3学年		『絵で学ぶ小学生の英語レッスンABCから英会話まで』

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 音声や文字、語彙などについて日本語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な力を身に付けることができる。(高2段階) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、外国語を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合う力を身に付けることができる。(高2段階) (学・人) 英語の背景にある文化について理解し、他者に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。(高等部)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	4	(知及技) 一日の生活についての簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高2ア(ア)㉔) (思判表力) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分のことを紹介する活動ができる。(高2ウ(ウ)㉔) (学・人) 他者に配慮しながら、簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(高等部)	(知・技) 一日の生活・活動に関する語句や表現を聞いて何を表しているか理解している。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の生活のことを紹介しようとしている。 (主学) 他者に配慮しながら、簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 1 私の一日	・ 毎日の生活動作を表す表現や時刻・時間をたずねる表現を使って簡単な質問をしたり質問に答えたりする。 例) What time do you get up? - I get up at 6:30.
	4	(知及技) 交通手段や乗り物についての簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高2ア(ア)㉔) (思判表力) 通学方法や交通手段に関する簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分のことを紹介する活動ができる。(高2ウ(ウ)㉔) (学・人) 英語を使ってコミュニケーションを図ることができる。(高等部)	(知・技) 交通手段や乗り物に関する語句や表現を聞いて何を表しているか理解している。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の通学方法を説明しようとしている。 (主学) 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 2 通学・交通手段	・ 交通手段や乗り物に関する語句を知り、英語表現を使って移動手段を説明する。 例) How do you go to school? - I go to school by bus.
	4	(知及技) 建物・場所を表す簡単な語句や道案内についての基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高2ア(ア)㉔) (思判表力) 道案内に関する簡単な語句や基本的な表現を用いて、表示を参考にしながら案内活動ができる。(高2ウ(ウ)㉔) (学・人) 他者に配慮しながら、簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(高等部)	(知・技) 建物・場所に関する語句や表現を聞いて何を表しているか理解している。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、道案内をしようとしている。 (主学) 他者に配慮しながら、簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 3 道案内	・ 建物・場所を表す語句を知り、英語表現を使って目的地までの道をたずねたり、道案内をする。 例) Where is a bookstore? -Go straight, and turn right.
	5	(知及技) 国名や行きたい国をたずねたり答えたりする基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高2ア(ア)㉔) (思判表力) 国名に関する簡単な語句や基本的な表現を用いて、表示を参考にしながら自分の行きたい所を紹介できる。(高2ウ(ウ)㉔) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(高等部)	(知・技) 国名に関する語句や表現を聞いて何を表しているか理解している。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の行きたい国を説明しようとしている。 (主学) 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 4 行きたい国	・ 世界の国々の名称や行きたい国についてたずねたり答えたりする表現を用いて、質問をしたり質問に答えたりする。例) Which country do you want to go to? - I want to go to Italy. What it famous for Italy?-Pizza.
後期	4	(知及技) 動詞の過去形の内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高2ア(ア)㉔) (思判表力) 季節や秋休みに関する簡単な語句や動詞の過去形の表現を用いて、自分のことを紹介する活動ができる。(高2ウ(ウ)㉔) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(高等部)	(知・技) 動詞の過去形を聞いて何を表しているか理解している。 (思・判・表) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分のことを説明しようとしている。 (主学) 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 5 秋休みのできごと	・ 動詞の過去形を用いて、秋休みのできごとを紹介する。 例) I went to beach with my family.

4	(知及技) 体調や症状を表す語句や表現について内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。(高2ア(ア)㉔) (思判表力) 体調や病状に関する簡単な語句や基本的な表現を用いて、状況に応じて選択したりして伝え合うことができる。(高2ウ(ウ)㉔) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(高等部)	(知・技) 体調や症状に関する語句や表現を聞いて何を表しているか理解している。 (思・判・表) 体調や病状に簡単な語句や基本的な表現を用い、適切な表現を選んで伝えようとしている。 (主学) 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 6 体調を伝えよう	・病気や体の状態を表す語句や体調を伝える表現を使って相手に伝える。 例) What's the matter? -I have a headache.
4	(知及技) 時節のカードで用いる語句や基本的な表現について、日本語との違いに気付くことができる。(高2ア(ア)㉔) (思判表力) グリーティングカードで季節の挨拶を伝えるために、基本的な英文レターの書き方に沿って書き写すことができる。(高2ウ①(エ)㉔) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(高等部)	(知・技) グリーティングカードで用いる語句や表現について、日本語との違いを理解している。 (思・判・表) グリーティングカードの基本的な英文レターの書き方に沿って書き写すことができる。 (主学) 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 6 季節の行事	・外国の季節の行事を通して、自国・自分の地域の文化との類似点や違いを知り、外国の文化・風習に対する理解を深める。
3	(知及技) 願望を表す基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。情報機器を活用して知りたい英単語を調べることができる。(高2ア(ア)㉔) (思判表力) 将来の夢ややりたいことに関する簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の夢を伝えることができる。(高2ウ(ウ)㉔) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(高等部)	(知・技) 願望を表す表現を聞いて何を表しているか理解している。情報機器を活用して英単語を調べようとしている。 (思・判・表) 将来の夢ややりたいことについて簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の将来の夢を説明しようとしている。 (主学) 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 私の夢	・新年の抱負や自分の将来の夢について考え、卒業後にやりたいことなどを表現する。 例) I want to drive a car. ・情報機器を活用して、知りたい英単語を調べて使う。
3	(知及技) 時節のカードで用いる語句や基本的な表現について、日本語との違いに気づくことができる。(高2ア(ア)㉔) (思判表力) グリーティングカードで感謝の気持ちを伝えるために、基本的な英文レターの書き方に沿って書き写すことができる。(高2ウ①(エ)㉔) (学・人) 簡単な英語表現を用いてコミュニケーションを図ることができる。(高2段階)	(知・技) グリーティングカードで用いる語句や表現について、日本語との違いを理解している。 (思・判・表) グリーティングカードの基本的な英文レターの書き方に沿って書き写すことができる。 (主学) 英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。	Lesson 9 ありがとう	・感謝の気持ちを表す英語表現を用いて、基本的な英文レターの書き方で簡単な英文の手紙を書く。
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和7年度 高等部2年（Ⅱ課程） 情報科 年間指導計画

単位数 ／ 配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	真和志分教室 2 学年		

目標：(知及技)知識及び技能	(思判表力)思考力、判断力、表現力等	(学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能	(思・判・表)思考・判断・表現	(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技) 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知ることができる。(高1段階) (思・判・表力) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養うことができる。(高1段階) (学・人) 身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。(高1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	10	(知・技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ることができる。(高1 A ア(ア)) (思・判・表力) 目的や状況に応じて、身近にある情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えることができる。(高1 A イ(ア)) (学・人) 身近にある情報技術を適切に活用する態度を身に付けることができる。	(知・技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ろうとしている。 (思・判・表) 目的や状況に応じて、身近にある情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えようとしている。 (主・学) 身近にある情報技術を適切に活用する態度を身に付けようとしている。 【評価資料】 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【情報社会の問題解決】 ・身近な情報機器について ・情報社会について	・身近な情報機器について知る。 ・教材 (PC、PC周辺機器、iPad等の情報端末) ・情報とメディア、情報モラル、個人情報、著作権等
後期	15	(知・技) 身近にある情報デザインから、表現する基礎的な技能を身に付けることができる。(高1 B ア(ア)) (思・判・表力) 身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えることができる。(高1 B イ(ア)) (学・人) 身近にある情報技術を適切に活用する態度を身に付けることができる。	(知・技) 身近にある情報デザインから、表現する基礎的な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考えようとしている。 (主・学) 身近にある情報技術を適切に活用する態度を身に付けようとしている。 【評価資料】 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【コミュニケーションと情報デザイン】 ・数値と文字のデジタル表現 ・画像や動画のデジタル表現 ・情報デザイン ・ユニバーサルデザイン	・マイクロソフト (ワード、エクセル、パワーポイント) の活用
	10	(知・技) 情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法を知ることができる。(高1 C ア(ア)) (思・判・表力) 情報通信ネットワークにおける基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について考えることができる。(高1 C イ(ア)) (学・人) 身近にある情報技術を適切に活用する態度を身に付けることができる。	(知・技) 情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法を知ろうとしている。 (思・判・表) 情報通信ネットワークにおける基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について考えようとしている。 (主・学) 身近にある情報技術を適切に活用する態度を身に付けようとしている。 【評価資料】 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【情報ネットワークとデータの活用】 ・プログラミング学習 ・ネットリテラシー	・プログラミングソフトの活用 ・インターネットを使用する上での注意点について
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 高等部3年（Ⅱ課程） 情報科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	真和志分教室3学年		

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解することができる。（高2段階） （思・判・表）身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を効果的に活用する力を養うことができる。（高2段階） （学・人）身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養うことができる。（高2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	10	（知・技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知り、問題を解決する方法を身に付けることができる。（高2 Aア（ア）） （思・判・表）目的や状況に応じて、身近にある情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考え、選択することができる。（高2 Aイ（ア）） （学・人）身近にある情報技術を適切に活用する態度を身に付けることができる。	（知・技）身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知り、問題を解決する方法を身に付けている。 （思・判・表）目的や状況に応じて、身近にある情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考え適切に選択しようとしている。 （主・学）身近にある情報技術を適切に活用する態度を身に付けようとしている。 【評価資料】 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【情報社会の問題解決】 ・身近な情報機器について ・情報社会について	・身近な情報機器について知る。 ・教材（PC、PC周辺機器、iPad等の情報端末） ・情報とメディア、情報モラル、個人情報、著作権等
	15	（知・技）身近にある情報デザインから、表現する基礎的な技能を身に付けることができる。（高2 Bア（ア）） （思・判・表）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考え、選択することができる。（高2 Bイ（ア）） （学・人）身近にある情報技術を適切に活用する態度を身に付けることができる。	（知・技）身近にある情報デザインから、表現する基礎的な技能を身に付けようとしている。 （思・判・表）身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考え、適切に選択しようとしている。 （主・学）身近にある情報技術を適切に活用する態度を身に付けようとしている。 【評価資料】 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【コミュニケーションと情報デザイン】 ・数値と文字のデジタル表現 ・画像や動画のデジタル表現 ・情報デザイン ・ユニバーサルデザイン	・マイクロソフト（ワード、エクセル、パワーポイント）の活用
後期	10	（知・技）目的や状況に応じて、情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法を知ることができる。（高2 Cア（ア）） （思・判・表）目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について考えることができる。（高2 Cイ（ア）） （学・人）身近にある情報技術を適切に活用する態度を身に付けることができる。	（知・技）目的や状況に応じて、情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法を知ろうとしている。 （思・判・表）目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について考えようとしている。 （主・学）身近にある情報技術を適切に活用する態度を身に付けようとしている。 【評価資料】 ・単元テスト ・活動の様子や課題への取り組みを評価する。	【情報ネットワークとデータの活用】 ・プログラミング学習 ・ネットリテラシー	・プログラミングソフトの活用 ・インターネットを使用する上での注意点について
留意点 引継ぎ等					

令和7年度 高等部 特別の教科 道徳 年間指導計画			
教科/科目	特別の教科 道徳	単位数	1 単位
学部 学年 組 氏名	真和志分教室 1 学年 2 学年 3 学年	担当者	

中心目標
【中心目標】 ◎身の回りの生活や人との関わりにおける道徳的諸価値について理解し、自分の生活や周りの人とよりよく関わり生活するための道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育む。 （学期目標例） ○基本的な生活習慣の意義や大切さを理解し、進んで望ましい生活習慣を身に付けようとする意欲をもつ。 ○よいこととよくないことを判断し、してはならないことをしないことや、社会生活上のきまりを守ろうとする意識をもつ。 ○命の大切さに気付き、自然や美しいものに感動する心をもつ。

★幼小学部重点内容項目 ☆中学部重点内容項目 ◎高等部重点内容項目

学期	時数	『主題名』 【指導内容項目】 ★☆☆重点内容項目	指導目標	指導方法 支援の手立て	・教材 ●評価
	5	『自分のことについて』 ◎A【向上心、個性の伸長】 『休みの過ごし方について』 ◎A【節度、節制】 『自立した生活について』 ◎A【節度、節制】	・自分のことについて自分の気持ちや考えを言葉で表現し、他者と共有することができる。 ・自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度ある生活をしようとする態度を養う。 ・お金の計画的な使い方や生活習慣の大切さについて理解し、これからの生活に生かそうとする態度を養う。	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話	・教科書・書籍等 ・自作教材 ・その他 ●授業観察 ●ワークシート ●表情・発言
	3	『挨拶、丁寧な言葉遣い、お願いの仕方』 ◎B【礼儀】	・気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、実践しようとする態度を養う。	1 インタビュー 2 資料提示 3 発問 4 話し合い 5 書く活動 6 表現活動 7 板書 8 説話	・教科書・書籍等 ・自作教材 ・その他 ●授業観察 ●ワークシート ●表情・発言
	3	『友達や異性との付き合い方（性教育）』 ◎B【友情、信頼】	・友達と互いに信頼し、助け合おうとする態度を養う。 ・異性の特性や違いを受け止め、相手を理解しながら、人間関係を築いていく態度を養う。	1 交流及び共同学習 2 資料提示 3 発問 4 話し合い 5 書く活動 6 表現活動 7 板書 8 説話	・教科書・書籍等 ・自作教材 ・その他 ●授業観察 ●ワークシート ●表情・発言
	3	『話し合いによって問題を解決する』 ◎B【相互理解、寛容】	・自分の考えや意見を相手に伝えるときに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にする態度を養う。	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話	・教科書・書籍等 ・自作教材 ・その他 ●授業観察 ●ワークシート ●表情・発言

	3	『世界に心を向けよう』 ◎C【公正、公平、社会正義】 『人権について』 ◎C【公正、公平、社会正義】	・世界の国々の人との交流学习を通して、異文化について知り、視野を広げる。 ・誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接しようとする態度を養う。	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話	・教科書・書籍等 ・自作教材 ・その他 ●授業観察 ●ワークシート ●表情・発言
	4	『職業や働くことについて考える』 ◎C【勤労】【社会参画、公共の精神】	・働くことの意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献する態度を養う。	1 資料提示 2 校外学習 3 発問 4 話し合い 5 書く活動 6 表現活動 7 板書 8 説話	・校外学習 ・自作教材 ・その他 ●授業観察 ●ワークシート ●表情・発言
	5	『よりよい学校生活について（環境美化活動）』 ◎C【よりよい学校生活、集団生活の充実】	・学校や学級の一員としての自覚を持ち、協力し合ってよりよい校風を作るとともに、様々な集団の意義や集団生活の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努める態度を養う。	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話	・教科書・書籍等 ・自作教材 ・その他 ●授業観察 ●ワークシート ●表情・発言
	4	『先人から受け継がれてきた郷土の自然と暮らしについて』 ◎C【郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】	・我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもとうとする態度を養う。	1 資料提示 2 校外学習 3 発問 4 話し合い 5 書く活動 6 表現活動 7 板書 8 説話	・校外学習 ・自作教材 ・その他 ●授業観察 ●ワークシート ●表情・発言
	5	『平和について』 『命の誕生について』 ◎D【生命の尊さ】 『自然と私たち』 ◎【自然愛護】【感動、畏敬の念】	・生命の尊さを知り、生命あるものを大切にしようとする態度を養う。 ・日常生活における自然の存在や恩恵を認識し、感謝の気持ちを持つとともに、自然現象などを通じて、自然の偉大さを感じ取る感性を高める。	1 資料提示 2 発問 3 話し合い 4 書く活動 5 表現活動 6 板書 7 説話 1 資料提示 2 校外学習 3 発問 4 話し合い 5 書く活動 6 表現活動 7 板書 8 説話	・教科書・書籍等 ・自作教材 ・その他 ●授業観察 ●ワークシート ●表情・発言 ・教科書・書籍等 ・校外学習 ・その他 ●授業観察 ●ワークシート ●表情・発言
計	35				

令和7年度 高等部1年（Ⅱ課程）総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	真和志分教室1学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解することができる。 (思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 (学・人) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	17	(知及技) これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだすことができる。 (思判表力) 自分の課題を見だし、その解決に向けて、目標を考え、発表することができる。 (学・人) 自分のことについての学習に、主体的に取り組むことができる。	(知・技) 教師と一緒にこれまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだそうとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に自分の課題について考え、その解決に向けて、目標を決めて発表しようとしている。 (主学) 自分のことについての学習に、主体的に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・キャリアパスポートを通して前期の目標を立てよう ・コラージュ制作・鑑賞	・これまでの自分や生活について振り返り、課題を見つけ、その解決に向けた目標を考える。 ・わたしを表す色・かたちの制作・鑑賞。
		(知及技) 社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを身に付けることができる。 (思判表力) 社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じた服装や適切な言葉遣いができる。 (学・人) 主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	(知・技) 社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを身に付けようとしている。 (思・判・表) 社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じた服装や適切な言葉遣いをしようとしている。 (主学) 主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・ルールについて ・社会人としてのマナー(ちゅらマナー週間) ・前期就業体験実習事前事後学習	・学校でのルールについて学ぶ。 ・社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだす。 ・社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装を考える。
		(知及技) 学ぶことや働くことの意義について知り、社会生活に必要な力を身に付けることができる。 (思判表力) 何をすべきか、どのようにすべきかなどを考えながら職業体験に取り組むことができる。 (学・人) 主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	(知・技) 学ぶことや働くことの意義について知り、社会生活に必要な力を身に付けようとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に、何をすべきか、どのようにすべきかなどを考えながら職業体験に取り組もうとしている。 (主学) 主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・職業体験授業	・働くことの意義について学ぶ。 ・働く上で必要な力について学ぶ。 ・様々な仕事があることを知る。
		(知及技) 自分の将来や生き方について考え、よりよい生き方に気付くことができる。 (思判表力) 自分の課題を見つめ、これからの生活について考えたことを、自信を持って伝えることができる。 (主学) 学習して獲得したことを実生活、実社会に生かそうとすることができる。	(知・技) 自分の将来や生き方について考え、よりよい生き方に気付いている。 (思・判・表) 自分の課題を見つめ、これからの生活について考えたことを、自信を持って伝える。 (主学) 学習して獲得したことを実生活、実社会に生かそうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・Mission for Fun 準備・実践・発表	・これまでの自分の生活について振り返り、自分の将来や生き方について考え、課題の解決に向けて、自らやるべきことを見いだす。
後期		(知及技) これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだすことができる。 (思判表力) 自分の課題を見だし、その解決に向けて、目標を考え、発表することができる。 (学・人) 自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解することができる。	(知・技) 教師と一緒にこれまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだそうとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に自分の課題を見だし、その解決に向けて、目標を決めて発表している。 (主学) 自分についての学習に主体的に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解しようとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・後期の目標を考えよう ・感情と親しむ ・感情と付き合う ・ものごとの背景を考えよう	・後期の目標を考え、発表する。 ・これまでの自分や生活について振り返り、自分の感情を見つめる ・自分の感情について考える ・質問を見ながらものごとの背景について考える。

18	(知及技) 社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 社会人としてふさわしい服装や言葉遣いを考え、場面に応じた服装や適切な言葉遣いができる。 (学・人) 主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	(知・技) 社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだそうとしている。 (思・判・表) 社会人としてふさわしい服装や言葉遣いを考え、場面に応じた服装や適切な言葉遣いをしようとしている。 (主学) 主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・社会人としてのマナー (ちゅうらマナー週間) ・後期就業体験実習事前事後学習 ・職業を知る ・マナー講座	・社会人としてのマナーについて学ぶ。 ・社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考える。
	(知及技) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知り、実践することができる。 (思判表力) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫することができる。 (学・人) 奉仕活動を通して、社会の一員として行動することができる。	(知及技) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知り、実践しようとしている。 (思判表力) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫しようとしている。 (主学) 奉仕活動を通して、社会の一員として取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・環境学習	・みんなで校内外の清掃活動を行う。
	(知及技) 真和志フェスの意義や価値を知り、周りと協力する力を身に付けることができる。 (思判表力) 真和志フェスについて自分の意見や考えをまとめて、それを表現することができる。 (学・人) 主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	(知・技) 真和志フェスの意義や価値を知り、周りと協力する力を身に付けようとしている。 (思・判・表) 真和志フェスについて、教師と一緒に自分の意見や考えをまとめて、それを表現しようとしている。 (主学) 主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・真和志フェス事前、事後学習	・真和志フェスについての意義について知る。 ・真和志フェスで何をするか皆で考える。 ・皆で準備をする。 ・真和志フェスでの取り組みを振り返り感想を記入する。
	(知及技) 学ぶことや働くことの意義、人との付き合い方の大切さについて知り、社会生活に必要なスキルを身に付けることができる。 (思判表力) 自分がどのような行動をしたらよいか場面ごとに考え、実践することができる。 (学・人) 主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	(知・技) 学ぶことや働くことの意義、人との付き合い方の大切さについて知り、社会生活に必要なスキルを身に付けようとしている。 (思・判・表) 自分がどのような行動をしたらよいか場面ごとに考え、実践しようとしている。 (主学) 主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・働くことと職場の人との付き合い方 *前期就業体験実習 *後期就業体験実習 ・職業を知る	・就業体験実習を行い、働くために必要なことを学ぶ。 ・職業の業種を知る。
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和7年度 高等部2年（Ⅱ課程Aグループ）総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	真和志分教室2学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解することができる。 (思判表力) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 (学・人) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	17	(知及技) これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだすことができる。 (思判表力) 自分の課題を見だし、その解決に向けて、目標を考え、発表することができる。 (学・人) 自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解することができる。	(知・技) これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだしている。 (思・判・表) 自分の課題を見だし、その解決に向けて、目標を考え、発表している。 (主学) 自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解している。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・1年間の目標を立てよう ・前期の目標を立てよう	・これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだす。 ・前期の目標を考え、発表する。
		(知及技) 自分の将来や生き方について考え、よりよい生き方に気付くことができる。 (思判表力) 自分の課題を見つめ、これからの生活について考えたことを、自信を持って伝えることができる。 (学・人) 学習して獲得したことを実生活、実社会に生かそうとすることができる。	(知・技) 自分の将来や生き方について考え、よりよい生き方に気付いている。 (思・判・表) 自分の課題を見つめ、これからの生活について考えたことを、自信を持って伝えている。 (主学) 学習して獲得したことを実生活、実社会に生かそうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・Mission for Fun 準備・実践・発表	・これまでの自分や生活について振り返り、自分の将来や生き方について考え、課題の解決に向けて、自らやるべきことを見いだす。
		(知及技) 社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装ができる。 (学・人) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだしている。 (思・判・表) 社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装をしている。 (主学) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・社会人としてのマナー (ちゅうらマナー週間) ・前期就業体験実習事前事後学習	・社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだす。 ・社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装を考える。
後期		(知及技) これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだすことができる。 (思判表力) 自分の課題を見だし、その解決に向けて、目標を考え、発表することができる。 (学・人) 自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解することができる。	(知・技) これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだしている。 (思・判・表) 自分の課題を見だし、その解決に向けて、目標を考え、発表している。 (主学) 自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解している。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・自分について考えよう ・後期の目標を考えよう	・これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだす。 ・後期の目標を考え、発表する。
		(知及技) 社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすことができる。 (思判表力) 社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装ができる。 (学・人) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	(知・技) 社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだしている。 (思・判・表) 社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装をしている。 (主学) 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・社会人としてのマナー (ちゅうらマナー週間) ・後期就業体験実習事前事後学習 ・マナー講座	・社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだす。 ・社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装を考える。

18	(知及技) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知り、実践しようとするができる。 (思判表力) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫することができる。 (学・人) 奉仕活動を通して、社会の一員としての姿について行動することができる。	(知・技) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知り、実践しようとしている。 (思・判・表) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫しようとしている。 (主学) 奉仕活動を通して、社会の一員としての取り組みもうとする態度を養う。 【評価資料】学習の様子で評価する。	環境学習	・身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知り、実践する。 ・身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫する。
	(知及技) 真和志フェスティバルの意義や価値を知り、周りと協力する力を身に付けることができる。 (思判表力) 真和志フェスティバルについて自分の意見や考えをまとめて、それを表現することができる。 (学・人) 主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	(知・技) 真和志フェスティバルの意義や価値を知り、周りと協力する力を身に付けようとしている。 (思・判・表) 真和志フェスティバルについて、教師と一緒に自分の意見や考えをまとめて、それを表現しようとしている。 (主学) 主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・真和志フェスティバル事前、事後学習	・真和志フェスティバルについての意義について知る。 ・真和志フェスティバルで何をするか皆で考える。 ・皆で準備をする。 ・真和志フェスティバルでの取り組みを振り返り感想を記入する。
	(知及技) 学ぶことや働くことの意義、人との付き合い方の大切さについて知り、社会生活に必要なスキルを身に付けることができる。 (思判表力) 自分がどのような行動をしたらよい場面ごとに考え、実践することができる。 (学・人) 主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	(知・技) 学ぶことや働くことの意義、人との付き合い方の大切さについて知り、社会生活に必要なスキルを身に付けようとしている。 (思・判・表) 自分がどのような行動をしたらよい場面ごとに考え、実践しようとしている。 (主学) 主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	・学ぶことや働くことと人との付き合い方 *前期就業体験実習 *後期就業体験実習	・就業体験実習を行い、社会生活に必要なスキルの習得を図る。
留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

令和7年度 高等部3年（Ⅱ課程）総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	真和志分教室3学年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 （思判表力） 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 （学・人） 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	17	（知及技） これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだすことができる。 （思判表力） 自分の課題を見だし、その解決に向けて、目標を考え、発表することができる。 （学・人） 自分のことについての学習に、主体的に取り組むことができる。	（知・技） 教師と一緒にこれまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだそうとしている。 （思・判・表） 教師と一緒に自分の課題について考え、その解決に向けて、目標を決めて発表しようとしている。 （主学） 自分のことについての学習に、主体的に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	【生徒の興味・関心に基づく課題】 ・前期の目標を立てよう ・個人撮影	・これまでの自分や生活について振り返り、課題を見つけ、その解決に向けた目標を考える。
		（知及技） 社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすことができる。 （思判表力） 社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装ができる。 （学・人） 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	（知・技） 社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだしている。 （思・判・表） 社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装をしている。 （主学） 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	【職業や自己の進路に関する課題】 ・社会人としてのマナー（ちゅうらマナー週間） ・前期就業体験実習事前事後学習 ・スーツ着こなし講座 ・マナー講座	・社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだす。 ・社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装を考える。
		（知及技） 学ぶことや働くことの意義について知り、社会生活に必要な力を身に付けることができる。 （思判表力） 何をすべきか、どのようにすべきかなどを考えながら進路学習に取り組むことができる。 （主学） 主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	（知・技） 学ぶことや働くことの意義について知り、社会生活に必要な力を身に付けようとしている。 （思・判・表） 教師と一緒に、何をすべきか、どのようにすべきかなどを考えながら進路学習に取り組もうとしている。 （主学） 主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	【職業や自己の進路に関する課題】 ・進路別集会 ・進路学習 ・進学フェスタ ・出願・応募書類準備	・学ぶことや働くことの意義について学ぶ。 ・社会生活で必要な力について学ぶ。 ・様々な進路があることを知る。
後期		（知及技） これまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだすことができる。 （思判表力） 自分の課題を見だし、その解決に向けて、目標を考え、発表することができる。 （学・人） 自分についての学習に主体的に学習に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解することができる。	（知・技） 教師と一緒にこれまでの自分や生活について振り返り、課題の解決に向けて、やるべきことを見いだそうとしている。 （思・判・表） 教師と一緒に自分の課題を見だし、その解決に向けて、目標を決めて発表しようとしている。 （主学） 自分についての学習に主体的に取り組むとともに、クラスメイトのよさを理解しようとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	【生徒の興味・関心に基づく課題】 ・後期の目標を考えよう	・後期の目標を考え、発表する。 ・これまでの自分や生活について振り返り、自分のことについて考える。 ・将来なりたい自分について考える。
		（知及技） 社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだすことができる。 （思判表力） 社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装ができる。 （学・人） 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごすことができる。	（知・技） 社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだそうとしている。 （思・判・表） 社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装をしている。 （主学） 就業体験を意識しながら、適切な言葉遣いや服装を心がけ、日常生活を過ごしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	【職業や自己の進路に関する課題】 ・社会人としてのマナー（ちゅうらマナー週間） ・後期就業体験実習事前事後学習	・社会人としてのマナーを知り、自分に必要なスキルを見いだす。 ・社会人としてふさわしい言葉遣いや服装を考え、場面に応じて適切な言葉遣いや服装を考える。

18	(知及技) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知り、実践することができる。 (思判表力) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫することができる。 (学・人) 奉仕活動を通して、社会の一員として行動することができる。	(知及技) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて知り、実践しようとしている。 (思判表力) 身近な生活の中で、環境に配慮した物の使い方などについて考え、工夫しようとしている。 (主学) 奉仕活動を通して、社会の一員として取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	【横断的・総合的な課題】 ・環境学習（地域奉仕、ワックス作業等）	・みんなで校内外の清掃活動を行う。
	(知及技) 真和志フェスティバルの意義や価値を知り、周りと協力する力を身に付けることができる。 (思判表力) 真和志フェスティバルについて自分の意見や考えをまとめて、それを表現することができる。 (学・人) 主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	(知・技) 真和志フェスティバルの意義や価値を知り、周りと協力する力を身に付けようとしている。 (思判表力) 真和志フェスティバルについて、教師と一緒に自分の意見や考えをまとめて、それを表現しようとしている。 (主学) 主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	【地域や学校の特色に応じた課題】 ・真和志フェスティバルの取り組み	・真和志フェスティバルについての意義について知る。 ・真和志フェスティバルで何をするか皆で考える。 ・皆で準備をする。 ・真和志フェスティバルでの取り組みを振り返り感想を記入する。
	(知及技) 学ぶことや働くことの意義、人との付き合い方の大切さについて知り、社会生活に必要なスキルを身に付けることができる。 (思判表力) 自分がどのような行動をしたらよいか場面ごとに考え、実践することができる。 (学・人) 主体的・協働的に学習に取り組むことができる。	(知・技) 学ぶことや働くことの意義、人との付き合い方の大切さについて知り、社会生活に必要なスキルを身に付けようとしている。 (思判表力) 自分がどのような行動をしたらよいか場面ごとに考え、実践しようとしている。 (主学) 主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。 【評価資料】学習の様子で評価する。	【職業や自己の進路に関する課題】 ・学ぶことと働くことと人との付き合い方 *前期就業体験実習 *後期就業体験実習 ・進路に向けて ・卒業式に向けての取り組み	・就業体験実習を行い、社会生活に必要なことを学ぶ。 ・進路について考える。 ・卒業式の練習に取り組む。
留意点 引継ぎ等		年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。		

令和7年度 高等部1年（Ⅱ課程）特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	真和志分教室1学年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けることができる。 （思判表力） 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 （学・人） 主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	16	【ホームルーム活動】 （知及技） 基本的な生活習慣、学校生活のきまり、社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、実践する力を身に付けることができる。 （思判表力） 多様な場面で自分と異なる考えや他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働して取り組むことができる。 （学・人） 学級や学年の一員として、助け合ったり協力し合ったりし、新たな環境のもとで人間関係を築こうとする態度を養うことができる。	【ホームルーム活動】 （知・技） 基本的な生活習慣、学校生活のきまり、社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、教師の支援を受けながら実践する力を身に付けようとしている。 （思・判・表） 多様な場面で自分と異なる考えや他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働して取り組もうとしている。 （主学） 学級や学年の一員として、助け合ったり協力し合ったりし、新たな環境のもとで人間関係を築こうとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	・学級開き ・前期HR役員決め ・学級目標や係決め ・校外学習計画について ・キャリアパスポート	・連携学級の担任や級友を知る。 ・HR役員決めに参加する。 ・学級目標や係決めに参加する。 ・校外学習の計画を確認する。 ・自己紹介を考え記入をする。 ・前期の振り返りをする。
		【生徒会活動】 （知及技） 異年齢の生徒同士で協力し、交流することができる。 （思判表力） 交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。 （学・人） 生徒会の取り組みに、自主的・実践的に参加することができる。	【生徒会活動】 （知・技） 異年齢の生徒同士で協力し、交流しようとしている。 （思・判・表） 交流を通して、よりよい人間関係を形成しようとしている。 （主学） 生徒会の取り組みに、自主的・実践的に参加しようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	・HR役員認証式、対面式、部紹介 ・生徒総会 ・生徒会会長選挙	・各学級のHR役員を知る。 ・同学年や先輩方と顔を合わせる。 ・各部活動の紹介を聞き、部活動の様子を知る。 ・生徒会役員紹介や活動内容を知る。 ・生徒会会長への立候補者の演説を聞き、ふさわしいと思う一人を選択する。
		【学校行事（儀式的行事）】 （知及技） 儀式的行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができる。 （思判表力） 学校生活の節目の場においてこれまでの生活を振り返ったり、これからの学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができる。 （学・人） 儀式的行事を通して、新たな生活への希望や意欲につなげることができる。	【学校行事（儀式的行事）】 （知・技） 儀式的行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けようとしている。 （思・判・表） 学校生活の節目の場においてこれまでの生活を振り返ったり、これからの学校生活を見通したりしながら、教師の支援を受けながら場面にふさわしい行動をしようとしている。 （主学） 儀式的行事を通して、新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	・入学式、前期終業式 ・夏季休業前全体集会	・厳粛な場におけるマナー等の規律のある行動の仕方について学ぶ。 ・儀式的行事にふさわしい服装・身なりの実施。 ・夏休みの正しい過ごし方について確認をする。
		【学校行事（儀式的行事）】 （知及技） 儀式的行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができる。 （思判表力） 学校生活の節目の場においてこれまでの生活を振り返ったり、これからの学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができる。 （学・人） 儀式的行事を通して、新たな生活への希望や意欲につなげることができる。	【学校行事（儀式的行事）】 （知・技） 儀式的行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けようとしている。 （思・判・表） 学校生活の節目の場においてこれまでの生活を振り返ったり、これからの学校生活を見通したりしながら、教師の支援を受けながら場面にふさわしい行動をしようとしている。 （主学） 儀式的行事を通して、新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	・後期始業式・修了式 ・卒業式 ・冬季休業前全体集会	・厳粛な場におけるマナー等の規律のある行動の仕方について学ぶ。 ・儀式的行事にふさわしい服装・身なりの実施。 ・冬休みの正しい過ごし方について確認をする。

後期	19	【ホームルーム活動】 (知・技) 基本的な生活習慣、学校生活のきまり、社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、実践する力を身に付けることができる。 (思・判・表力) 多様な場面で自分と異なる考えや他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働して取り組むことができる。 (学・人) 学級や学年の一員として、助け合ったり協力し合ったりし、新たな環境のもとで人間関係を築こうとする態度を養うことができる。	【ホームルーム活動】 (知・技) 基本的な生活習慣、学校生活のきまり、社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、教師の支援を受けながら実践する力を身に付けようとしている。 (思・判・表) 多様な場面で自分と異なる考えや他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働して取り組もうとしている。 (主・学) 学級や学年の一員として、助け合ったり協力し合ったりし、新たな環境のもとで人間関係を築こうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・真和志フェスティバルの取り組み ・キャリアパスポート	・真和志フェスティバルに向けての話し合いに参加する。 ・後期に頑張りたいことの目標を立てる。 ・1年間の振り返りをする。
		【学校行事（文化的・集团的行事）】 (知・技) 文化的・集团的行事の意義を理解し、他の生徒と協力して日頃の活動の成果を発表したり、美しいものや優れたものを創り出し、自ら発表し合ったり芸術的なものや伝統文化を鑑賞したりする活動に必要な知識や技能を身に付けることができる。 (思・判・表力) 周りと協力してよいよいものをつくり出し、互いに発表し合うことにより、自他の個性を認め、互いに高め合うことができる。 (学・人) 文化的・集团的行事を通して、自己の成長を振り返り、自己のよさを伸ばそうとする意欲につなげることができる。	【学校行事（文化的・集团的行事）】 (知・技) 文化的・集团的行事の意義を理解し、教師の支援を受けながら、他の生徒と協力して日頃の活動の成果を発表したり、美しいものや優れたものを創り出し、自ら発表し合ったり芸術的なものや伝統文化を鑑賞したりする活動に必要な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 教師の支援を受けながら、周りと協力してよいよいものをつくり出し、互いに発表し合うことにより、自他の個性を認め、互いに高め合おうとしている。 (主・学) 文化的・集团的行事を通して、自己の成長を振り返り、自己のよさを伸ばそうとする意欲につなげようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・真和志フェスティバル ・予餞会	・舞台発表をする。 ・他のクラスの発表を観たり出店を見たりする。 ・舞台での演舞を観る。
		【学校行事（健康安全・体育的行事）】 (知・技) 体育的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身に付けることができる。 (思・判・表力) 自己の生活を振り返り、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動することができる。 (学・人) 運動に親しみ、体力の向上に積極的に取り組もうとする態度を養うことができる。	【学校行事（健康安全・体育的行事）】 (知・技) 体育的な集団活動の意義を理解し、教師の支援を受けながら、規律ある集団行動の仕方などを身に付けようとしている。 (思・判・表) 自己の生活を振り返り、教師の支援を受けながら、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動しようとしている。 (主・学) 運動に親しみ、体力の向上に積極的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・スポレク	・スポーツレク大会に参加する。 ・連携学級の応援をする。
		【学校行事（勤労生産・奉仕的行事）】 (知・技) 勤労の意義と尊さ、社会的・職業的な自立について理解し、ボランティア活動などの体験活動の仕方について必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思・判・表力) 勤労生産や奉仕に関して集団や社会に必要なことを見だし、自分のできることを判断し、多様な他者とともに考え、協働して実践することができる。 (学・人) 勤労生産や奉仕に関わる活動に積極的に取り組み、人間としての在り方生き方に関する自覚を深めたり、勤労観や職業観を醸成したりして、社会に貢献しようとする態度を養うことができる。	【学校行事（勤労生産・奉仕的行事）】 (知・技) 教師の支援を受けながら、勤労の意義と尊さ、社会的・職業的な自立について理解し、ボランティア活動などの体験活動の仕方について必要な知識及び技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 勤労生産や奉仕に関して集団や社会に必要なことを見だし、教師の支援を受けながら、自分のできることを判断し、多様な他者とともに考え、協働して実践しようとしている。 (主・学) 勤労生産や奉仕に関わる活動に積極的に取り組み、教師の支援を受けながら、人間としての在り方生き方に関する自覚を深めたり、勤労観や職業観を醸成したりして、社会に貢献しようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・環境について考える	・連携学級と一緒に、校内の草取りやゴミ捨てなどの環境美化に努める。
		留意点 引継ぎ等	・年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。		

令和7年度 高等部2年（Ⅱ課程）特別活動 年間指導計画

単位数 ／ 配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	真和志分教室2学年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学・人) 主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	16	【ホームルーム活動】 (知及技) 基本的な生活習慣、学校生活のきまり、社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、実践する力を身に付けることができる。 (思判表力) 多様な場面で自分と異なる考えや他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働して取り組むことができる。 (学・人) 学級や学年の一員として、助け合ったり協力し合ったりし、新たな環境のもとで人間関係を築こうとする態度を養うことができる。	【ホームルーム活動】 (知・技) 基本的な生活習慣、学校生活のきまり、社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、教師の支援を受けながら実践する力を身に付けようとしている。 (思・判・表) 多様な場面で自分と異なる考えや他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働して取り組もうとしている。 (主学) 学級や学年の一員として、助け合ったり協力し合ったりし、新たな環境のもとで人間関係を築こうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・学級開き ・前期HR役員決め ・学級目標や係決め ・校外学習計画について ・キャリアパスポート	・連携学級の担任や級友を知る。 ・HR役員決めに参加する。 ・学級目標や係決めに参加する。 ・校外学習の計画を確認する。 ・自己紹介を考え記入をする。 ・前期の振り返りをする。
		【生徒会活動】 (知及技) 異年齢の生徒同士で協力し、交流することができる。 (思判表力) 交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。 (学・人) 生徒会の取り組みに、自主的・実践的に参加することができる。	【生徒会活動】 (知・技) 異年齢の生徒同士で協力し、交流しようとしている。 (思・判・表) 交流を通して、よりよい人間関係を形成しようとしている。 (主学) 生徒会の取り組みに、自主的・実践的に参加しようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・HR役員認証式、対面式、部紹介 ・生徒総会	・各学級のHR役員を知る。 ・同学年や先輩方と顔を合わせる。 ・各部活動の紹介を聞き、部活動の様子を知る。 ・生徒会役員紹介や活動内容を知る。
		【生徒会活動】 (知及技) 生徒会役員選挙の意義について理解し、選挙公約を聞くことができる。 (思判表力) 選挙公約等を聞き、立候補者の中から自分で選び、投票することができる。 (学・人) 積極的に学校生活の充実と向上に向けて、生徒会役員選挙に取り組む態度を養うことができる。	【生徒会活動】 (知・技) 教師の支援を受けながら、生徒会役員選挙の意義について理解し、選挙公約を聞くことができる。 (思・判・表) 選挙公約等を聞き、立候補者の中から自分で選び、投票しようとしている。 (主学) 積極的に学校生活の充実と向上に向けて、生徒会役員選挙に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・生徒会役員選挙	・生徒会役員選挙の演説を聞き、投票をする。
		【学校行事（儀式的行事）】 (知及技) 儀式的行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができる。 (思判表力) 学校生活の節目の場においてこれまでの生活を振り返ったり、これからの学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができる。 (学・人) 儀式的行事を通して、新たな生活への希望や意欲につなげることができる。	【学校行事（儀式的行事）】 (知・技) 儀式的行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けようとしている。 (思・判・表) 学校生活の節目の場においてこれまでの生活を振り返ったり、これからの学校生活を見通したりしながら、教師の支援を受けながら場面にふさわしい行動をしようとしている。 (主学) 儀式的行事を通して、新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・後期始業式・修了式 ・冬季休業前全体集会	・厳粛な場におけるマナー等の規律のある行動の仕方について学ぶ。 ・儀式的行事にふさわしい服装・身なりの実施。 ・冬休みの正しい過ごし方について確認をする。

後期	19	【ホームルーム活動】 (知・技) 基本的な生活習慣、学校生活のきまり、社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、実践する力を身に付けることができる。 (思・判・表力) 多様な場面で自分と異なる考えや他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働して取り組むことができる。 (学・人) 学級や学年の一員として、助け合ったり協力し合ったりし、新たな環境のもとで人間関係を築こうとする態度を養うことができる。	【ホームルーム活動】 (知・技) 基本的な生活習慣、学校生活のきまり、社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、教師の支援を受けながら実践する力を身に付けようとしている。 (思・判・表) 多様な場面で自分と異なる考えや他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働して取り組もうとしている。 (主・学) 学級や学年の一員として、助け合ったり協力し合ったりし、新たな環境のもとで人間関係を築こうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・真和志フェスティバルの取り組み ・キャリアパスポート	・真和志フェスティバルに向けての話し合いに参加する。 ・後期に頑張りたいことの目標を立てる。 ・1年間の振り返りをする。
		【学校行事（文化的・集团的行事）】 (知・技) 文化的・集团的行事の意義を理解し、他の生徒と協力して日頃の活動の成果を発表したり、美しいものや優れたものを創り出し、自ら発表し合ったり芸術的なものや伝統文化を鑑賞したりする活動に必要な知識や技能を身に付けることができる。 (思・判・表力) 周りと協力してよいよいものをつくり出し、互いに発表し合うことにより、自他の個性を認め、互いに高め合うことができる。 (学・人) 文化的・集团的行事を通して、自己の成長を振り返り、自己のよさを伸ばそうとする意欲につなげることができる。	【学校行事（文化的・集团的行事）】 (知・技) 文化的・集团的行事の意義を理解し、教師の支援を受けながら、他の生徒と協力して日頃の活動の成果を発表したり、美しいものや優れたものを創り出し、自ら発表し合ったり芸術的なものや伝統文化を鑑賞したりする活動に必要な知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 教師の支援を受けながら、周りと協力してよいよいものをつくり出し、互いに発表し合うことにより、自他の個性を認め、互いに高め合おうとしている。 (主・学) 文化的・集团的行事を通して、自己の成長を振り返り、自己のよさを伸ばそうとする意欲につなげようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・真和志フェスティバル ・予餞会	・展示発表をする。 ・他のクラスの発表を観たり出店を見たりする。 ・舞台での演舞を観る。
		【学校行事（健康安全・体育的行事）】 (知・技) 体育的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身に付けることができる。 (思・判・表力) 自己の生活を振り返り、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動することができる。 (学・人) 運動に親しみ、体力の向上に積極的に取り組もうとする態度を養うことができる。	【学校行事（健康安全・体育的行事）】 (知・技) 体育的な集団活動の意義を理解し、教師の支援を受けながら、規律ある集団行動の仕方などを身に付けようとしている。 (思・判・表) 自己の生活を振り返り、教師の支援を受けながら、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動しようとしている。 (主・学) 運動に親しみ、体力の向上に積極的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・スポレク	・スポーツレク大会に参加する。 ・連携学級の応援をする。
		【学校行事（勤労生産・奉仕的行事）】 (知・技) 勤労の意義と尊さ、社会的・職業的な自立について理解し、ボランティア活動などの体験活動の仕方について必要な知識及び技能を身に付けることができる。 (思・判・表力) 勤労生産や奉仕に関して集団や社会に必要なことを見だし、自分のできることを判断し、多様な他者とともに考え、協働して実践することができる。 (学・人) 勤労生産や奉仕に関わる活動に積極的に取り組み、人間としての在り方生き方に関する自覚を深めたり、勤労観や職業観を醸成したりして、社会に貢献しようとする態度を養うことができる。	【学校行事（勤労生産・奉仕的行事）】 (知・技) 教師の支援を受けながら、勤労の意義と尊さ、社会的・職業的な自立について理解し、ボランティア活動などの体験活動の仕方について必要な知識及び技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 勤労生産や奉仕に関して集団や社会に必要なことを見だし、教師の支援を受けながら、自分のできることを判断し、多様な他者とともに考え、協働して実践しようとしている。 (主・学) 勤労生産や奉仕に関わる活動に積極的に取り組み、教師の支援を受けながら、人間としての在り方生き方に関する自覚を深めたり、勤労観や職業観を醸成したりして、社会に貢献しようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・環境について考える	・連携学級と一緒に、校内の草取りやゴミ捨てなどの環境美化に努める。
		留意点 引継ぎ等	年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。		

令和7年度 高等部3年（Ⅱ課程）特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	真和志分教室3学年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 （思判表力） 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 （学・人） 主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己表現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
前期	16	【ホームルーム活動】 （知及技） 基本的な生活習慣、学校生活のきまり、社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、実践する力を身に付けることができる。 （思判表力） 多様な場面で自分と異なる考えや他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働して取り組むことができる。 （学・人） 学級や学年の一員として、助け合ったり協力し合ったりし、新たな環境のもとで人間関係を築こうとする態度を養うことができる。	【ホームルーム活動】 （知・技） 基本的な生活習慣、学校生活のきまり、社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、教師の支援を受けながら実践する力を身に付けようとしている。 （思・判・表） 多様な場面で自分と異なる考えや他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働して取り組もうとしている。 （主学） 学級や学年の一員として、助け合ったり協力し合ったりし、新たな環境のもとで人間関係を築こうとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	・学級開き ・前期HR役員決め ・学級目標や係決め ・校外学習計画について ・キャリアパスポート ・後期HR役員決め	・連携学級の担任や級友を知る。 ・HR役員決めに参加する。 ・学級目標や係決めに参加する。 ・校外学習の計画を確認する。 ・自己紹介を考えて記入をする。 ・前期の目標を立て、振り返りをする。
		【生徒会活動】 （知及技） 異年齢の生徒同士で協力し、交流することができる。 （思判表力） 交流を通して、よりよい人間関係を形成することができる。 （学・人） 生徒会の取り組みに、自主的・実践的に参加することができる。	【生徒会活動】 （知・技） 異年齢の生徒同士で協力し、交流しようとしている。 （思・判・表） 交流を通して、よりよい人間関係を形成しようとしている。 （主学） 生徒会の取り組みに、自主的・実践的に参加しようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	・HR役員認証式、対面式、部紹介 ・生徒総会	・各学級のHR役員を知る。 ・同学年と顔を合わせをする。 ・各部活動の紹介を聞き、部活動の様子を知る。 ・生徒会役員紹介や活動内容を知る。 ・生徒会長への立候補者の演説を聞き、ふさわしいと思う一人を選択する。
		【生徒会活動】 （知及技） 生徒会役員選挙の意義について理解し、選挙公約を聞くことができる。 （思判表力） 選挙公約等を機器、立候補者の中から自分で選び、投票することができる。 （学・人） 積極的に取り組む態度を養うことができる。	【生徒会活動】 （知・技） 教師の支援を受けながら、生徒会役員選挙の意義について理解し、選挙公約を聞こうとしている。 （思・判・表） 選挙公約等を機器、立候補者の中から自分で選び、投票しようとしている。 （主学） 生徒会の取り組みに、自主的・実践的に参加しようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	・生徒会役員選挙	・生徒会役員選挙の演説を聞き、投票をする。
		【学校行事（儀式的行事）】 （知及技） 儀式的行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができる。 （思判表力） 学校生活の節目の場においてこれまでの生活を振り返ったり、これからの学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができる。 （学・人） 儀式的行事を通して、新たな生活への希望や意欲につなげることができる。	【学校行事（儀式的行事）】 （知・技） 儀式的行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けようとしている。 （思・判・表） 学校生活の節目の場においてこれまでの生活を振り返ったり、これからの学校生活を見通したりしながら、教師の支援を受けながら場面にふさわしい行動しようとしている。 （主学） 儀式的行事を通して、新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。 【評価資料】 活動の様子で評価する。	・前期始業式 ・夏季休業前LHR ・夏季休業明け全体集会 ・前期終了LHR	・厳粛な場におけるマナー等の規律のある行動の仕方について学ぶ。 ・儀式的行事にふさわしい服装・身なりの実施。 ・夏休みの正しい過ごし方について確認する。

後期	19	【学校行事（儀式的行事）】 （知・技） 儀式的行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けることができる。 （思・判・表力） 学校生活の節目の場においてこれまでの生活を振り返ったり、これからの学校生活を見通したりしながら、場面にふさわしい行動ができる。 （学・人） 儀式的行事を通して、新たな生活への希望や意欲につなげることができる。	【学校行事（儀式的行事）】 （知・技） 儀式的行事の意義を理解し、規律のある行動を身に付けようとしている。 （思・判・表） 学校生活の節目の場においてこれまでの生活を振り返ったり、これからの学校生活を見通したりしながら、教師の支援を受けながら場面にふさわしい行動をしようとしている。 （主学） 儀式的行事を通して、新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・冬季休業前LHR ・冬季休業明け全体集会 ・卒業式	・厳粛な場におけるマナー等の規律のある行動について学ぶ。 ・儀式的行事にふさわしい服装・身なりの実施。 ・冬休みの正しい過ごし方について確認する。
		【ホームルーム活動】 （知・技） 基本的な生活習慣、学校生活のさまり、社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、実践する力を身に付けることができる。 （思・判・表力） 多様な場面で自分と異なる考えや他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働して取り組むことができる。 （学・人） 学級や学年の一員として、助け合ったり協力し合ったりし、新たな環境のもとで人間関係を築こうとする態度を養うことができる。	【ホームルーム活動】 （知・技） 基本的な生活習慣、学校生活のさまり、社会生活におけるルールやマナー及びその意義について理解し、教師の支援を受けながら実践する力を身に付けようとしている。 （思・判・表） 多様な場面で自分と異なる考えや他者を尊重し、認め合いながら、支え合ったり補い合ったりして、協働して取り組もうとしている。 （主学） 学級や学年の一員として、助け合ったり協力し合ったりし、新たな環境のもとで人間関係を築こうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・真和志フェスティバルの取り組み ・キャリアパスポート	・真和志フェスティバルに向けての話し合いに参加する。 ・後期の目標を立て、振り返りをする。 ・1年間の振り返りをする。
		【学校行事（文化的・集团的行事）】 （知・技） 文化的・集团的行事の意義を理解し、他の生徒と協力して日頃の活動の成果を発表したり、美しいものや優れたものを創り出し、自ら発表し合ったり芸術的なものや伝統文化を鑑賞したりする活動に必要な知識や技能を身に付けることができる。 （思・判・表力） 周りと協力してよいよいものをつくり出し、互いに発表し合うことにより、自他の個性を認め、互いに高め合うことができる。 （学・人） 文化的・集团的行事を通して、自己の成長を振り返り、自己のよさを伸ばそうとする意欲につなげることができる。	【学校行事（文化的・集团的行事）】 （知・技） 文化的・集团的行事の意義を理解し、教師の支援を受けながら、他の生徒と協力して日頃の活動の成果を発表したり、美しいものや優れたものを創り出し、自ら発表し合ったり芸術的なものや伝統文化を鑑賞したりする活動に必要な知識や技能を身に付けようとしている。 （思・判・表） 教師の支援を受けながら、周りと協力してよいよいものをつくり出し、互いに発表し合うことにより、自他の個性を認め、互いに高め合おうとしている。 （主学） 文化的・集团的行事を通して、自己の成長を振り返り、自己のよさを伸ばそうとする意欲につなげようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・真和志フェスティバル ・予餞会	・みんなで販売に取り組む。 ・他のクラスの発表や出店を見学する。
		【学校行事（健康安全・体育的行事）】 （知・技） 体育的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身に付けることができる。 （思・判・表力） 自己の生活を振り返り、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動することができる。 （学・人） 運動に親しみ、体力の向上に積極的に取り組もうとする態度を養うことができる。	【学校行事（健康安全・体育的行事）】 （知・技） 体育的な集団活動の意義を理解し、教師の支援を受けながら、規律ある集団行動の仕方などを身に付けようとしている。 （思・判・表） 自己の生活を振り返り、教師の支援を受けながら、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動しようとしている。 （主学） 運動に親しみ、体力の向上に積極的に取り組もうとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・スボレク選手決め ・M3チャンピオン	・スポーツレク大会に参加する。 ・連携学級の応援をする。 ・M3チャンピオンに参加する。
		【学校行事（勤労生産・奉仕的行事）】 （知・技） 勤労の意義と尊さ、社会的・職業的な自立について理解し、ボランティア活動などの体験活動の仕方について必要な知識及び技能を身に付けることができる。 （思・判・表力） 勤労生産や奉仕に関して集団や社会に必要なことを見だし、自分のできることを判断し、多様な他者とともに考え、協働して実践することができる。 （学・人） 勤労生産や奉仕に関わる活動に積極的に取り組み、人間としての在り方生き方に関する自覚を深めたり、勤労観や職業観を醸成したりして、社会に貢献しようとする態度を養うことができる。	【学校行事（勤労生産・奉仕的行事）】 （知・技） 教師の支援を受けながら、勤労の意義と尊さ、社会的・職業的な自立について理解し、ボランティア活動などの体験活動の仕方について必要な知識及び技能を身に付けようとしている。 （思・判・表） 勤労生産や奉仕に関して集団や社会に必要なことを見だし、教師の支援を受けながら、自分のできることを判断し、多様な他者とともに考え、協働して実践しようとしている。 （主学） 勤労生産や奉仕に関わる活動に積極的に取り組み、教師の支援を受けながら、人間としての在り方生き方に関する自覚を深めたり、勤労観や職業観を醸成したりして、社会に貢献しようとしている。 【評価資料】活動の様子で評価する。	・環境について考える	・連携学級と一緒に、校内の草取りやゴミ捨てなどの環境美化に努める。
留意点 引継ぎ等		年間を通じて、真和志高等学校との交流及び共同学習を行い、障害の有無に関わらず共に学ぶ経験を重ね、社会性を養う。			

R7 真和志分教室の時間割

2025年度

1年次

時限		月	火	水	木	金
1 時限	教科	自立	職業	自立	自立	自立
	授業名					
2 時限	教科	社会	職業	道德	英語	家庭
	授業名				英語会話	
3 時限	教科	音楽	社会	体育	数学	理科
	授業名	音 I	沖縄の歴史	体育1B		環境の科学
4 時限	教科	音楽	数学	体育	国語	国語
	授業名	音 I	ベーシック数学	体育1B		国語表現
5 時限	教科	自立	美術	LHR	職業	体育
	授業名	保育基礎	陶芸一般			体育1B
6 時限	教科	理科	美術	総探	職業	体育
	授業名		陶芸一般			体育1B

2年次

時限		月	火	水	木	金
1 時限	教科	美術	職業	自立	自立	自立
	授業名	美術Ⅱ				
2 時限	教科	美術	職業	道德	英語	家庭
	授業名	美術Ⅱ			英語会話	
3 時限	教科	自立	社会	情報	体育	理科
	授業名		沖縄の歴史		体育2B	環境の科学
4 時限	教科	職業	数学	国語	体育	国語
	授業名		ベーシック数学		体育2B	国語表現
5 時限	教科	自立	音楽	LHR	職業	社会
	授業名	保育基礎	沖縄の音楽			
6 時限	教科	理科	音楽	総探	職業	数学
	授業名		沖縄の音楽			

3年次

時限		月	火	水	木	金
1 時限	教科	体育	職業	自立	自立	自立
	授業名	体育3B				
2 時限	教科	体育	職業	道德	英語	家庭
	授業名	体育3B			英語会話	
3 時限	教科	自立	社会	情報	音楽	理科
	授業名		沖縄の歴史		器楽	環境の科学
4 時限	教科	職業	数学	社会	音楽	国語
	授業名		ベーシック数学		器楽	国語表現
5 時限	教科	自立	国語	LHR	職業	美術
	授業名	保育基礎				クラフトデザイン
6 時限	教科	理科	数学	総探	職業	美術
	授業名					クラフトデザイン

※色塗り部分は真和志高等学校との交流及び共同学習